

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	収容定員の変更								
フリガナ設置者	ガクホクケン コセイケン 学校法人 光星学院								
フリガナ大学の名称	ハチノヘケンダイガク 八戸学院大学 (Hchinohegakuin University)								
大学本部の位置	青森県八戸市大字美保野13番98号								
大学の目的	カトリック精神に基づき、広く豊かな教養を授け、深い専門の学術を探求せしめ、正しい道徳観と高い知性を有する民主的にして平和を愛好する人材を育成する。								
新設学部等の目的	こころとからだの健康と医療についての学びをふまえ、幅広い分野の研究・指導・実践ができ、地域住民の健康増進と地域の保健医療の向上に貢献できる人材を育成する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	健康医療学部 [Faculty of Health and Medical Care] 人間健康学科 [Department of Human Health Science]	4	100 (80)	—	400 (320)	学士(人間健康学)	令和4年4月 第1年次	青森県八戸市 大字美保野13番98号	
	看護学科 [Department of Nursing]	4	80	—	320	学士(看護学)	平成28年度	青森県八戸市 大字美保野13番98号	
	地域経営学部 [Faculty of Regional Management] 地域経営学科 [Department of Regional Management]	4	80	—	320	学士(地域経営学)	平成31年度	青森県八戸市 大字美保野13番98号	
	計		260 (240)	—	1,040 (960)				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	健康医療学部人間健康学科	118 科目	39 科目	12 科目	169 科目	124 単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設	健康医療学部人間健康学科	9 (9)	7 (7)	6 (6)	2 (2)	24 (24)	0 (0)	29 (29)
		計	9 (9)	7 (7)	6 (6)	2 (2)	24 (24)	0 (0)	29 (29)
	既設	健康医療学部看護学科	6 (6)	4 (4)	7 (7)	3 (3)	20 (20)	4 (4)	26 (26)
		地域経営学部地域経営学科	16 (16)	6 (6)	2 (2)	1 (1)	25 (25)	0 (0)	13 (13)
	計	22 (22)	10 (10)	9 (9)	4 (4)	45 (45)	4 (4)	39 (39)	
	合計	31 (31)	17 (17)	15 (15)	6 (6)	69 (69)	4 (4)	68 (68)	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員	17 (17)			0 (0)		17 (17)		
	技術職員	0 (0)			0 (0)		0 (0)		
	図書館専門職員	1 (1)			1 (1)		1 (1)		
	その他の職員	0 (0)			0 (0)		0 (0)		
	計	18 (18)			0 (0)		18 (18)		

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	14,146 m ²	－ m ²	－ m ²	14,146 m ²				
	運動場用地	15,000 m ²	－ m ²	－ m ²	15,000 m ²				
	小 計	29,146 m ²	－ m ²	－ m ²	29,146 m ²				
	そ の 他	35,484 m ²	－ m ²	－ m ²	35,484 m ²				
	合 計	64,630 m ²	－ m ²	－ m ²	64,630 m ²				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	高校との共用 (7号館3・4階) 710.94m ² 八戸学院光星高等学校 収容定員：1,170名 青森県の基準面積： 6,120m ²			
		大学専用 2,954.98 m ²	大学他学科・短大と共用 11,719.78 m ²	短大専用 6,621.21 m ²	40,792.38 m ²				
		(2,954.98 m ²)	高校と共用 710.94 m ²	高校専用 18,785.47 m ²			(40,792.38 m ²)		
講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 <small>(八戸学院大学短期大学部と共有)</small>			
15 室		25 室	7 室	1 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 1人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数					
		健康医療学部人間健康学科		21 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	健康医療学部人間健康学科	9,497 [541] (9,497 [541])	29 [1] (29 [1])	0 [0] (0 [0])	439 (439)	1,415 (1,415)	0 (0)		
	計	9,479 [541] (9,479 [541])	29 [1] (29 [1])	0 [0] (0 [0])	439 (439)	1,415 (1,415)	0 (0)		
図 書 館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 <small>(八戸学院大学短期大学部と共有)</small>		
		1,646 m ²	188 席		約195,000 冊				
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		2,578 m ²	硬式野球場、軟式野球場、サッカー場、ラグビー場 他						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	－千円	－千円
		共同研究費等		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	－千円	－千円
		図書購入費	0千円	500千円	500千円	500千円	500千円	－	－
	設備購入費	0千円	0	0	0	0	－	－	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,250千円	970千円	970千円	970千円	－千円	－千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入、事業収入等						
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	八戸学院大学、八戸学院大学短期大学部							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	八戸学院大学	年	人	年次人	人		倍		
	地域経営学部地域経営学科	4	80	－	320	学士(地域経営学)	0.97	平成31年度	青森県八戸市 大字美保野13番98号
	健康医療学部人間健康学科	4	80	－	320	学士(人間健康学)	1.23	平成17年度	
	健康医療学部看護学科	4	80	－	320	学士(看護学)	0.82	平成28年度	
八戸学院大学短期大学部									
幼児保育学科	2	80	－	160	短期大学士(幼児保育学)	0.95	昭和46年度	青森県八戸市 大字美保野13番384号	
介護福祉学科	2	40	－	80	短期大学士(介護福祉学)	0.46	平成31年度		
附属施設の概要		該当なし							

学校法人光星学院 設置届出申請に関わる組織の移行表

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
八戸学院大学					八戸学院大学				
地域経営学部					地域経営学部				
地域経営学科	80	—	320	→	地域経営学科	80	—	320	
健康医療学部					健康医療学部				
人間健康学科	80	—	320	→	<u>人間健康学科</u>	<u>100</u>	—	<u>400</u>	収容定員の変更(認可申請)
看護学科	80	—	320		看護学科	80	—	320	
計	240	—	960		計	<u>260</u>	—	<u>1040</u>	
八戸学院大学短期大学部					八戸学院大学短期大学部				
幼児保育学科	80	—	160	→	幼児保育学科	80	—	160	
介護福祉学科	40	—	80		介護福祉学科	40	—	80	
計	120	—	240		計	100	—	240	

教育課程等の概要															
（健康医療学部人間健康学科等）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
リベラルアーツ	導入教育	宗教学	1前	2			○				1				
		キリスト教概論	2後	2			○				1				
		地域文化論	1後	2			○				1				兼1
		基礎演習	1前	2				○		5	5	5	2		
		プレゼンテーション	1後	2				○		5	5	5	2		
		情報処理基礎	1前	2				○		2	1				
		日本語リテラシー	1前	2				○		1					兼2
	日本語表現リテラシー	1後		2			○		1					兼2	
	外国語を学ぶ領域	英語 I	1前		2			○							兼1
		英語 II	1後		2			○							兼1
		英語コミュニケーション	2前		2			○							兼1
		英語 (TOEIC) I	2前		2			○							兼1
		英語 (TOEIC) II	2後		2			○							兼1
		ドイツ語	1前		2			○		1					
	ドイツ語コミュニケーション	1後		2			○		1						
	人としてのあり方を学ぶ領域	哲学	1前～2後		2			○			1				
		芸術論	1前～2後		2			○							兼1
		デザイン論	1前～2後		2			○							兼1
		心の科学	1前～2後		2			○			1				
		行動の科学	1前～2後		2			○							兼1
	社会のあり方を学ぶ領域	歴史学	1前～2後		2			○			1				
		日本国憲法	1前～2後		2			○							兼1
		政治学	1前～2後		2			○							兼1
		社会学	1前～2後		2			○							兼1
		国際関係論	1前～2後		2			○							兼1
		海外事情	1前～2後		2			○							兼3
	自然と科学を学ぶ領域	自然科学概論	1前～2後	2				○		1					
		数学	1前～2後		2			○							兼1
		スポーツの科学	1前～2後		2			○			1	2	1		オムニバス
	小計 (29科目)	—	16	42	0		—		7	6	5	2	0	兼14	
キャリア教育	キャリアデザイン I	1前	1				○		2					兼1	
	キャリアデザイン II	1後	1				○		2	3	1	1		兼1	
	キャリアデザイン III	2前	1				○		6	6	4	2		兼1	
	キャリアデザイン IV	2後	1				○		5	7	5	2		兼1	
	キャリアデザイン V	3前	1				○		6	5	2	2		兼1	
	キャリアデザイン VI	3後	1				○		5	7	4	2		兼1	
	キャリアデザイン VII	4前		1			○							兼1	
	キャリアデザイン VIII	4後		1			○							兼1	
	インターンシップ	3前		2				○			1			兼1	
	小計 (9科目)	—	6	4	0		—		6	7	5	2	0	兼1	
学科必修	健康医療総論	1前	2				○		2	2					
	生命と倫理	1後	2				○			1				兼1	
	人間発達学	1前	2				○			1					
	健康管理論	1前	2				○		1						
	健康教育論	1後	2				○		1	3	1			オムニバス	
	健康栄養学	2後	2				○		1						
	医学一般	2前	2				○		1						
	医学一般 II	2後	2				○		1						
	心理学	1前	2				○							兼1	
	解剖学・生理学 (運動生理学を含む) I	1後	2				○		1	1				オムニバス	
	解剖学・生理学 (運動生理学を含む) II	2前	2				○		1	1				オムニバス	
	公衆衛生学	2前	2				○		1						
	衛生学	2後	2				○		1						
	小児保健	2前	2				○				1				
	精神保健	3前	2				○				1	1			
	研究演習 I	2前	2					○	5	7	5	1			
	研究演習 II	2後	2					○	5	7	5	1			
	研究演習 III	3前	2					○	5	7	4	2			
	研究演習 IV	3後	2					○	5	7	4	2			
	研究演習 V	4前	2					○	5	7	4	2			
	研究演習 VI	4後	2					○	5	7	4	2			
	小計 (21科目)	—	42	0	0		—		6	7	5	2	0	兼2	

教 育 課 程 等 の 概 要

(健康医療学部人間健康学科等)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
スポーツ 科学 コース	教育職 プログラム (保健体育)	体育原理	2前	2		○					1				
		運動学 (運動方法学を含む)	2後	2		○					3	1			
		地域スポーツ論	3後	2		○							1		
		生涯スポーツ論	3前	2		○							1		
		ヘルスエクササイズ	3後	2			○					1			
		健康と運動処方	3後	2			○			1					
		基本実技	3後	1				○				1			
		水泳	1前	1				○							兼3 集中
		ダンス	3後	1				○				1			
		陸上競技	1前	1				○					1		
		フットボールスポーツ	2後	1				○					1		兼1 オムニバス/集中
		バスケットボール・バレーボール	2後	1				○			1	1			
		ラケット・パットスポーツ	2前	1				○					1		
		武道Ⅰ (柔道)	2前	1				○							兼1
	武道Ⅱ (剣道・弓道)	2前	1				○							兼2	
	器械体操	2前	1				○							兼1	
	スキー	2後	1					○			1	2	1		集中
	スケート	2前	1					○							兼1 集中
	※	栄養指導論	3後	2			○				1				
		運動と栄養	3前	2			○			1					
		スポーツバイオメカニクス	3前	2			○						1		
		トレーニング総論	3前	2			○					1			
		スポーツ心理学	2前	2			○								兼1 集中
	コーチング論	2前	2			○							1		
小計 (24科目)		—	0	36	0	—			1	2	3	1	0	兼10	
専門 教育 科目	教育職 プログラム (養護・保健) (看護)	養護概説	2後	2		○				1					
		看護学	2後	2		○					1				
		栄養学 (食品学を含む)	2前	2		○				1					
		微生物学	2後	2		○				1					
		免疫学	3前	2		○				1					
		健康相談活動の理論および方法	4前	2		○						1			
		学校保健 (学校安全を含む)	2後	2		○						1			
		救急処置 (実習を含む)	2後	2		○						1			
		看護実践論	3前	2		○					1	1			オムニバス
		看護技術演習	3前	2		○					1	1			オムニバス
		看護学臨床実習Ⅰ	3前	2				○			1	1			集中
		看護学臨床実習Ⅱ	3前	2				○			1	1			集中
		人間環境論	3後	2		○				1					
		食生活論	3前	2		○					1				
	薬理概論	3前	2		○									兼1 集中	
	認定 心理 士 プログラム	健康心理学	2前	2		○						1			
		児童心理学	2前	2		○									兼1 集中
		認知心理学	1後	2		○									兼1
		感情心理学	1後	2		○									兼1
		青年心理学	2前	2		○					1				
		臨床心理学	2後	2		○					1				
		心理学研究法	2前	2		○									兼1
		社会心理学	3後	2		○					1				
		心理統計学	2後	2		○					1				
		老人・障害者の心理	3前	2		○									兼1
		心理学基礎実験	3前	2		○					2				兼1 オムニバス
		ヘルスカウンセリング	3後	2		○									兼1 集中
	心理学実習	3後	2				○			2				兼1 オムニバス	
	健康 科学 コース	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1前	2		○				1					
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	1後	2		○					1				
社会福祉調査の基礎		2後	2		○									兼1	
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		1後	2		○					1		1		オムニバス	
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		2前	2		○							1			
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2前	2		○							1			
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2後	2		○							1				

教 育 課 程 等 の 概 要

(健康医療学部人間健康学科等)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会福祉士プログラム	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3前		2		○							1		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3後		2		○			1						
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前		2		○			1						
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3前		2		○				1					
	福祉サービスの組織と経営	3後		2		○				1					
	社会保障Ⅰ	2後		2		○			1						
	社会保障Ⅱ	3前		2		○			1						
	高齢者福祉	2前		2		○				1					
	障害者福祉	2後		2		○					1				
	児童・家庭福祉	2前		2		○									兼1
	貧困に対する支援	3前		2		○			1						
	保健医療と福祉	2後		2		○			1		1				オムニバス
	権利擁護を支える法制度	2後		2		○									兼1
	刑事司法と福祉	3前		2		○			1		1				
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後		2			○					1			
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前		2			○					1			
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後		2			○				1				
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前		2			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後		2			○					1			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3後		1				○	1	1	1	1			オムニバス
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4前		1				○	1	1	1	1			オムニバス	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4後		1				○	1	1	1	1			オムニバス	
ソーシャルワーク実習	4通		6				○	2	1	1	1			オムニバス	
介護概論	3前		2			○			1						
小計 (59科目)		—	0	119	0	—		2	1	1	1	0		兼3	
学科選択	健康科学実習	3後		2			○	4		1					オムニバス
	卒業研究Ⅰ	4前		2			○		2	1	1				
	卒業研究Ⅱ	4後		2			○		2	1	1				
小計 (3科目)		—	0	6	0	—	4	2	2	1	0				
教職科目	教育に関する基礎的科目	教育原理	2後	2		○									兼1
		教職概論	1後	2		○									兼1
		教育行政	4後	2		○			1						
		教育心理学	2後	2		○									兼3 オムニバス
		特別支援の理解	1後	1		○									兼1
	道徳、時間等に関する科目	教育課程論	2前	2		○									兼2 オムニバス
		道徳教育の理論と実践	3後	2		○									兼1
		総合的な学習の時間の指導法	3後	2		○									兼1
		特別活動論	3後	2		○									兼1
		教育方法論	2後	2		○			1						兼1 オムニバス
		生徒指導論	3前	2		○									兼2 オムニバス
		教育相談	3前	2		○									兼2 オムニバス
	教育実習に関する科目	進路指導論	3後	1		○									兼1
		教育実習A	4通	3			○								兼1 集中
		教育実習B	4通	2			○		1						集中
		養護実習	4通	5			○		1		1				集中
		教職実践演習(中高)	4後	2			○		1						
	指導方法及び関する科目	教職実践演習(養)	4後	2			○		1						
		保健体育科教育法A	3前	2		○									兼1
		保健体育科教育法B	3前	2		○				1	1	1			オムニバス
保健体育科教育法C		3後	2		○									兼1	
保健体育科教育法D		3後	2		○				1	1	1				
看護科教育法A		3前	2		○				1	1				オムニバス	
看護科教育法B	3前	2		○				1	1				オムニバス		
小計 (24科目)		—	0	6	0	—	1	2	3	1	0		兼10		
合計 (169科目)			—	64	207	0	—	9	7	6	2	0		兼40	
学位又は称号		学士 (人間健康学)			学位又は学科の分野			保健衛生学、体育、社会学・社会福祉学、文学							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
リベラルアーツ (29科目) : 必修科目16単位、選択科目14単位、リベラルアーツで30単位以上							1 学年の学期区分		2 期						
専門教育科目 (116科目) : 必修科目48単位、選択科目46単位、専門教育科目で94単位以上							1 学期の授業期間		15 週						
※教職科目を除く							1 時限の授業時間		90 分						
合計 : 必修科目64単位、選択科目60単位以上、合計124単位以上															
履修科目の上限 : 1年次から3年次までの各学期において、履修することのできる科目の単位数は、各24単位 (1学年48単位) 以内とする。ただし、当該学期に集中して行われる講義および教職専門科目、キャリアデザインⅠ～Ⅷは含まない。															

都道府県内における位置関係の図面



最寄り駅からの距離、利用交通機関に関する図面



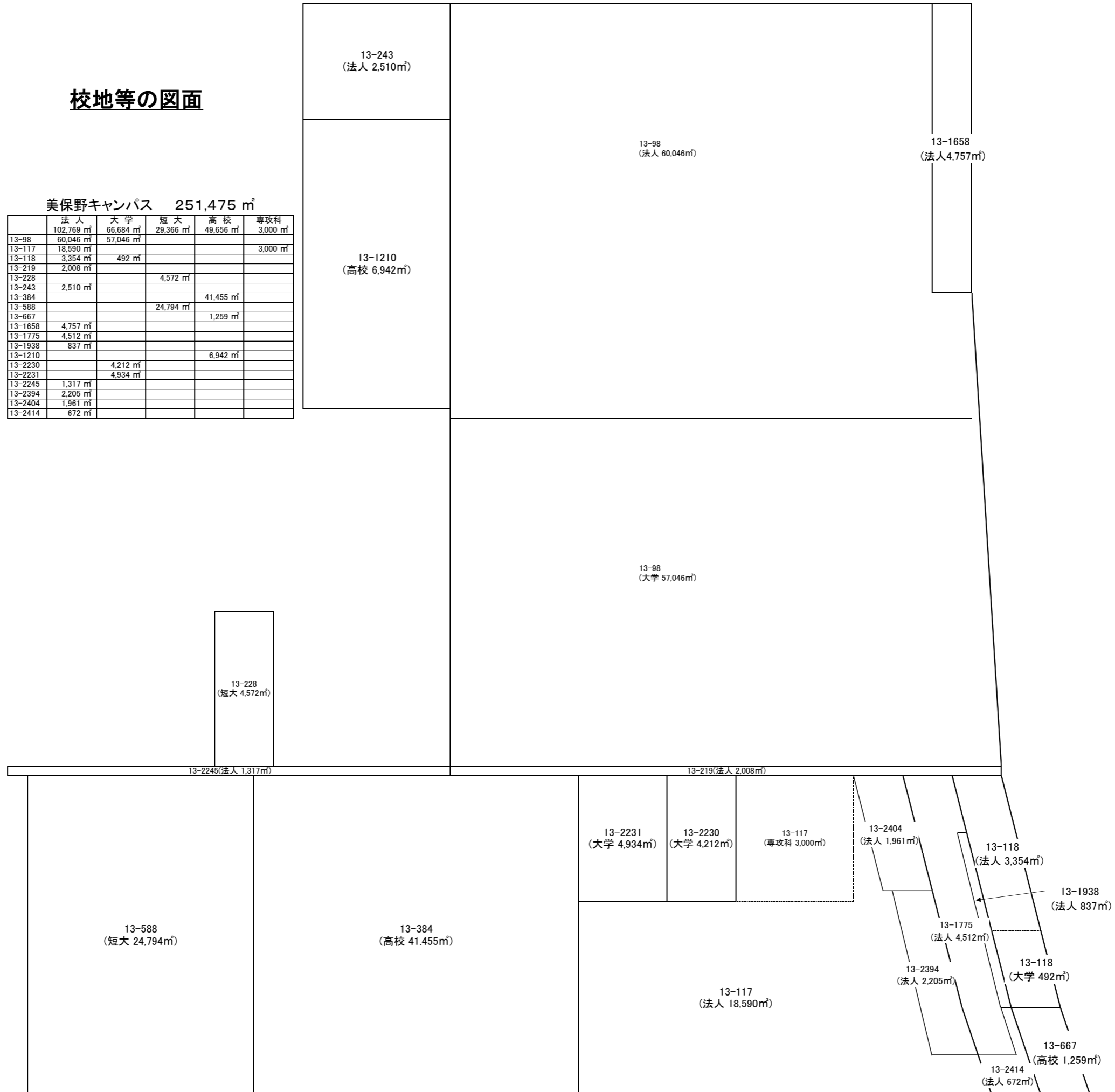
八戸学院大学

- ・最寄り駅(JR八戸線鮫駅)から7km(車で約15分)
- ・利用交通機関は、法人所有のスクールバス
- ・八戸市営バス構内停留所有
(市内中心街より所要時間約20分)

校地等の図面

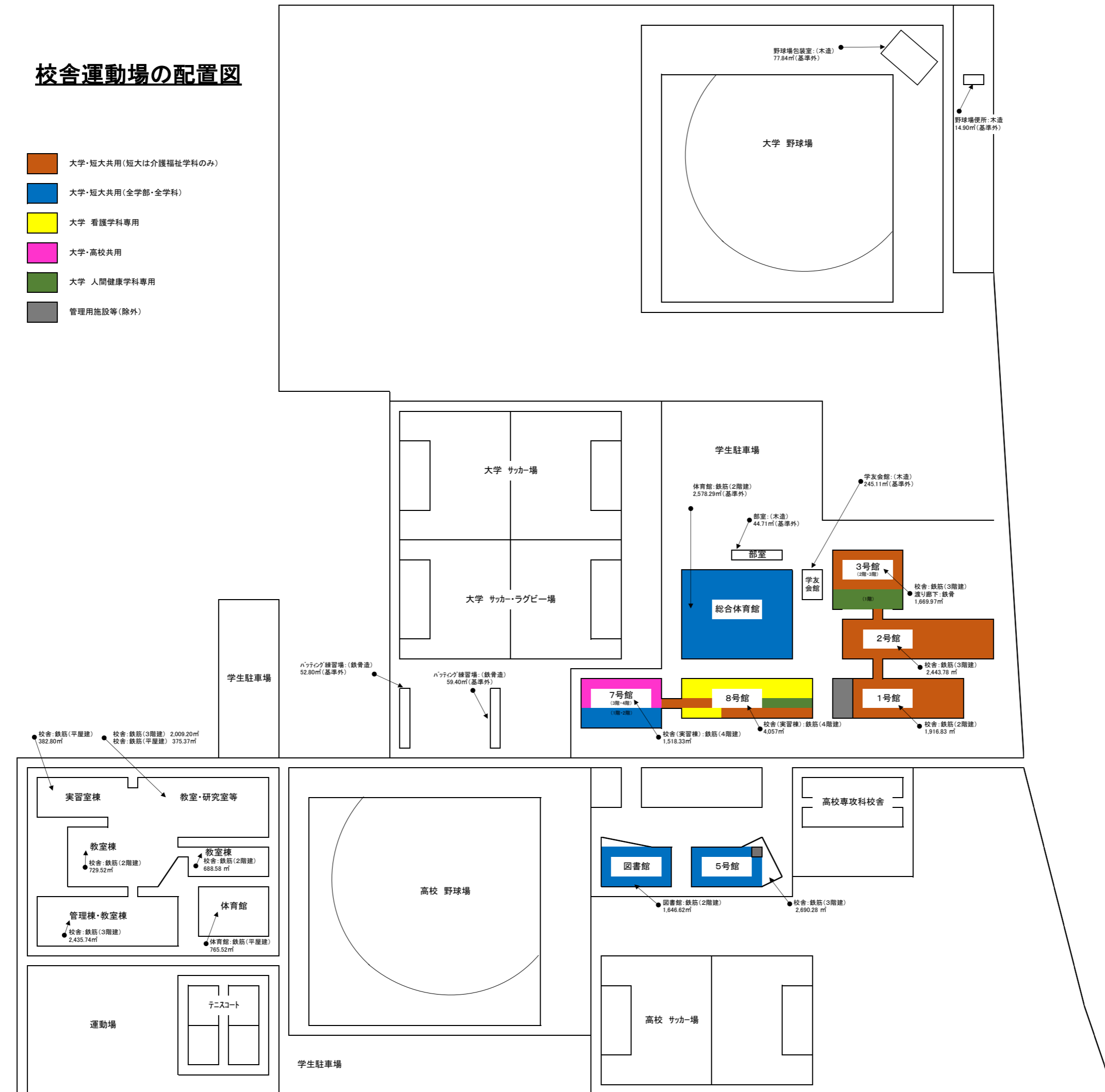
美保野キャンパス 251,475 m²

	法人	大学	短大	高校	専攻科
13-98	102,769 m ²	66,684 m ²	29,366 m ²	49,656 m ²	3,000 m ²
13-117	18,590 m ²				3,000 m ²
13-118	3,354 m ²	492 m ²			
13-219	2,008 m ²				
13-228			4,572 m ²		
13-243	2,510 m ²				
13-384				41,455 m ²	
13-588			24,794 m ²		
13-667				1,259 m ²	
13-1658	4,757 m ²				
13-1775	4,512 m ²				
13-1938	837 m ²				
13-1210				6,942 m ²	
13-2230		4,212 m ²			
13-2231		4,934 m ²			
13-2245	1,317 m ²				
13-2394	2,205 m ²				
13-2404	1,961 m ²				
13-2414	672 m ²				



校舎運動場の配置図

- 大学・短大共用 (短大は介護福祉学科のみ)
- 大学・短大共用 (全学部・全学科)
- 大学 看護学科専用
- 大学・高校共用
- 大学 人間健康学科専用
- 管理用施設等 (除外)



1号館

総面積 = 1916.83 m²
 = 基準内 = 1386.88 m²

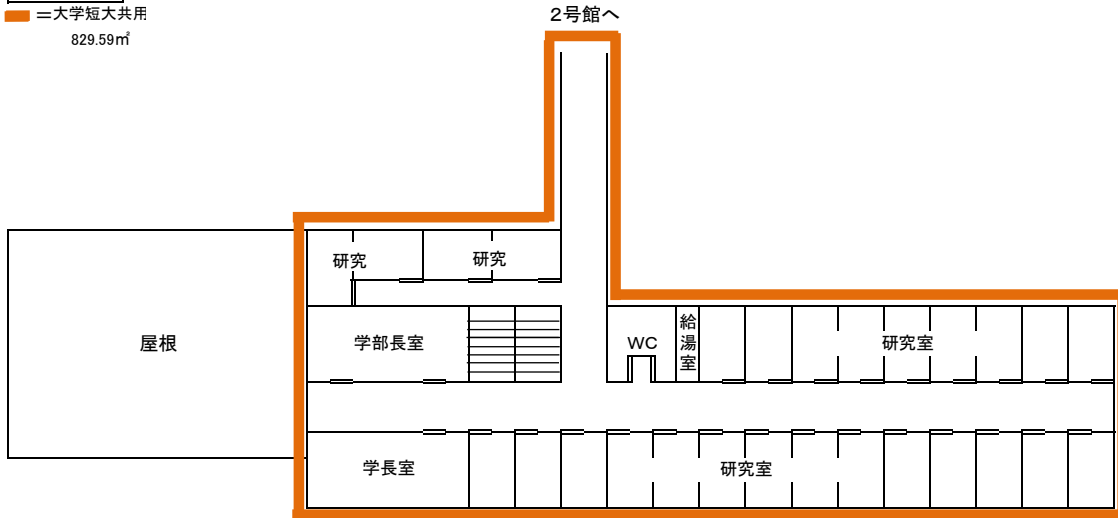
除外する面積
 = 469.83 m²

2階

■ = 大学短大共用
 829.59 m²

■ = 大学・短大共用 (1447.00 m²)

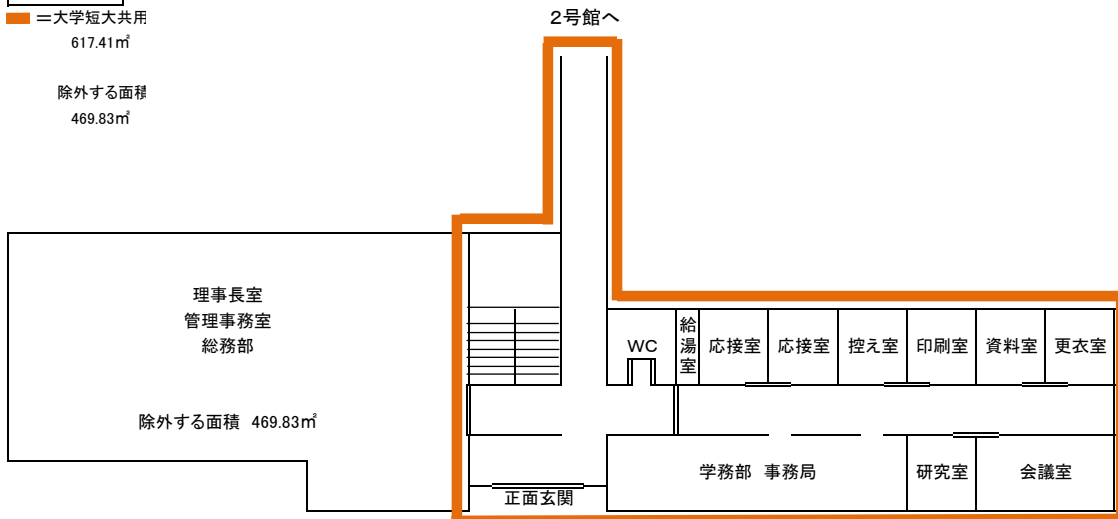
(大学: 地域経営学科・看護学科・人間健康学科・短大: 介護福祉学科)



1階

■ = 大学短大共用
 617.41 m²

除外する面積
 469.83 m²



2号館

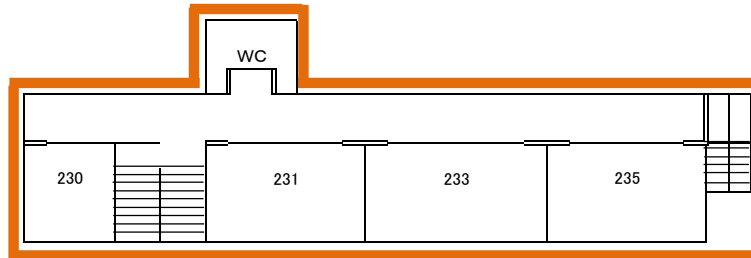
総面積=2,417.13 m²
 = 基準内=2,390.48 m²

3階

= 大学短大共用
 647.08m²

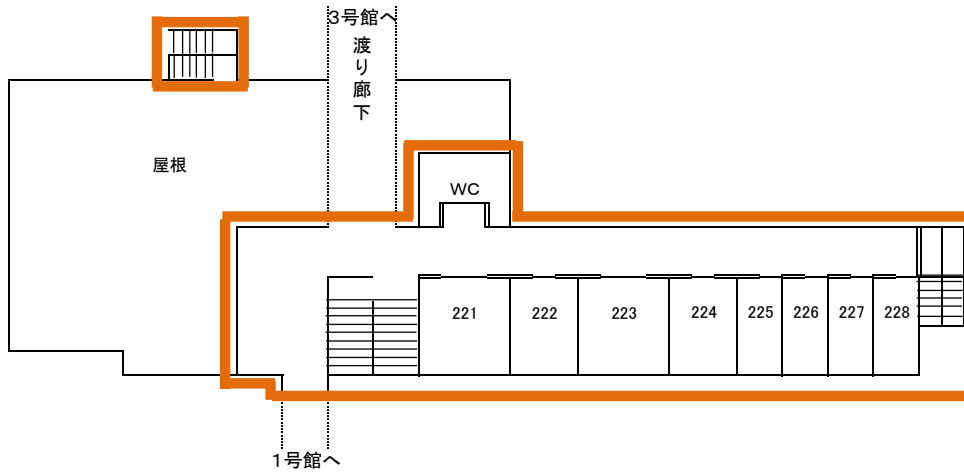
= 大学・短大共用(2,417.13m²)

(大学:地域経営学科・看護学科・人間健康学科・短大:介護福祉学科)



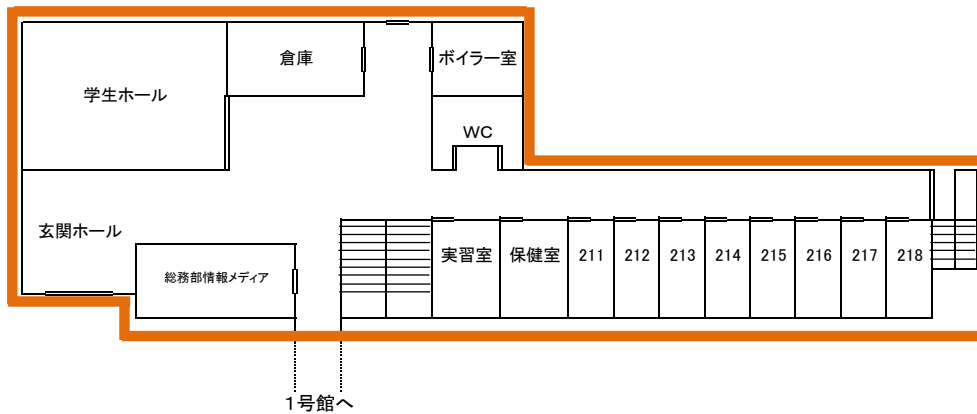
2階

= 大学短大共用
 621.91m²



1階

= 大学短大共用
 1,148.14m²



3号館

総面積=1,669.97 m²

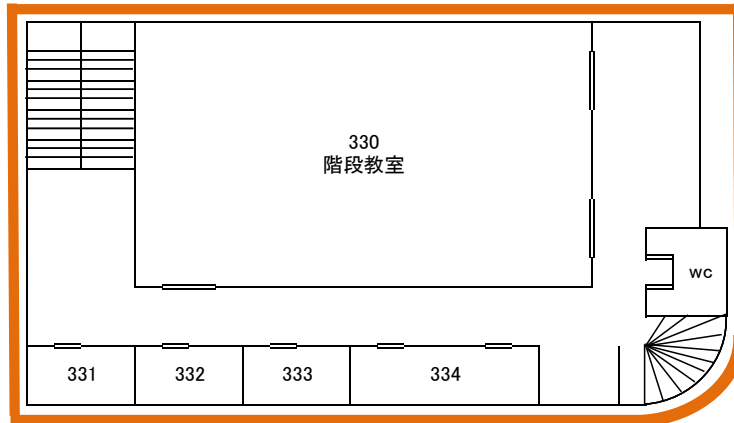
■ = 大学・短大共用 (3階 542.70m²+2階 629.10m²+1階 356.57m² = 1,528.370m²)

(大学: 地域経営学科・看護学科・人間健康学科・短大: 介護福祉学科)

■ = 人間健康学科専用 (1階 141.60m²)

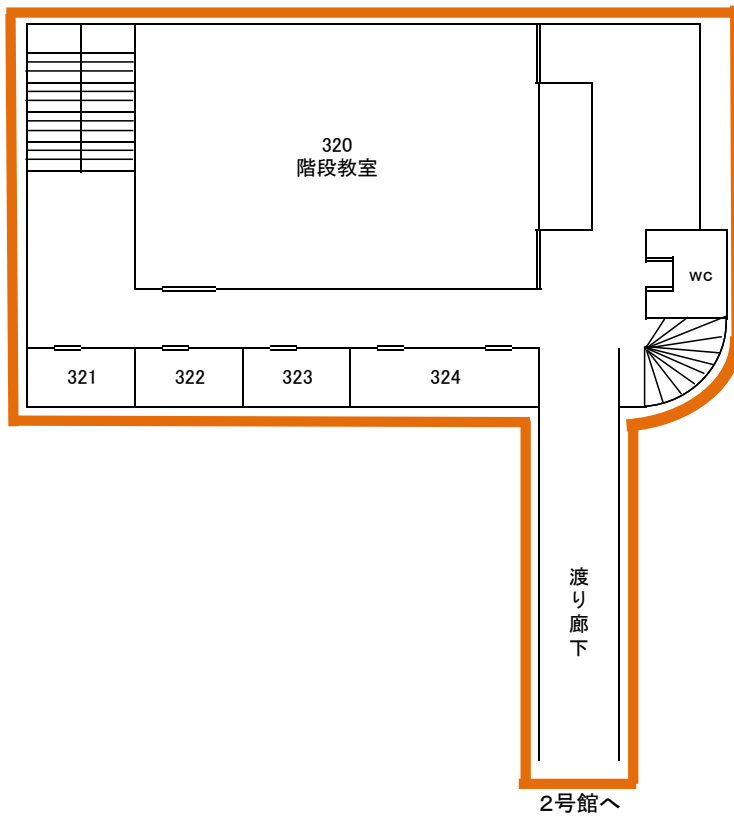
3階

■ = 542.70 m²



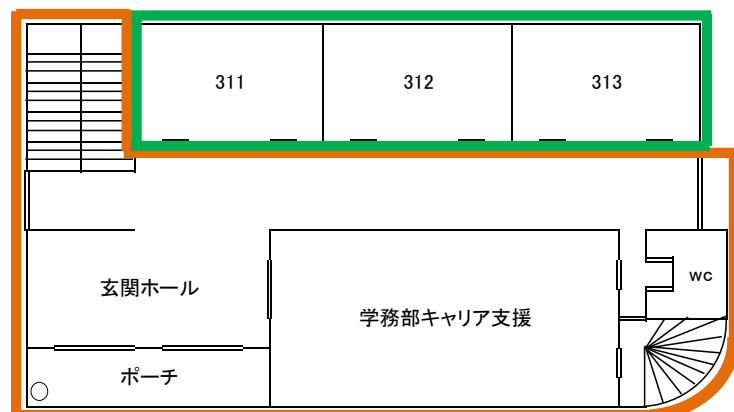
2階

■ = 629.10 m²
(渡り廊下 86.40m²含む)



1階

■ = 141.60 m²
■ = 356.57 m²



5号館 学生会館 平面図

総面積=2,715.67 m²

除外する面積= 25.39 m²

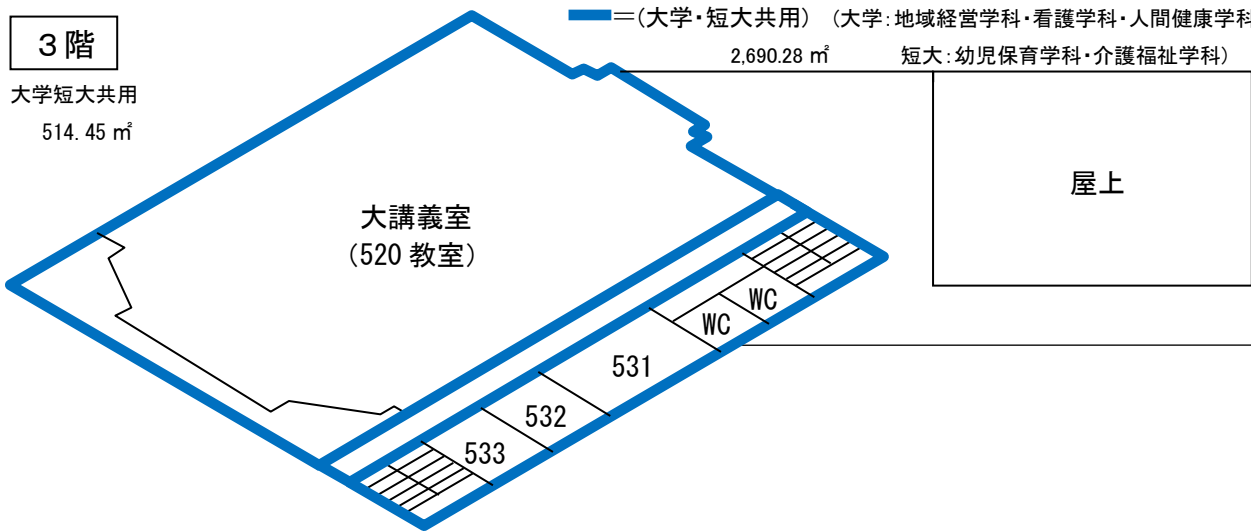
—(大学・短大共用) (大学: 地域経営学科・看護学科・人間健康学科
短大: 幼児保育学科・介護福祉学科)

3階

大学短大共用
514.45 m²

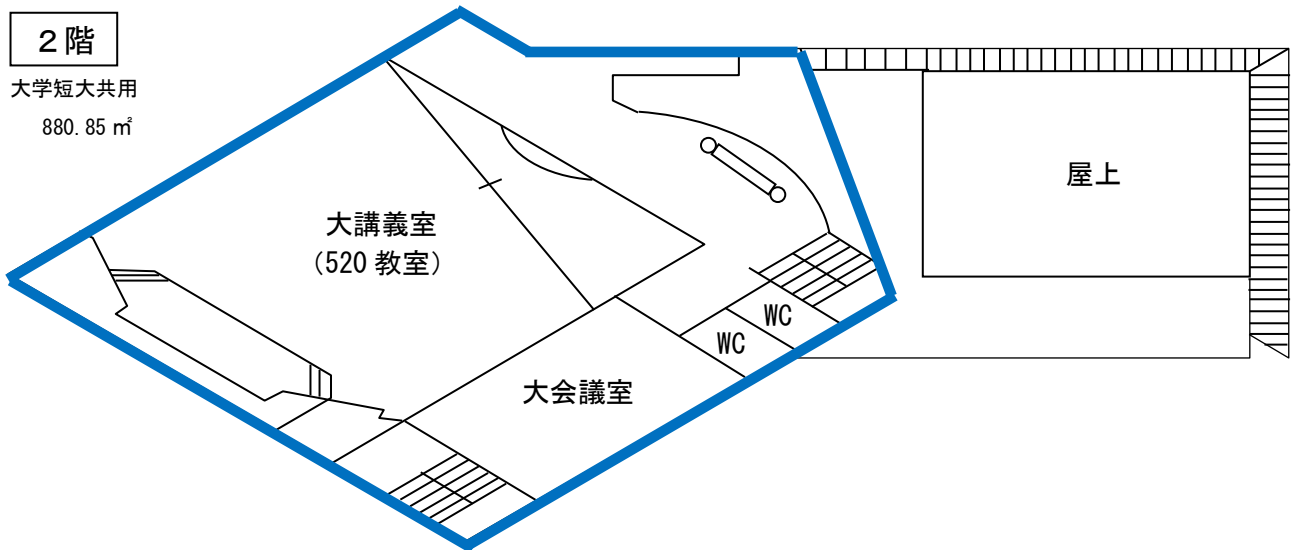
2,690.28 m²

短大: 幼児保育学科・介護福祉学科



2階

大学短大共用
880.85 m²

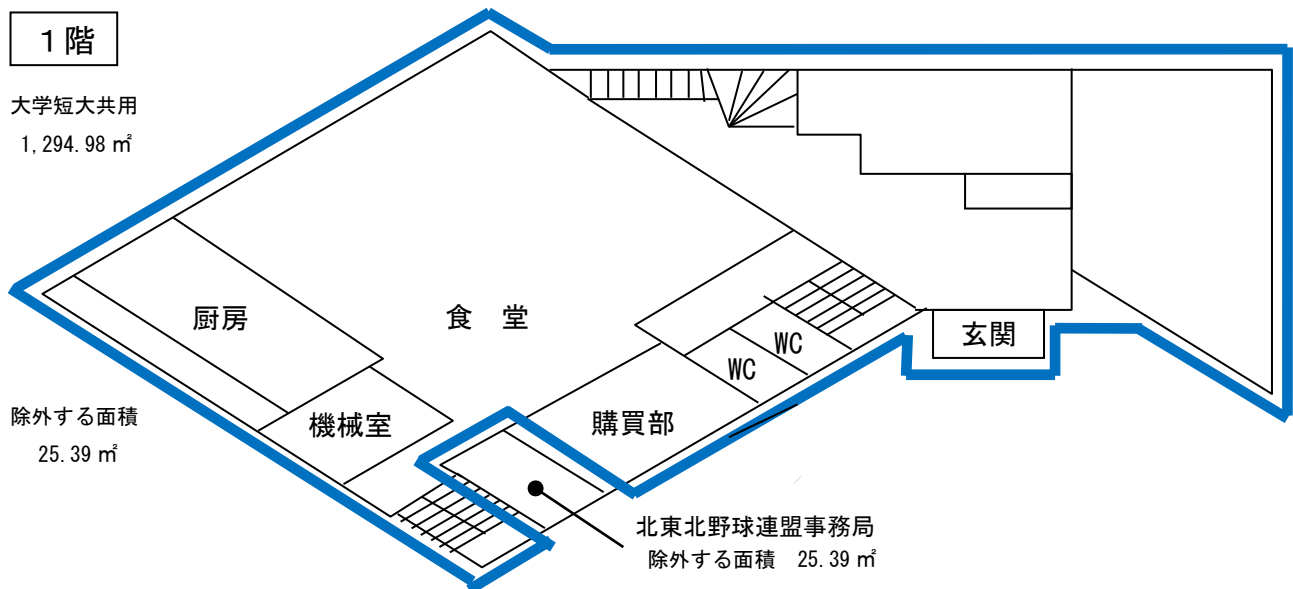


1階

大学短大共用
1,294.98 m²

除外する面積
25.39 m²

北東北野球連盟事務局
除外する面積 25.39 m²



7号館（コンピュータ実習棟）平面図

総面積=1,518.33 m²

2・1階面積=807.39 m²

— = (大学・短大共用)

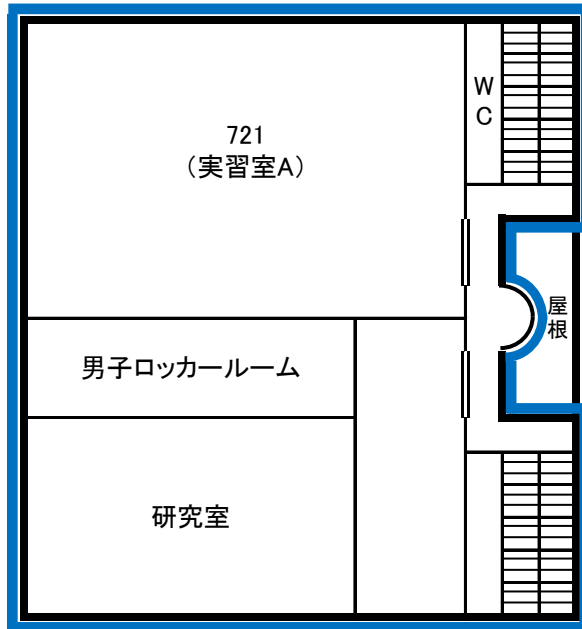
(大学: 地域経営学科・看護学科・人間健康学科)

短大: 幼児保育学科・介護福祉学科)

2階

大学・短大共用

355.19m²

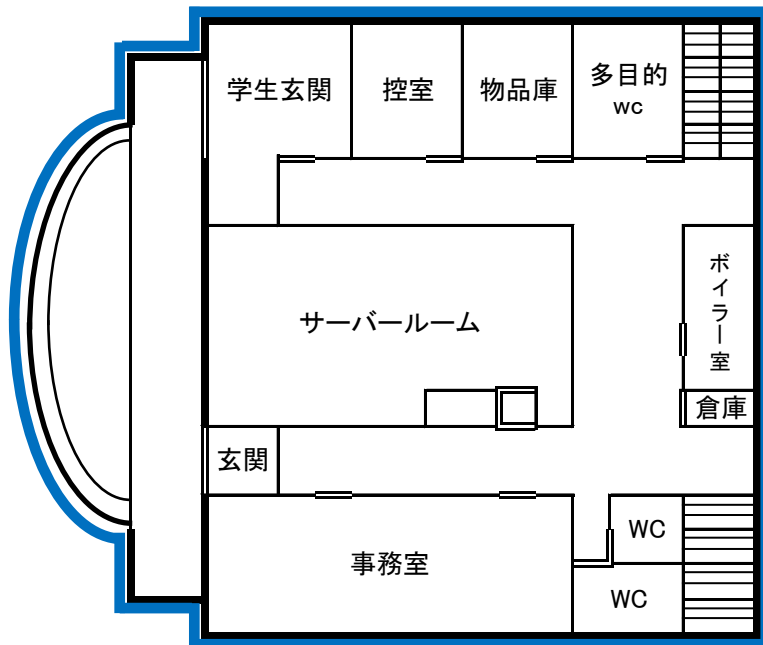


8号館へ
渡り廊下

1階

大学・短大共用

452.20m²



7号館（コンピュータ実習棟）平面図

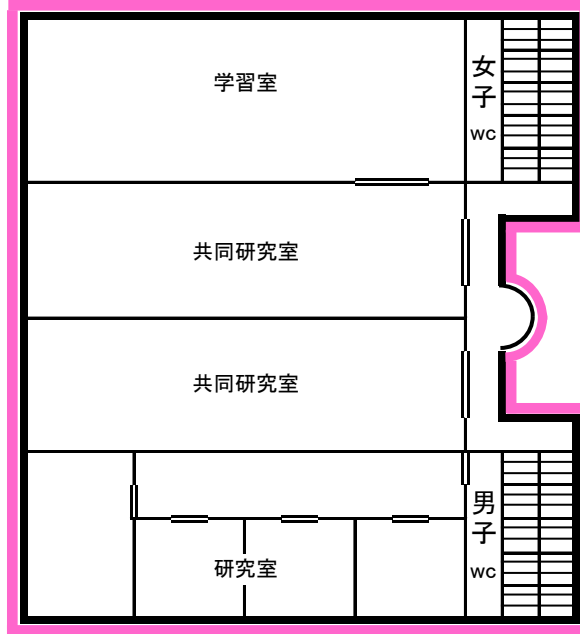
4・3階面積 = 710.94 m²

= (大学、高校共用)

4階

大学、高校共用

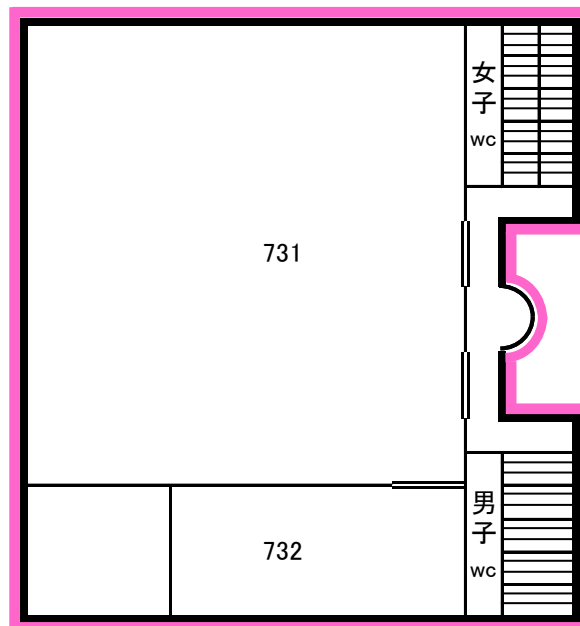
355.47m²



3階

大学、高校共用

355.47m²



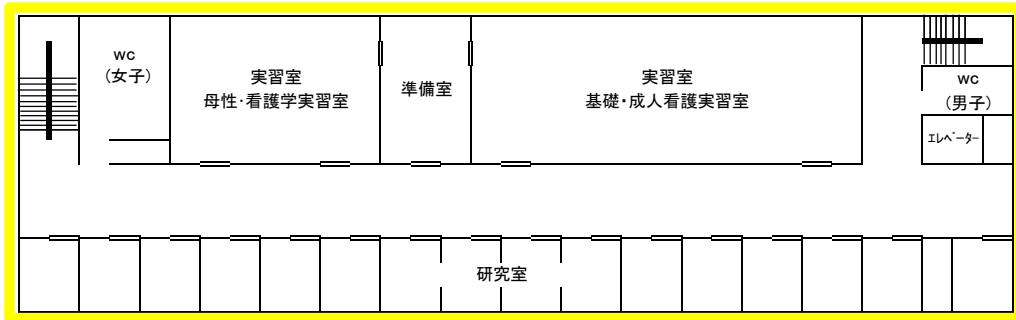
8号館（総合実習館）

総面積=4,057.75 m²

- = 大学・短大共用
 (大学:看護学科・人間健康学科/短大:介護福祉学科) 1,600.94 m²
- = 人間健康学科専用 320.63 m²
- = 看護学科専用 2,136.18 m²

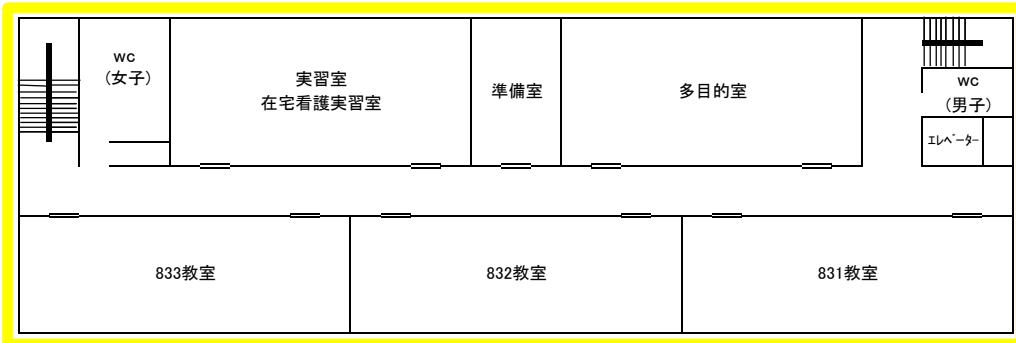
4階

看護学科専用
1,025.29m²



3階

看護学科専用
1,025.29m²

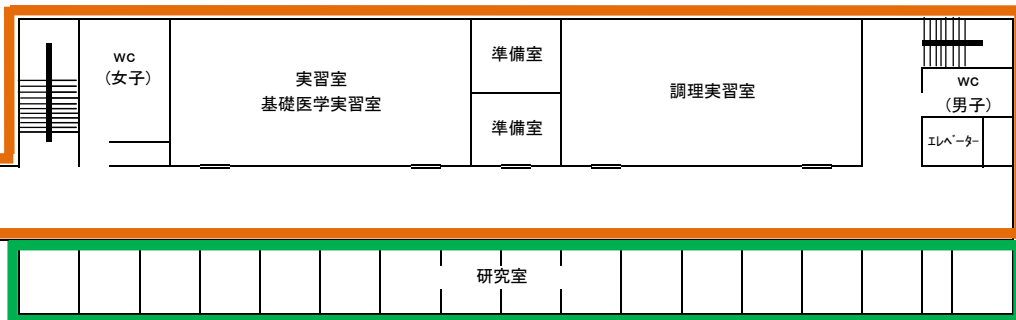


2階

大学短大共用
796.36m²

7号館へ
渡り廊下

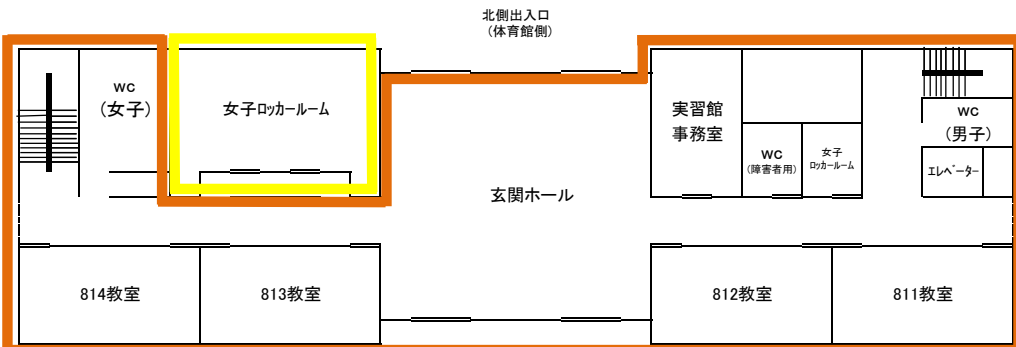
人間健康学科専用
320.63m²



1階

看護学科専用
85.60m²

大学短大共用
804.58m²



北側出入口
(体育館側)

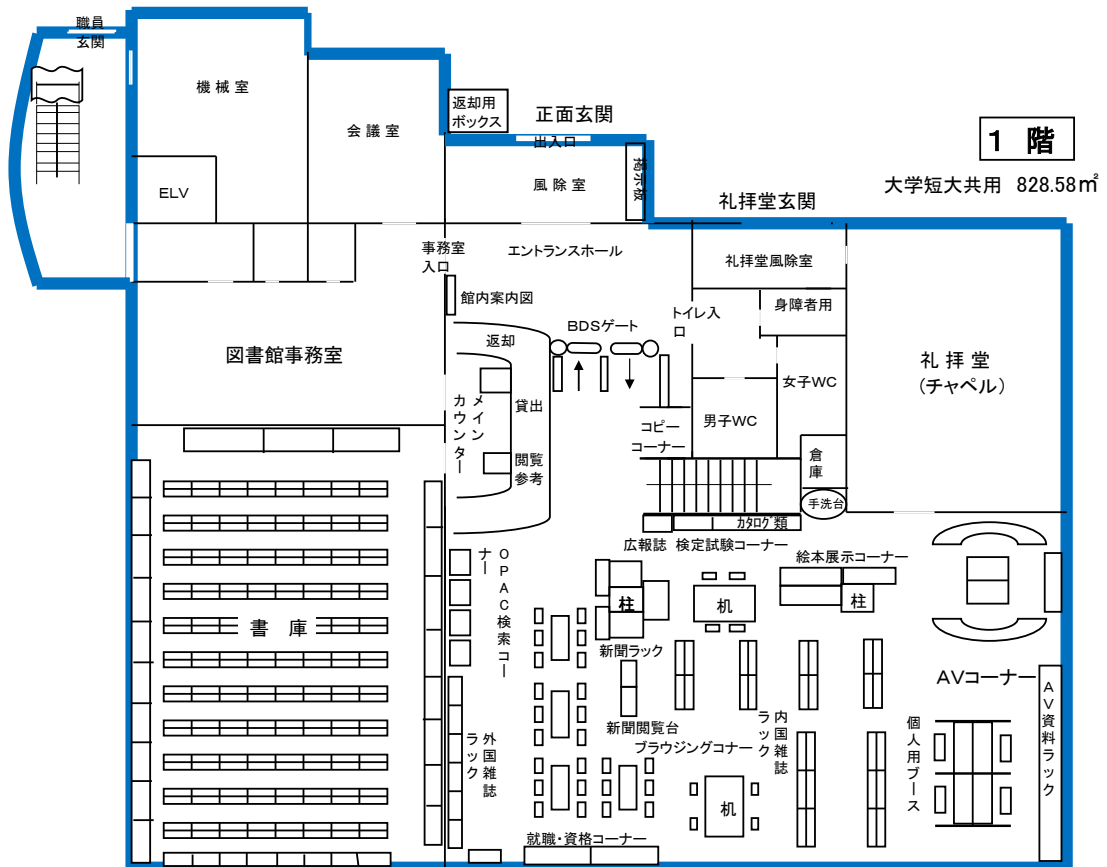
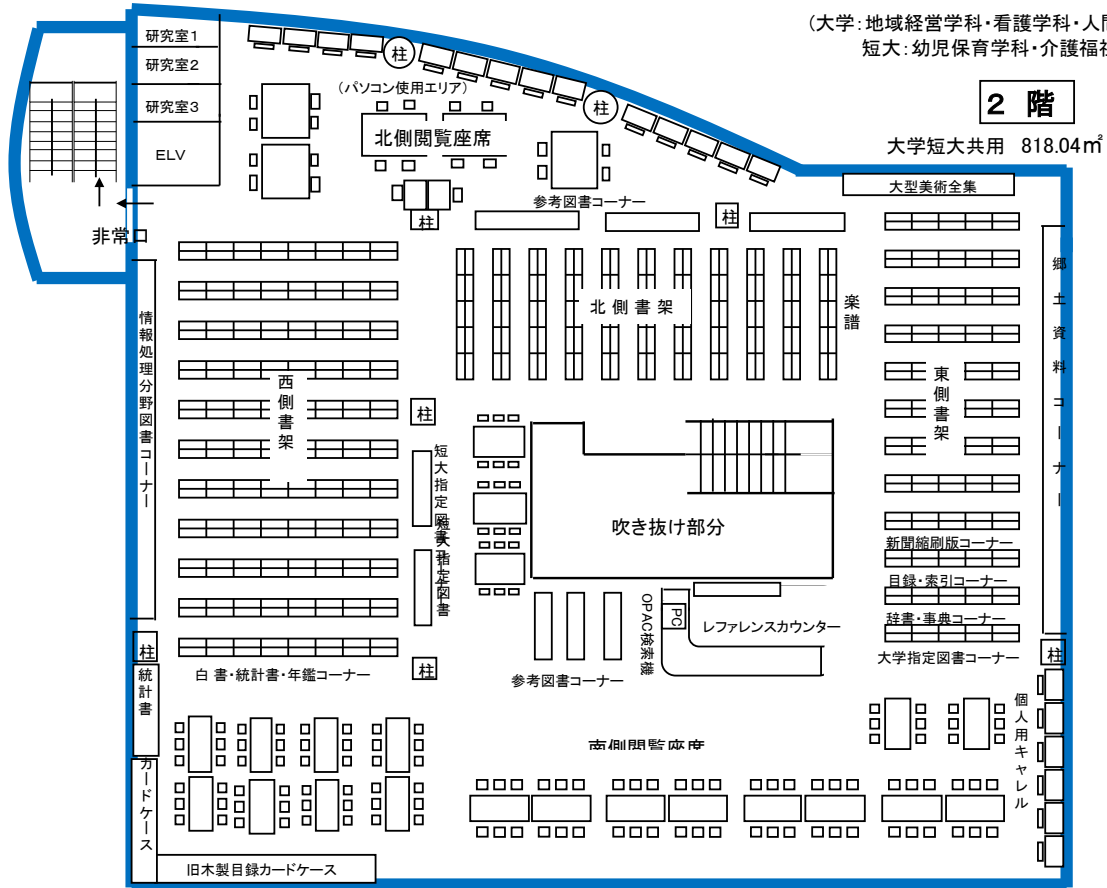
南側出入口

大学・短大図書館 平面図

総面積=1,646.62 m²

■ = 大学・短大共用

(大学: 地域経営学科・看護学科・人間健康学科
短大: 幼児保育学科・介護福祉学科)



総合体育館 平面図

基準外 総面積=2,578.29 m²

■ = 大学・短大共用

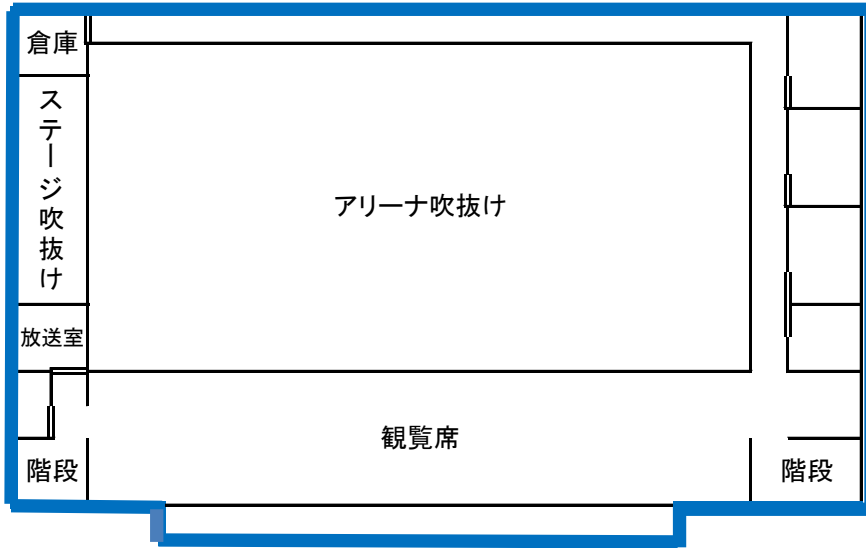
(大学: 地域経営学科・看護学科・人間健康学科

短大: 幼児保育学科・介護福祉学科)

2階

大学短大共用

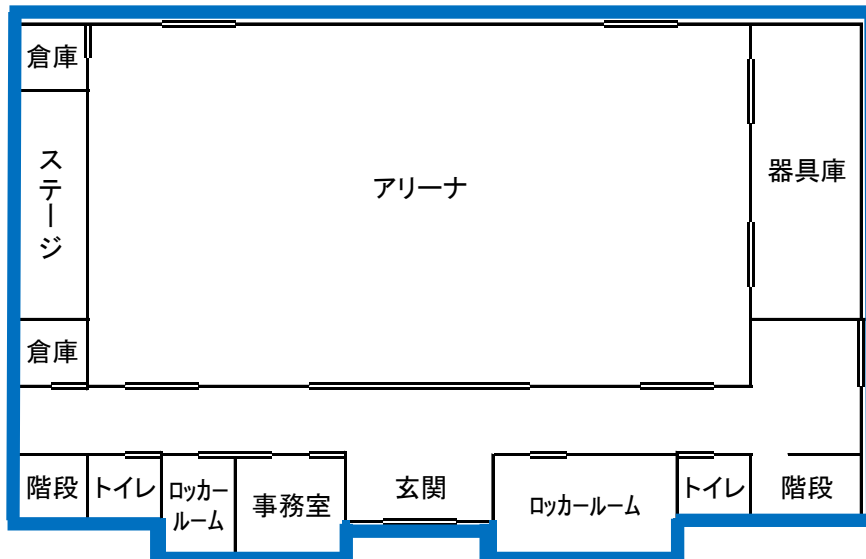
579.89m²



1階

大学短大共用

1998.40m²



八戸学院大学学則（案）

第1章 総則

第1条 八戸学院大学（以下「本学」という。）は、カトリック精神に基づき、広く豊かな教養を授け、深い専門の学術を探究せしめ、正しい道徳観と高い知性を有する民主的にして平和を愛好する人材を育成することを使命・目的とする。

2 地域経営学部地域経営学科は、経営学をはじめ社会科学の学問体系の基礎を学び、地域の企業、自治体、社会等あらゆる領域において経営に携わり、地域や世界に通用する人材を育成する。

3 健康医療学部人間健康学科は、こころとからだの健康と医療についての学びをふまえ、幅広い分野の研究・指導・実践ができ、地域住民の健康増進と地域の保健医療の向上に貢献できる人材を育成する。

4 健康医療学部看護学科は、豊かな感性と人間性を備え、日々進歩する看護の知識や技術に対応できる能力や地域の保健医療活動、健康増進に看護の実践者として貢献できる資質の高い人材を育成する。

第2条 本学は、高等教育機関としての教育研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動、その環境および大学運営等の状況について包括的に自ら点検・評価を行う。

2 前項の点検・評価の実施に関する細目等については、別に定める。

第2条の2 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第2条の3 入学者の選抜は、公正かつ妥当な方法により、適当な体制を整えて行うものとする。

第2章 学部・学科の組織

第3条 本学に、次の学部・学科を置く。

- (1) 地域経営学部 地域経営学科
- (2) 健康医療学部 人間健康学科
看護学科

第3章 修業年限および学生定員

第4条 本学の修業年限は4年とし、在学年限は8年とする。ただし、在学年限は教授会の審議を経て、学長が許可した場合は延長することができる。

第5条 本学の入学定員および収容定員は、次のとおりとする。

- (1) 地域経営学部地域経営学科 入学定員 80名 収容定員 320名
- (2) 健康医療学部人間健康学科 入学定員 100名 収容定員 400名
看護学科 入学定員 80名 収容定員 320名

第4章 学年、学期および休業日

第6条 学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。ただし、秋学期入学者については10月1日に始まり翌年9月30日に終わる。

- 2 学年を2学期に分けて次の2期とする。
春学期は 4月1日から9月30日まで
秋学期は 10月1日から翌年3月31日まで
- 3 授業実施総時間数は、各学期15週の年間30週とする。

第7条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日および土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 開学記念日 4月18日
 - (4) 春季休業 3月20日から4月10日まで
 - (5) 夏季休業 7月11日から8月31日まで
 - (6) 冬季休業 12月22日から翌年1月15日まで
- 2 学長は、前項に定める休業日を変更し、または臨時休業の日を定めることができる。
 - 3 休業日においても、必要に応じ実習を課し、または特別講義等を行うことがある。

第5章 授業科目および履修方法

第8条 本学は、大学、学部および学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成する。

- 2 教育課程の編成に当たっては、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮する。

第8条の2 本学は、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修および研究を実施するものとする。

第8条の3 授業科目は、リベラルアーツおよび専門教育科目とする。

- 2 授業科目および単位数は、別表1、別表2および別表3による。

第8条の4 授業は、講義、演習、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第9条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を教室内及び教室外を合わせて45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業の教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義および演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。
 - (2) 実習および実技については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。
 - (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第 10 条 履修方法は、第 1 年次及び第 2 年次においてはリベラルアーツを主とし、併せて専門教育科目の一部を履修させ、第 3 年次及び第 4 年次においては主として専門教育科目を履修させる。

2 履修の仕方は、別に定める八戸学院大学履修規程による。

第 11 条 本学学生の卒業に必要な単位数は、次のとおりとする。ただし、第 8 条の 4 第 2 項の授業方法により修得する単位数は 60 単位を超えないものとする。

区 分		リベラルアーツ			専門教育科目		
		必修科目	選択科目	合 計	必修科目	選択科目	合 計
地域経営学部	地域経営学科	12 単位	18 単位	30 単位以上	30 単位	64 単位	94 単位以上
健康医療学部	人間健康学科	16 単位	14 単位	30 単位以上	48 単位	46 単位	94 単位以上
	看護学科	14 単位	14 単位	28 単位以上	102 単位	1 単位	103 単位以上

第 12 条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、教育職員免許法および同施行規則に基づき、所定の授業科目を取得しなければならない。これらの科目の履修方法については、別に定める八戸学院大学教職課程履修規程による。

2 本学の学部の学科において、当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科	教員の免許状の種類 (免許教科)
地域経営学部	地域経営学科	高等学校教諭一種免許状 (商業) 高等学校教諭一種免許状 (情報)
健康医療学部	人間健康学科	中学校教諭一種免許状 (保健体育) 中学校教諭一種免許状 (保健) 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) 高等学校教諭一種免許状 (保健) 高等学校教諭一種免許状 (看護) 養護教諭一種免許状

第 13 条 教職に関する専門教育科目およびその単位数は、別表 4 の教職教育課程表のとおりとする。

第 14 条 毎学年の始めに、その学年に教授する授業科目の種類、講義題目および授業担当者を公示する。臨時講義については、随時、公示する。

2 科目の選択については、毎学期授業開始日前の指定期日までに教務学生課に履修届を提出しなければならない。

第 15 条 授業科目の履修終了の認定は、試験または論文による。ただし、実験、実習、演習および実技は、平常の成績によって認定することができる。

2 試験については、この学則に定めるほか、別に定める。

第 16 条 各授業科目の評価は、秀 (90 点以上)、優 (80 点以上 90 点未満)、良 (70 点以上 80 点未満)、可 (60 点以上 70 点未満) および不可 (60 点未満) とし、可以上を合格とする。(欧文による表記では秀を S、優を A、良を B、可を C とする)。合格した科目については、所定の単位数を与える。

2 グレード・ポイント・アベレージ (GPA) については別に定める。

第 16 条の 2 本学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が 1 年間または 1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を別に定めるものとする。

2 本学は、別に定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生および特別の理由が認められた学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

第 17 条 各授業科目について授業時数の 3分の1以上欠席した者は、その授業科目履修の認定を受けることができない場合がある。

第 18 条 授業料その他納入金未納の者は、科目履修の認定を受けることができない。

2 休学中の者は、その学期の試験を受けることができない。

第 19 条 正当な事由により試験を受けることができなかった者については追試験を行う。また、試験に不合格であった者については事情によっては再試験を行うことがある。

第 20 条 学生が、職業を有している等の事情により第 4 条に規定する修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修（以下「長期履修学生」という。）し卒業することを希望する場合は、その計画的な履修を認めることができる。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

第 20 条の 2 本学は、本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を交付することができる。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

第 6 章 他の大学または短期大学における授業科目の履修等

第 21 条 本学が教育上有益と認めるときは、本学学生が本学の定めるところにより他の大学または短期大学において履修した授業科目について、修得した単位を本学における授業科目を履修修得したものとみなし、認定することができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、本学学生が本学の定めるところにより短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目とみなし、単位を与えることができる。

3 前二項により、修得したものとみなし、または与えることができる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 22 条 前条の規定は、本学学生が外国の大学または短期大学に留学する場合に準用する。

第 23 条 本学が教育上有益と認めるときは、本学学生が入学する以前に他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学における授業科目を履修修得したものとみなし、認定することができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、本学学生が入学する以前に行った短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目とみなし、単位を与えることができる。

3 前二項により、修得したものとみなし、または与えることができる単位数は、学士入学、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 21 条第 1 項および第 2 項により当該大学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 24 条 学士入学前に修得した単位は、教授会の審議を経て学長が許可した場合は、入学後における修得すべき授業科目の単位とみなすことができる。

第 7 章 本学において科目等履修により修得した単位

第 25 条 本学に入学する以前に本学において科目等履修によって修得した当該単位は、入学後に修得したものとみなし、原則として卒業要件の単位に通算する。

2 本学において科目等履修によって一定の単位を修得した者は修業年限の2分の1を上限として、本学が定める期間を修業年限に通算することができる。

第8章 卒業の認定および学位の授与

第26条 第4条に定める修業年限を充たし、第11条に定める単位(124単位以上または131単位以上)を修得した者に対して、教授会の審議を経て学長は卒業を認定する。

第27条 卒業を認定された者に対して、学長は学士の学位を授与する。

第9章 入学、休学、復学、除籍、復籍、転部、転学、退学および留学

第28条 入学の時期は学期の始めとする。

第29条 本学に入学することができる者は次のとおりとする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- (3) 外国において、学校教育における12年の学校教育を修了した者、または、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) その他大学において相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第30条 入学志願者は、所定の書類に受験料を添えて願出しなければならない。

2 入学者の選抜は学力検査の成績および出身高等学校長からの調査書その他に基づいて行う。

第31条 入学についての試験および手続などは別にこれを定める。

第32条 学士入学、編入学または転入学を志願した時は、欠員がある場合に限り、選考のうえ入学を許可することがある。志願者の資格および手続については別に定める。

第33条 入学の許可は、教授会(入学者選抜委員会)の審議を経て学長が決定する。

第34条 入学を許可された者は、別に定める入学手続に従い、保証人連署の誓約書およびその他の書類を所定の期日までに提出しなければならない。

第35条 保証人は、その学生の在学中に係る一切の事件につき連帯の責任を負わなければならない。

- (1) 保証人は独立の生計を営み、確実に保証人の責を履行できる成年者でなければならない。
- (2) 保証人2人のうち1人は、八戸市またはその近在に居住している者とする。

(3) 保証人が死亡または前項の資格を失ったときは、改めて保証人を定め速やかに届け出なければならない。

第36条 入学を許可された後、所定の手続を完了しない場合は、その者の入学許可を取り消すことがある。

第37条 疾病その他やむを得ない事情により引き続き3ヶ月以上修学することができない者は、保証人連署のうえ、学長に願い出て、学長の許可を得て休学が許可された日から学期末または学年末まで休学することができる。

- 2 休学者が復学しようとする場合は、保証人連署のうえ願い出て学長の許可を得なければならない。
- 3 病気による休学の場合および病気治癒による復学の場合には、医師の診断書を添付し、学長の許可を得なければならない。
- 4 休学の期間は1ヶ年以内とする。ただし、願い出により許可された者は、さらに1ヶ年延長することができる。
- 5 休学期間は通算2ヶ年以内とし、休学した学期は在学年限に算入しない。

第38条 次の各号の一に該当する者は、教授会の審議を経て学長が除籍する。

- (1) 学費の納付を怠り、督促を受けてもお納付しない者
 - (2) 第4条に定める在学年限を超えた者
 - (3) 第37条に定める休学期間を超えてなお復学もしくは退学しない者
 - (4) 死亡した者
- 2 前項第1号により除籍された者が保証人連署で復籍を願い出た場合は、教授会の審議を経て学長が許可することができる。

第38条の2 本学の学生で他の学部・学科に転部・転科を志願する者があるときは、教授会の審議を経て、学長が許可することができる。

- 2 転部・転科を許可された者の本学に在学すべき年数、履修すべき科目および単位数は、教授会の審議を経て学長が決定する。

第39条 他の大学に転学を志望する者がある場合は、教授会の審議を経て学長が許可することができる。

第40条 病気その他の事由により退学しようとする場合は、事由を具し保証人連署のうえ、願い出なければならない。

第41条 願いにより退学した者が再入学を願い出た場合には、教授会の審議を経て学長が許可することができる。

第42条 本学が教育上有益と認めたときは、他の大学等に留学することを許可することができる。

- 2 留学の期間は、2年間に限り修業年限に通算することができる。
- 3 留学については、この学則に定めるほか別に定める。

第43条 本学の学部・学科には、他の大学の学部・学科と併せて在学することはできない。

第10章 受験料、入学金および学費

第44条 本学の受験料、入学金および学費は、別表5のとおりとする。ただし、学費は、社会経済情勢の変化等により在学中に変更することがある。

- 2 前項の規定にかかわらず、第20条に規定する長期履修学生の1年間の学費は、正規課程学生の4年分の学費総額を、許可された修業年限で除した額とする。

第45条 入学金を所定の期日までに納入しない場合は、その者の入学の許可を取り消すことができる。

第46条 学費は、春学期および秋学期の2期に分納するものとし、それぞれの期において納付する額は別表5-2に掲げる額の2分の1に相当する額とする。

- 2 学費の納付期限は、次のとおりとする。新入生ならびに学費等減免対象者の納付期限は別に通知する。
 - (1) 春学期 4月5日
 - (2) 秋学期 10月5日
- 3 学費を正当な理由なく所定の期日までに納入しない者には、登校停止を命じ、引き続き滞納するときは除籍することがある。

第47条 既納の受験料、入学金および学費はこれを還付しない。

- 2 前項の規定にかかわらず、本学に入学を許可された者が入学時に指定の期日までに入学辞退を申し出た場合は、その請求により学費を還付する。

第48条 退学した者、退学を命ぜられた者、または除籍された者は、その期間に属する学費を納入しなければならない。ただし、願い出により退学した者または第38条第1項により除籍された者が、再入学または復籍する際の納入金については別に定める。

- 2 停学を命ぜられた者は、その期間中の学費を納入しなければならない。

第49条 休学期間中の学費は免除する。ただし、春学期または秋学期の中途において休学を許可された者、または復学した者はその学期の学費を納入しなければならない。

第11章 科目等履修生、特別聴講学生、委託生、研究生および外国人留学生

第50条 本学の学生以外の者で、本学の開設する授業科目中一部の授業科目を履修しようとする者は、教授会の審議を経て学長が科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 前項の授業科目を履修した科目等履修生には、単位の授与または修了の事実を証する証明書を交付することができる。

第51条 他の大学または短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）の学生で、当該大学または短期大学との協議に基づき、本学において授業科目を履修しようとする者は、教授会の審議を経て学長が特別聴講学生として入学を許可することがある。

- 2 特別聴講学生については、この学則に定めるほか、別に定める。

第52条 公共機関または企業から本学における教育を委託された者は、教授会の審議を経て学長が委託生として入学を許可することがある。

第53条 外国人の入学志願者で、当該外国公館の証明を有し、本学での修学に堪える学力を有すると判定された者は、教授会の審議を経て学長が外国人留学生として入学を許可することがある。

第54条 本学において特定の課題について研究を進めようとする者は、教授会の審議を経て学長が研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生については、この学則に定めるほか、別に定める。

第55条 科目等履修生および外国人留学生については、本章に規定するもののほか、別に定めるところによる。

- 2 委託生については、本章に規定するもののほか、他の各章の規定を準用する。

第56条 科目等履修生、委託生および外国人留学生は、正規の課程の学生と同じく学則その他一般の規則を守らなければならない。

第12章 職員組織

第57条 本学に学長、学部長、学科長、教授、准教授、講師および事務職員を置く。

2 本学に副学長、学長補佐、助教、助手および技術職員を置くことができる。

第58条 学長は、本学を統轄し、これを代表する。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務を掌る。

3 学長補佐は、学長の命を受け特任事項を掌る。

4 学部長は、当該学部の校務を掌る。

5 学科長は、当該学科の校務を掌る。

6 教授・准教授・講師・助教は学生を教授し、その研究を指導するとともに、研究その他の職務に従事する。

7 助手は、教授・准教授・講師・助教の職務を助け、研究その他の職務に従事する。

第13章 運営会議および教授会

第59条 本学に、八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部運営会議（以下「運営会議」という。）を置く。

2 運営会議は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり、これを審議し、意見を述べるものとする。

(1) 教育研究に関する基本方針および教学運営上の全学的事項

(2) 教員の人事に関する事項

(3) 教授会の審議に関する基本的、共通的事項

(4) 各種分掌の組織および分掌内容に関する事項

(5) 学則、諸規程の制定・改廃および運用に関する事項

(6) その他、学長が必要と認めた重要事項

3 運営会議の審議を経て学長が決定した事項は、教授会に報告するものとする。

4 運営会議の組織および運営方法等については、別に定める八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部運営会議規程による。

第60条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長が意思決定を行うにあたり、次の各号について審議し、意見を述べるものとする。

(1) 教育課程に関する事項

(2) 前号にかかわる教育および指導に関する事項

(3) 研究活動に関する事項

(4) 学生の入学、卒業および学位の授与に関する事項

(5) 学生の休学、退学、転学および復学等に関する事項

(6) 試験および学業成績に関する事項

(7) 学生の生活指導および賞罰に関する事項

(8) その他、学長が必要と認めた事項

3 本条に定めるもののほか、教授会について必要な事項は、別に定める八戸学院大学教授会規程による。

第61条 削除

第62条 学長は、運営会議の審議を経て校務分掌を組織し、分掌事項を定める。

2 校務分掌に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 図書館、地域連携研究センターおよび附属学校

第63条 本学に図書館を置く。

第64条 本学に、地域連携研究センターを置く。

第65条 学校法人光星学院の併設する学校のうち次の学校は、本学の専門教育および教職に関する専門科目の実施研究に資する。

- (1) 八戸学院光星高等学校
- (2) 八戸学院野辺地西高等学校

第66条 図書館、地域連携研究センターおよび附属学校に関する規程は別に定める。

第15章 学寮および厚生保健施設

第67条 本学に、学生寮その他学生の厚生保健のための施設を設けることがある。これらの施設の利用等については別に定める。

第16章 賞 罰

第68条 本学の目的および使命によく合致した学生は、教授会の審議を経て学長はこれを賞することができる。

第69条 本学の学生で、人物・学業成績等が特に優れた者を特待生とすることができる。

2 特待生については、別に定める。

第70条 本学の学則に違反し、またはその本分に反する行為があったときは教授会の審議を経て学長はこれを懲戒することができる。

第71条 懲戒の種類は、戒告、停学および退学とし、次の各号の一に該当する者に対しては、退学を命ずることができる。

- (1) 性行不良で改心の見込みがないと認められた者
- (2) 学力劣等または疾病その他の事由により成業の見込みがない者
- (3) 正当な理由がなく出席が常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、そのほか学生として本分に反した者

第17章 公開講座

第72条 本学は、随時に公開講座を開設し、学生および一般市民の文化的向上に資する。

第18章 補 則

第73条 この学則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

第74条 この学則の改正は、運営会議の審議を経て学長が決定し、理事会の承認を得なければならない。

附 則

1. この学則は、昭和56年4月1日から施行する。
2. 昭和58年4月1日改正
3. 昭和61年4月1日改正
4. 昭和62年4月1日改正
5. 昭和63年4月1日改正

ただし、学則第4条の規定にかかわらず、昭和63年度から平成8年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

商学部商学科 入学定員 150名

6. この学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、第36条別表3-1は、平成2年度入学志願者から適用する。
7. 平成3年4月1日改正

ただし、第4条の規定にかかわらず、平成3年度から平成8年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

商学部商学科 入学定員 200名

8. この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第36条別表3-1は、平成3年度入学志願者から適用する。
9. 平成4年3月1日改正
10. この学則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第36条別表3-1及び3-2は、平成4年度入学志願者から適用する。
11. この学則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第36条別表3-2は、平成5年度入学志願者から適用する。
12. この学則は、平成6年4月1日から施行する。ただし、第35条別表3-2は、平成6年度入学志願者から適用する。
13. この学則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第35条別表3-1及び3-2は、平成7年度入学志願者から適用する。
14. この学則は、平成8年4月1日から施行する。ただし、第35条別表3-2は、平成8年度入学志願者から適用する。
15. 平成9年4月1日改正

ただし、第4条の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

商学部商学科 入学定員 200名

16. この学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、第35条別表3-2は、平成9年度入学志願者から適用する。
17. この学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、第41条別表3-2は、平成10年度入学志願者から適用する。
18. この学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、第41条別表3-2は、平成11年度入学志願者から適用する。
19. この学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、第43条別表3-2は、平成12年度入学志願者から適用する。
20. この学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、第43条別表3-2は、平成13年度入学志願者から適用する。
21. この学則は、平成14年4月1日から施行する。ただし、第43条別表3-2は、平成14年度入学志願者から適用する。
22. この学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、第43条別表3-2は、平成15年度入学志願者から適用する。
23. この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第2条、第4条、第11条の学部学科名称、第7条別表1及び別表2の教育課程表、第43条別表3-2は、平成16年度入学志願者から適用する。
24. この学則は、平成17年4月1日から施行する。ただし、第3条、第5条及び第12条の学部学科名称、第8条別表2の教育課程表、第13条別表3の教育課程表、第44条別表4-2は、平成17年度入学志願者から適用する。
25. この学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第8条別表1・別表2の教育課程表、第13条別表3の教育課程表及び第44条別表4-2は、平成18年度入学志願者から適用する。
26. この学則は、平成19年4月1日から施行する。
27. この学則は、平成20年4月1日から施行する。
28. この学則は、平成21年4月1日から施行する。
29. この学則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、第11条、別表1及び別表2については、平成22年度入学者から適用する。
30. この学則は、平成23年4月1日から施行する。

31. この学則は、平成24年4月1日から施行する。
32. この学則は、平成25年4月1日から施行する。
33. この学則は、平成26年4月1日から施行する。
34. この学則は、平成27年4月1日から施行する。
35. この学則は、平成28年4月1日から施行する。
36. この学則は、平成29年4月1日から施行する。
37. この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、第3条、第5条および第11条の学部学科名称、第8条の3別表1の教育課程表、第13条別表4の教育課程表、第44条別表5は、平成30年度入学志願者から適用する。
38. この学則は、平成31年4月1日から施行する。
39. この学則は、令和2年4月1日から施行する。
40. この学則は、令和3年4月1日から施行する。
41. この学則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、第5条の収容定員および第8条の3別表3の教育課程表は、令和4年度入学志願者から適用する。

教育課程表 (地域経営学部地域経営学科)

授業科目		単位数	必修 単位数	選択 単位数
リ ベ ラ ル ア ー ツ	導入教育	宗教学	2	
		キリスト教概論	2	
		地域文化論		2
		基礎演習	2	
		プレゼンテーション	2	
		情報処理基礎	2	
		日本語リテラシー	2	
		日本語表現リテラシー		2
	外国語を 学ぶ領域	英語 I		2
		英語 II		2
		英語コミュニケーション		2
		英語 (TOEIC) I		2
		英語 (TOEIC) II		2
		ドイツ語		2
		ドイツ語コミュニケーション		2
	人としての あり方を学 ぶ領域	哲学		2
		芸術論		2
		デザイン論		2
		心の科学		2
		行動の科学		2
	社会のあり 方を学ぶ領域	歴史学		2
		日本国憲法		2
		政治学		2
		社会学		2
		国際関係論		2
		海外事情		2
		自然と科学を学 ぶ領域	自然科学概論	
数学		2		
スポーツの科学		2		
小計			12	46
キャリア 教育	キャリアデザイン I		1	
	キャリアデザイン II		1	
	キャリアデザイン III		1	
	キャリアデザイン IV		1	
	キャリアデザイン V		1	
	キャリアデザイン VI		1	
	キャリアデザイン VII			1
	キャリアデザイン VIII			1
必修科目	経営学		2	
	経済学入門		2	
	法学概論		2	
	簿記原理 I		2	
	会计学原理		2	
	コンピュータサイエンス		2	
	研究演習 I		2	
	研究演習 II		2	
	研究演習 III		2	
	研究演習 IV		2	
	研究演習 V		2	
	研究演習 VI		2	
基幹科目	地域経営 領域	経営史		2
		金融入門		2
		人的資源管理		2
		地域経営論		2
		日本経済論		2
		民法 I		2
	情報・ 会計領域	市民社会論		2
		簿記原理 II		2
		中級簿記		2
		工業簿記		2
		財務諸表論		2
		インターネット		2
		統計学		2
		統計演習		2

授業科目		単位数	必修 単位数	選択 単位数	
地 域 経 営 領 域	選 択 専 門 教 育 科 目	経営管理論		2	
		経営戦略論		2	
		経営情報論		2	
		経営科学		2	
		中小企業・ベンチャー企業論		2	
		金融経済論		2	
		保険論		2	
		労働問題		2	
		地域イノベーション・マネジメント		2	
		マーケティング論		2	
		地域マーケティング		2	
		消費者行動論		2	
		地域産業論		2	
		農業概論		2	
		農業経済学		2	
		農業経営学		2	
		食料経済学		2	
		水産経済論		2	
		流通経済論		2	
		地域活性化システム論		2	
		ミクロ経済学		2	
		公共経済学		2	
		マクロ経済学		2	
		経済政策論		2	
		財政学		2	
		地方財政論		2	
		民法 II		2	
		商法		2	
		行政法		2	
		地域社会論		2	
		情 報 ・ 会 計 領 域	原価計算論		2
			上級簿記		2
			管理会計論		2
			監査論		2
税務会計論			2		
経営分析論			2		
公会計論			2		
情報社会論			2		
データベース設計			2		
データベース実習			2		
情報システム設計			2		
情報システム開発			2		
プログラミング			2		
アプリケーション開発実習 I			2		
アプリケーション開発実習 II			2		
共 通 選 択 科 目	デザイン		2		
	デザイン実習		2		
	マルチメディアシステム論		2		
	グラフィックス		2		
	情報と職業		2		
	職業指導		2		
専門英語		2			
インターンシップ		2			
地域経営学特殊講義 I		2			
地域経営学特殊講義 II		2			
地域経営学特殊講義 III		2			
小計			30	142	
合計			42	188	

教育課程表 (健康医療学部人間健康学科)

授業科目		単位数	必修 単位数	選択 単位数	
導入教育	宗教学	2			
	キリスト教概論	2			
	地域文化論	2			
	基礎演習	2			
	プレゼンテーション	2			
	情報処理基礎	2			
	日本語リテラシー	2			
	日本語表現リテラシー			2	
	英語 I	2			
	英語 II	2			
外国語を 学ぶ領域	英語コミュニケーション	2			
	英語 (TOEIC) I	2			
	英語 (TOEIC) II	2			
	ドイツ語	2			
	ドイツ語コミュニケーション	2			
	哲学	2			
	芸術論	2			
人としての あり方を 学ぶ領域	デザイン論	2			
	心の科学	2			
	行動の科学	2			
社会のあり 方を学 ぶ領域	歴史学	2			
	日本国憲法	2			
	政治学	2			
	社会学	2			
	国際関係論	2			
自然と科学を 学ぶ 領域	海外事情	2			
	自然科学概論	2			
	数学	2		2	
	スポーツの科学	2		2	
小計		16		42	
キャリア 教育	キャリアデザイン I	1			
	キャリアデザイン II	1			
	キャリアデザイン III	1			
	キャリアデザイン IV	1			
	キャリアデザイン V	1			
	キャリアデザイン VI	1			
	キャリアデザイン VII			1	
	キャリアデザイン VIII			1	
	インターンシップ			2	
学部必修	健康医療総論	2			
	生命と倫理	2			
	人間発達学	2			
	健康管理論	2			
	健康教育論	2			
	健康栄養学	2			
	医学一般	2			
	医学一般 II	2			
	心理学	2			
	解剖学・生理学 (運動生理学を含む) I	2			
	解剖学・生理学 (運動生理学を含む) II	2			
	公衆衛生学	2			
	衛生学	2			
	小児保健	2			
	精神保健	2			
	研究演習 I	2			
	研究演習 II	2			
	研究演習 III	2			
	研究演習 IV	2			
	研究演習 V	2			
	研究演習 VI	2			
	専 門 学 科	教育職 プログラ ム (保健 体育)	体育原理		2
			運動学 (運動方法学を含む)		2
地域スポーツ論				2	
生涯スポーツ論				2	
ヘルスエクスサイズ				2	
健康と運動処方				2	
基本実技				1	
水泳				1	
ダンス				1	
陸上競技				1	
フットボールスポーツ				1	
バスケットボール・バレーボール				1	
ラケット・バッドスポーツ				1	
武道 I (柔道)				1	
武道 II (剣道・弓道)				1	
器械体操				1	
スキー				1	
スケート		1			

授業科目		単位数	必修 単位数	選択 単位数		
教 育 目 的	※	栄養指導論		2		
		運動と栄養		2		
		スポーツバイオメカニクス		2		
		トレーニング総論		2		
		スポーツ心理学		2		
		コーチング論		2		
		科 健 康 科 目	教育職 プログラ ム (養護・ 保健) (看護)	養護概説		2
				看護学		2
				栄養学 (食品学を含む)		2
				微生物学		2
免疫学				2		
健康相談活動の理論および方法				2		
学校保健 (学校安全を含む)				2		
救急処置 (実習を含む)				2		
看護実践論				2		
看護技術演習				2		
看護学臨床実習 I		2				
看護学臨床実習 II		2				
人間環境論		2				
食生活論		2				
薬理概論		2				
社 会 福 祉 学	認定 心理士 プログラ ム	健康心理学		2		
		児童心理学		2		
		認知心理学		2		
		感情心理学		2		
		青年心理学		2		
		臨床心理学		2		
		心理学研究法		2		
		社会心理学		2		
		心理統計学		2		
		老人・障害者の心理		2		
心理学基礎実験		2				
ヘルスカウンセリング		2				
心理学実習		2				
コ ー ス	社会 福祉 学	社会福祉の原理と政策 I		2		
		社会福祉の原理と政策 II		2		
		社会福祉調査の基礎		2		
		ソーシャルワークの基盤と専門職 I		2		
		ソーシャルワークの基盤と専門職 II		2		
		ソーシャルワークの理論と方法 I		2		
		ソーシャルワークの理論と方法 II		2		
		ソーシャルワークの理論と方法 III		2		
		ソーシャルワークの理論と方法 IV		2		
		地域福祉と包括的支援体制 I		2		
地域福祉と包括的支援体制 II		2				
福祉サービスの組織と経営		2				
社会保障 I		2				
社会保障 II		2				
高齢者福祉		2				
障害者福祉		2				
児童・家庭福祉		2				
貧困に対する支援		2				
保健医療と福祉		2				
権利擁護を支える法制度		2				
刑事司法と福祉		2				
ソーシャルワーク演習 I		2				
ソーシャルワーク演習 II		2				
ソーシャルワーク演習 III		2				
ソーシャルワーク演習 IV		2				
ソーシャルワーク演習 V		2				
学部選択	学部選択					
	ソーシャルワーク実習指導 I		1			
	ソーシャルワーク実習指導 II		1			
	ソーシャルワーク実習指導 III		1			
	ソーシャルワーク実習		6			
	介護概論		2			
	健康科学実習		2			
	卒業研究 I		2			
	卒業研究 II		2			
小計			48	165		
合計			64	207		

注) スポーツ科学コースの ※ は、トレーニング指導者プログラムをいう。

教育課程表 (健康医療学部看護学科)

授業科目		単位数	必修 単位数	選択 単位数	
リ ベ ラ ル ア ー ツ	導入教育	宗教学	2		
		キリスト教概論	2		
		地域文化論	2		
		基礎演習	2		
		プレゼンテーション	2		
		情報処理基礎	2		
		日本語リテラシー	2		
	日本語表現リテラシー		2		
	外国語を 学ぶ領域	英語 I		2	
		英語 II		2	
		英語コミュニケーション		2	
		英語 (TOEIC) I		2	
		英語 (TOEIC) II		2	
		ドイツ語		2	
		ドイツ語コミュニケーション		2	
	人としての あり方を 学ぶ領域	哲学		2	
		芸術論		2	
		デザイン論		2	
		心の科学		2	
		行動の科学		2	
		歴史学		2	
社会学			2		
社会のあり 方を学 ぶ領域	日本国憲法		2		
	政治学		2		
	社会学		2		
	国際関係論		2		
	海外事情		2		
	自然科学概論		2		
	数学		2		
自然と科学を 学ぶ 領域	スポーツの科学		2		
	小計		14	44	
専門導入 科目	看護教育のための生物基礎 看護教育のための化学基礎	1		1	
専 門 基 礎 科 目	人間と健康	健康医療総論	2		
		生命と倫理	2		
		人間発達学	2		
		解剖生理学 I	2		
		解剖生理学 II	2		
		病態学 I	2		
		病態学 II	2		
		病態学 III	2		
		病態学 IV	2		
		薬理学	2		
		栄養学	1		
		微生物学	1		
		社会福祉論	1		
		環境と健康	公衆衛生学	1	
	疫学		2		
	保健統計学 I		1		
	保健統計学 II			1	
	保健医療福祉行政論 I		1		
	保健医療福祉行政論 II			1	
	保健医療福祉行政論 III			1	
	教 育 専 門 科 目	看護の 基本	看護学概論	2	
日常生活援助論			2		
回復促進援助論			2		
看護過程論			2		
コミュニケーション論			1		
ヘルスアセスメント			1		
看護倫理			1		
基礎看護学実習 I			1		
基礎看護学実習 II			3		
成人看護学概論			2		
①		成人看護援助論 I	2		
		成人看護援助論 II	2		
		急性期・周手術期看護実習	3		
		慢性期看護実習	3		
		高齢者看護学概論	2		
②		高齢者看護援助論	2		
		高齢者生活支援看護実習	3		
③		小児看護学概論	2		
		小児看護援助論	2		
		小児看護学実習 I	1		
		小児看護学実習 II	1		
④	母性看護学概論	2			
	母性看護援助論	2			
	母性看護学実習	2			
⑤	精神看護学概論	2			
	精神看護援助論	2			
精神看護学実習	2				

授業科目		単位数	必修 単位数	選択 単位数	
科 目	⑥	地域保健学	1		
		地域・在宅看護学概論	2		
		地域・在宅看護援助論	2		
		地域・在宅看護学実習	2		
		へき地看護活動論	1		
		統合看護論	1		
	看護の統 合・看護 の発展	チーム医療論	1		
		医療安全論	1		
		看護管理論	1		
		看護教育論		1	
		家族看護論	1		
		救急看護		1	
		リハビリテーション看護		1	
		緩和ケア論		1	
		災害看護活動論	1		
		国際看護活動論	1		
		統合看護実習	2		
		公衆衛生 看護	公衆衛生看護学概論 I		1
			公衆衛生看護学概論 II		1
			公衆衛生看護支援論 I		2
			公衆衛生看護支援論 II		2
公衆衛生看護活動展開論 I			2		
公衆衛生看護活動展開論 II			2		
公衆衛生看護管理論			1		
公衆衛生看護支援実習		1			
公衆衛生看護学実習 I		1			
公衆衛生看護学実習 II		3			
看護の 研究	看護学研究法	2			
	看護卒業研究	2			
小計			102	24	
合計			116	68	

注) 表中の○数字は、次のことをいう。

- ① 看護の展開・成人看護
- ② 看護の展開・高齢者看護
- ③ 看護の展開・小児看護
- ④ 看護の展開・母性看護
- ⑤ 看護の展開・精神看護
- ⑥ 看護の統合・地域・在宅看護

別表4 (第13条関係)

教職教育課程表

授業科目	単位数	必修 単位数	選択 単位数
教育原理		2	
教職概論		2	
教育行政		2	
教育心理学		2	
特別支援の理解		1	
教育課程論		2	
道徳教育の理論と実践			2
総合的な学習の時間の指導法		2	
特別活動論		2	
教育方法論		2	
生徒指導論		2	
教育相談		2	
進路指導論		1	
教育実習A			3
教育実習B			2
養護実習			5
教職実践演習(中高)			2
教職実践演習(養)			2
商業科教育法A			2
商業科教育法B			2
情報科教育法A			2
情報科教育法B			2
保健体育科教育法A			2
保健体育科教育法B			2
保健体育科教育法C			2
保健体育科教育法D			2
看護科教育法A			2
看護科教育法B			2

別表5 (第44条関係)

受験料・入学金および学費

1. 受験料・入学金

(単位:円)

受験料	30,000
入学金	270,000

※ ただし、大学入学共通テスト成績利用入学試験の受験料は、15,000円とする。

2. 学費

(単位:円)

区分	地域経営学部		健康医療学部				
	地域経営学科		人間健康学科		看護学科		
	授業料	教育費	授業料	教育費	授業料	教育費	実習教育費
1年次	670,000	300,000	670,000	310,000	800,000	310,000	240,000
2年次	670,000	300,000	670,000	310,000	800,000	310,000	240,000
3年次	670,000	300,000	670,000	310,000	800,000	310,000	240,000
4年次	670,000	300,000	670,000	310,000	800,000	310,000	240,000

変更事項を記載した書類（変更の事由及び変更点）

1. 学則変更の事由

- (1) 八戸学院大学健康医療学部「人間健康学科」定員増に伴う変更

2. 学則の変更点

- (1) 「人間健康学科」定員増に伴う変更（令和4年4月1日改正）
 - ・健康医療学部人間健康学科定員増に係る関係条項

「八戸学院大学学則」新旧対照表（令和4年4月1日施行）（案）

新	旧
<p>省 略（第1条～第4条）</p> <p>第5条 本学の入学定員および収容定員は、次のとおりとする。 (1) 地域経営学部地域経営学科 入学定員 80名 収容定員 320名 (2) 健康医療学部人間健康学科 入学定員 <u>100</u>名 収容定員 <u>400</u>名 看護学科 入学定員 80名 収容定員 320名</p> <p>省 略（第6条～第73条）</p> <p>第74条 この学則の改正は、運営会議の審議を経て学長が決定し、理事会の承認を得なければならない。</p> <p><u>附 則</u> <u>41. この学則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、第5条の収容定員および第8条の3別表3の教育課程表は、令和4年度入学志願者から適用する。</u></p>	<p>同 左</p> <p>第5条 本学の入学定員および収容定員は、次のとおりとする。 (1) 地域経営学部地域経営学科 入学定員 80名 収容定員 320名 (2) 健康医療学部人間健康学科 入学定員 <u>80</u>名 収容定員 <u>320</u>名 看護学科 入学定員 80名 収容定員 320名</p> <p>同 左</p>

[改正内容] 1. 健康医療学部人間健康学科の入学定員ならびに収容定員を変更した。(第5条)

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部運営会議規程

(目的)

第1条 この規程は、八戸学院大学（以下「大学」という。）学則第59条第4項および八戸学院大学短期大学部（以下「短大」という。）学則第38条第4項に基づき、八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部運営会議（以下「運営会議」という。）の組織および運営について、必要な事項を定める。

(組織)

第2条 運営会議は、大学・短大の学長、副学長、学長補佐、学部長、学科長、図書館長、地域連携研究センター長および事務局学務部長をもって組織する。

- 2 運営会議に議長を置き、理事長が任命する。
- 3 議長が必要と認めたときは、前項の構成員以外の者を出席させることができる。
- 4 理事長および常務理事は、随時、運営会議に出席して発言することができる。

(会議)

第3条 運営会議は、大学および短大合同で開催することを常例とし、原則として毎月1回定例で開催する。

- 2 運営会議は、議長が招集する。
- 3 議長に事故あるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 4 議長が必要と認めたときは、臨時に運営会議を開催することができる。

(審議事項)

第4条 運営会議の審議事項は、次の各号による。

- (1) 運営会議は、大学学則第59条第2項および短大学則第38条第2項に定める事項を審議する。
- 2 前項の規定に関わらず、教員の採用選考に関することは教員選考委員会、教員の昇任審査に関することは教員審査委員会において審議し、運営会議に上程する。
- 3 教員選考委員会、教員審査委員会に関する必要な事項は別に定める。

(運営会議の合意)

第5条 運営会議の議事は、構成員の過半数の合意によるものとし、可否同数のときは議長の裁定による。

(審議結果の処理)

第6条 運営会議の審議の結果については、教授会に報告するものとする。

(事務)

第7条 運営会議の事務は、学務部学務課において処理する。

(議事録)

第8条 運営会議の議事については、開催日時、合意事項およびその他の事項について議事録を作成し、保存しなければならない。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第 10 条 この規程の改廃は、運営会議の審議を経て学長が決定する。

附 則

この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

八戸学院大学教授会規程

（ 制 定 平成 24 年 2 月 1 日
最終改正 平成 29 年 3 月 22 日 ）

（目的）

第 1 条 この規程は、八戸学院大学学則（以下「学則」という。）第 60 条第 3 項に基づき、教授会の組織および運営方法等について、必要な事項を定める。

（教授会の構成等）

第 2 条 学則第 60 条に定める教授会は全学教授会および学部教授会とし、その構成等は、以下のとおりとする。

2 全学教授会

(1) 構成

全学教授会は教授をもって構成する。ただし、学長が必要と認めたときは、准教授、講師、助教、その他の教職員を加えることができる。

(2) 招集および議長

全学教授会は学長が招集し、その議長となる。ただし、学長に事故あるとき、または学長が欠けたときは、あらかじめ指名された者がその職務を代行する。

(3) 会議の成立

全学教授会は構成員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(4) 開催方法

全学教授会は毎月定例で開催する。ただし、学長が必要と認めたときは、臨時に開催することができる。

3 学部教授会

(1) 構成

学部教授会は学部の教授をもって構成する。ただし、学部長が必要と認めたときは、准教授、講師、助教、その他の教職員を加えることができる。

(2) 招集および議長

学部教授会は学部長が招集し、その議長となる。ただし、学部長に事故あるとき、または学部長が欠けたときは、あらかじめ指名された者がその職務を代行する。

(3) 会議の成立

学部教授会は構成員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(4) 開催方法

学部教授会は毎月定例で開催する。ただし、学部長が必要と認めたときは、臨時に開催することができる。

（審議事項）

第 3 条 教授会の審議事項は、次の各号による。

(1) 全学教授会は、学則第 60 条第 2 項に定める事項を審議する。

(2) 学部教授会は、前項に定める以外の教育研究に関する事項を審議する。

2 前項の規定に関わらず、入学者の選抜に関することは入学者選抜委員会、学生の育英・奨学に関することは学費等減免選考委員会において審議する。

3 入学者選抜委員会、学費等減免選考委員会に関する必要な事項は別に定める。

（教授会の合意）

第 4 条 教授会の議事は、出席者の過半数の合意によるものとし、可否同数のときは議長の裁定による。

(議事録)

第5条 教授会の議事については、日時、場所、合意事項およびその他の事項について議事録を作成し、保存しなければならない。

2 議事録には、議長のほか、出席者のうちから指名された者2名が記名押印しなければならない。

(事務)

第6条 教授会の事務は、学務部学務課において処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部運営会議の審議を経て学長が決定する。

附 則

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

2 八戸大学・八戸短期大学教授会等運営に関する規程(平成17年4月1日施行)は廃止する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和4年4月より、八戸学院大学の健康医療学部人間健康学科の収容定員を、以下の通り、変更する。

学部／学科	収容定員変更前		収容定員変更後	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
健康医療学部 人間健康学科	80	320	<u>100</u>	<u>400</u>

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

八戸学院大学の健康医療学部人間健康学科では、こころとからだの健康と医療についての学びを通して、幅広い分野の研究・指導・実践ができ、地域住民の健康増進と地域の保健医療の向上に貢献できる人材の育成に努めてきたことから、これまで安定的な志願者の確保と高い就職実績を有しており、昨今の18歳人口の減少期においても、入学者選抜の機能を十分に維持できるだけの志願者数を確保しているとともに、就職難の時代においても、毎年本学の卒業生に対する企業等からの数多くの求人件数が寄せられている。（資料1 過去4年間の志願者数・入学者数・求人件数・就職状況）

このことは、健康医療学部人間健康学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの証であり、今後、本学が地域社会に対して高等教育機関としての使命と役割をより一層果たしていくためには、受験生に対して広く教育を受ける機会を提供することで、本学への高い進学需要に応えるとともに、多くの有為な人材を輩出することで、地域社会に貢献していく必要があると考えている。

このことから、これまでの健康医療学部人間健康学科における教育研究組織や教育研究内容及び教育研究環境などの整備状況を踏まえたうえで、受験生からの進学需要及び地域社会からの人材需要の高い専門分野における養成規模の充実を図ることにより、地域社会へのさらなる貢献を目指すこととし、入学者選抜の機能が低下しない範囲で、健康医療学部人間健康学科の収容定員変更を行うこととした。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

健康医療学部人間健康学科では、健康と医療について学際的な見地から総合的に探究できる人材を育成することを教育理念として、健康と医療の基礎知識から教育面や政策に至るまで、幅広い分野の研究・指導・実践ができる能力を身に付けるとともに、健康増進と保健医

療の分野において、地域社会が要求する健康ニーズに対応できる能力を身に付けた人材を育成することを教育目標としている。

健康医療学部人間健康学科では、この養成する人材の目的を達成するために、教育課程を「専門教育科目」と「リベラルアーツ」から編成し、「専門教育科目」では、基礎・基本を重視し、専門の骨格を正確に把握させるとともに、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次生のある教育課程として編成しており、専門教育を体系的に展開することから、「キャリア教育」、「学科必修」、「スポーツ科学コース」、「健康科学コース」、「学科選択」の5つの科目群から編成している。

「専門教育科目」の授業科目数と単位数は、「キャリア教育」9科目10単位、「学科必修」21科目42単位、「スポーツ科学コース」24科目36単位、「健康科学コース」59科目119単位、「学科選択」3科目6単位を配置しており、「専門教育科目」全体として、必修科目27科目48単位、選択科目89科目165単位の合計116科目213単位を配置し、4年間の授業全体を通して、専門的な知識や能力を体系的に身に付けるための教育課程の編成としている。

「リベラルアーツ」では、中央教育審議会答申が示している「各専攻分野を通じて培う「学士力」～学士課程共通の「学習成果」に関する参考指針～」の重要性や意義を踏まえた上で、学位授与の方針（ディプロマポリシー）として、「豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力及び地域の文化や特性についての理解」を掲げており、これらの知識や能力を身に付けるための科目群として、「導入教育」、「外国語を学ぶ領域」、「人としてのあり方を学ぶ領域」、「社会のあり方を学ぶ領域」、「自然と科学を学ぶ領域」の5つの科目群から編成している。

「リベラルアーツ」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「導入教育」15科目16単位、「外国語を学ぶ領域」7科目14単位、「人としてのあり方を学ぶ領域」5科目10単位、「社会のあり方を学ぶ領域」6科目12単位、「自然と科学を学ぶ領域」3科目6単位としており、「リベラルアーツ」全体として、29科目58単位を配置している。

また、健康医療学部人間健康学科では、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修のもとに、円滑に単位を取得することが可能となるよう、教育課程編成・実施の方針を具体化し、可視化して共有できる履修体系図及び養成する具体的な人材像に対応した履修モデルとして、「スポーツ科学コース」と「健康科学コース」の2つのモデルを設定しており、学生の興味と関心や卒業後の進路に応じた適切な授業科目の履修が可能となるよう配慮している。（資料2 教育課程等の概要、履修モデル、カリキュラムマップ）

このように健康医療学部人間健康学科では、養成する人材の目的を達成するために、体系性かつ順次性のある教育課程の編成としており、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないと考えていることから、収容定員の変更に伴う教育課程の変更は行わないこととしている。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

1 教育方法

健康医療学部人間健康学科の授業方法は、学説や物事などの意味や内容の理解を目的とする教育内容は、講義形式による授業形態を採ることとし、知識や技能を実践に応用する能力の修得を目的とする教育内容は、演習形式及び実習形式による授業形態を採ることとしている。

授業の内容に応じた学生数の設定については、授業の内容や授業の方法、施設や設備の状況、演習科目・実習科目・実践科目の指導体制などの教育上の諸条件を考慮して、一部の科目で履修者数の制限を設けている。

授業科目の配当年次は、基礎から応用へと体系的な学習が可能となるよう配慮しており、専門教育においては、専門分野の教育内容ごとに、知識、技能、応用といった授業の内容と科目間の関係や履修の順序に留意するとともに、単位制度の制度設計の観点を踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないような配当としている。

授業方法は、学生の能動的な学修への参加を促すことから、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等をはじめとする教授方法を取り入れることによる能動的学修を導入するとともに、学生の自由な発想力と創造性や感性を養い、実践的な調査力や分析力及び問題発見・解決能力を高めることから、身近な問題や事例を素材とするグループ協同作業で学ぶ問題解決型の学習方式を導入している。

また、単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、学生の主体的な学習を促し、教室における授業と教室外の学習を合わせた充実した授業を展開することにより学習効果を高められることから、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1年間に履修科目として登録することができる標準的な単位数の上限を50単位と定めている。

さらに、卒業時における学生の質を確保する観点から、予め学生に対して各授業における学習目標やその目標を達成するための授業の方法や計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を提示し、これに基づき厳格な評価を行うとともに、客観的な評価基準の適用及び厳格な成績評価の方法としてGPA制度を導入している。

このように健康医療学部人間健康学科では、教育の質保障の観点を踏まえたうえで、教育方法の整備と充実に努めており、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないと考えていることから、収容定員変更に伴う教育方法の変更は行わないこととしている。

2 履修指導方法

履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用の時間を設けることにより、個別のきめ細やかな履修指導を行う体制を整えるとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的な職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生への履修指導体制を整備している。

また、学部教育段階では、基礎的な専門知識や技能を確実に修得させることに重点を置くことが重要であるとの認識のもとに、各専門分野の学問体系と学習段階に即した授業科目

を配置しているとともに、単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避け、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるよう養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示している。

このように、健康医療学部人間健康学科では、質保証システムの整備と確立にむけて、個別の学生に対する履修指導体制を整えていることから、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないと考えており、収容定員の変更に伴う履修指導方法の変更は行わないこととしている

(ウ) 教員組織の変更内容

健康医療学部人間健康学科の教員組織については、教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置しており、年齢構成においても特定の年齢層に偏ることのないよう配慮した組織としている。

健康医療学部人間健康学科では、現在、大学設置基準に定める基準教員数14人に対して24人の専任教員を配置しており、職位別の配置状況は、教授9人、准教授7人、講師6人、助教2人を配置しており、年齢構成は、30歳代7人、40歳代4人、50歳代2人、60歳以上11人から構成している。

このように、健康医療学部人間健康学科では、常に教員組織の整備と充実に取り組み、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮した教員組織としていることから、今般の収容定員変更に伴う教員組織の変更は行わないこととしている。

(エ) 施設・設備の変更内容

1 校地・運動場の整備状況

八戸学院大学のキャンパスは、青森県八戸市美保野に位置し、現在、校地面積は29,146㎡を有しており、その内訳は、校舎敷地面積が14,146㎡、運動場面積が15,000㎡となっており、運動用設備としては、野球場、サッカー場、ラグビー場を備えているとともに、敷地内の空地を利用して、学生が休息するための十分な場所を確保することで、大学教育に相応しいキャンパス環境を整えている。

2 施設・設備の整備状況

八戸学院大学のキャンパスでは、現在、8棟の校舎等施設を有しており、その総面積は約15,387㎡で、学部教育に必要となる主要な教室等の内訳としては、講義室15室、演習室25室、実験・実習室7室、情報処理室1室の他、教員研究室25室、非常勤講師室、図書館、学長室、会議室、事務室、保健室、学生自習室、学生食堂などを整備している。

健康医療学部人間健康学科の専任教員の研究室については、専任教員数24名(教授9名、准教授7名、講師6名、助教2名)に対して、1室当たり約19,44㎡の専任教員研究室25室を設けている。

また、設備については、大学教育における授業科目や授業形態を実施するために必要となる教具801点、校具516点、その他148点(教育活動に必要なもので、前述に該当し

ない備品)を整備している。

3 図書等・図書館の整備状況

1) 図書等の整備状況

八戸学院大学の図書館では、令和3年3月末現在、176,056冊の図書を所蔵しており、その内訳としては、一般教育図書98,352冊(うち外国書5,305冊)、専門図書72,603冊(うち外国書7,570冊)を所蔵しているほか、学術雑誌120種(うち外国雑誌13誌)、視聴覚資料並びに縮刷版5,101点を整備している。

2) 図書館の整備状況

八戸学院大学の図書館は、収容定員960人の約20%にあたる188席の閲覧座席数を確保するとともに、開架式書庫及び閉架式書庫、サービスカウンター、レファレンスカウンター、グループ学習室、視聴覚コーナー、ブラウジングコーナーなどを整備している。

図書館機能としては、情報探食用パソコン12台、蔵書検索性パソコン2台、コピー機1台を設置しており、蔵書管理については、図書館システムより、インターネットからデータベース化された書誌情報の検索が可能となっており、情報探食用パソコンについては、学内LANを経由して、インターネット利用を可能としている。

また、日本図書館協会や私立大学図書館協会・青森県高等教育機関図書館協議会への加盟をはじめ、国立情報学研究所の目録所在情報サービスに加盟するとともに、各種研修会等での情報交換や文献複写、相互貸借等のサービスにおいて、他大学図書館との連携を図っている。

このように、八戸学院大学では、開学以来、常に教育研究環境の整備に積極的に取り組み、大学教育に必要となる施設・設備については充実した環境を整えていることから、健康医療学部人間健康学科の収容定員変更に伴う施設・設備の変更は行わないこととしている。

過去4年間の志願者数・入学者数・求人件数・就職状況

資料1

(志願者数・受験者数・合格者数・入学者数)

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
平成30年度	107	107	107	89	1.34
平成31年度	118	118	118	100	1.48
令和2年度	126	126	124	103	1.58
令和3年度	130	129	126	101	1.63

(就職希望者・就職者・求人件数・求人倍率等)

	就職希望者	就職者	就職率	求人件数	求人倍率
平成29年度	55	55	100.0%	920	16.7
平成30年度	66	66	100.0%	847	12.8
令和元年度	60	60	100.0%	886	14.8
令和2年度	65	65	100.0%	535	8.2

教育課程等の概要															
（健康医療学部人間健康学科等）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
リベラルアーツ	導入教育	宗教学	1前	2			○			1					
		キリスト教概論	2後	2			○			1					
		地域文化論	1後	2			○			1				兼1	オムニバス
		基礎演習	1前	2				○		5	5	5	2		
		プレゼンテーション	1後	2				○		5	5	5	2		
		情報処理基礎	1前	2				○		2	1				
		日本語リテラシー	1前	2				○		1					兼2
	日本語表現リテラシー	1後	2				○		1					兼2	
	外国語を学ぶ領域	英語 I	1前	2				○							兼1
		英語 II	1後	2				○							兼1
		英語コミュニケーション	2前	2				○							兼1
		英語 (TOEIC) I	2前	2				○							兼1
		英語 (TOEIC) II	2後	2				○							兼1
		ドイツ語	1前	2				○		1					
	ドイツ語コミュニケーション	1後	2				○		1						
	人としてのあり方を学ぶ領域	哲学	1前～2後		2			○			1				
		芸術論	1前～2後		2			○							兼1
		デザイン論	1前～2後		2			○							兼1
		心の科学	1前～2後		2			○			1				
	社会のあり方を学ぶ領域	行動の科学	1前～2後		2			○							兼1 集中
		歴史学	1前～2後		2			○			1				
		日本国憲法	1前～2後		2			○							兼1
		政治学	1前～2後		2			○							兼1
		社会学	1前～2後		2			○							兼1
	自然と科学を学ぶ領域	国際関係論	1前～2後		2			○							兼1
		海外事情	1前～2後		2			○							兼3
		自然科学概論	1前～2後	2				○		1					
	数学	1前～2後		2			○							兼1	
	スポーツの科学	1前～2後		2			○			1	2	1		オムニバス	
小計 (29科目)		—	16	42	0		—		7	6	5	2	0	兼14	
キャリア教育	キャリアデザイン I	1前	1				○		2					兼1 オムニバス	
	キャリアデザイン II	1後	1				○		2	3	1	1		兼1 オムニバス	
	キャリアデザイン III	2前	1				○		6	6	4	2		兼1 オムニバス	
	キャリアデザイン IV	2後	1				○		5	7	5	2		兼1 オムニバス	
	キャリアデザイン V	3前	1				○		6	5	2	2		兼1 オムニバス	
	キャリアデザイン VI	3後	1				○		5	7	4	2		兼1 オムニバス	
	キャリアデザイン VII	4前		1			○							兼1 オムニバス	
	キャリアデザイン VIII	4後		1			○							兼1 オムニバス	
インターンシップ	3前		2				○			1			集中		
小計 (9科目)			6	4	0		—		6	7	5	2	0	兼1	
学科必修	健康医療総論	1前	2				○		2	2				オムニバス	
	生命と倫理	1後	2				○			1				兼1	
	人間発達学	1前	2				○			1					
	健康管理論	1前	2				○		1						
	健康教育論	1後	2				○		1	3	1			オムニバス	
	健康栄養学	2後	2				○		1						
	医学一般	2前	2				○		1						
	医学一般 II	2後	2				○		1						
	心理学	1前	2				○							兼1	
	解剖学・生理学（運動生理学を含む） I	1後	2				○		1	1				オムニバス	
	解剖学・生理学（運動生理学を含む） II	2前	2				○		1	1				オムニバス	
	公衆衛生学	2前	2				○		1						
	衛生学	2後	2				○		1						
	小児保健	2前	2				○				1				
	精神保健	3前	2				○					1	1		
	研究演習 I	2前	2					○	5	7	5	1			
	研究演習 II	2後	2					○	5	7	5	1			
	研究演習 III	3前	2					○	5	7	4	2			
研究演習 IV	3後	2					○	5	7	4	2				
研究演習 V	4前	2					○	5	7	4	2				
研究演習 VI	4後	2					○	5	7	4	2				
小計 (21科目)		—	42	0	0		—		6	7	5	2	0	兼2	

教育課程等の概要																
（健康医療学部人間健康学科等）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
スポーツ科学コース	教育職プログラム（保健体育）	体育原理	2前	2		○					1					
	運動学（運動方法学を含む）	2後	2		○					3	1					
	地域スポーツ論	3後	2		○							1				
	生涯スポーツ論	3前	2		○							1				
	ヘルスエクササイズ	3後	2			○					1					
	健康と運動処方	3後	2		○				1							
	基本実技	3後	1			○					1					
	水泳	1前	1			○									兼3 集中	
	ダンス	3後	1			○					1					
	陸上競技	1前	1			○							1			
	フットボールスポーツ	2後	1			○					1				兼1 オムニバス/集中	
	バスケットボール・バレーボール	2後	1			○				1	1					
	ラケット・パッドスポーツ	2前	1			○					1					
	武道Ⅰ（柔道）	2前	1			○									兼1	
	武道Ⅱ（剣道・弓道）	2前	1			○									兼2	
	器械体操	2前	1			○									兼1	
	スキー	2後	1			○				1	2	1			集中	
	スケート	2前	1			○									兼1 集中	
	※	栄養指導論	3後	2		○				1	1					
		運動と栄養	3前	2		○							1			
スポーツバイオメカニクス		3前	2		○								1			
トレーニング総論		3前	2		○						1					
スポーツ心理学		3前	2		○										兼1 集中	
コーチング論	2前	2		○								1				
小計（24科目）			—	0	36	0	—		1	2	3	1	0	兼10		
専門教育科目	教育職プログラム（養護・保健）（看護）	養護概説	2後	2		○			1							
	看護学	2後	2		○					1						
	栄養学（食品学を含む）	2前	2		○				1							
	微生物学	2後	2		○				1							
	免疫学	3前	2		○				1							
	健康相談活動の理論および方法	4前	2		○						1					
	学校保健（学校安全を含む）	2後	2		○						1					
	救急処置（実習を含む）	2後	2		○						1					
	看護実践論	3前	2		○					1	1				オムニバス	
	看護技術演習	3前	2		○					1	1				オムニバス	
	看護学臨床実習Ⅰ	3前	2				○			1	1				集中	
	看護学臨床実習Ⅱ	3前	2				○			1	1				集中	
	人間環境論	3後	2		○				1							
	食生活論	3前	2		○					1						
	薬理概論	3前	2		○										兼1 集中	
	認定心理士プログラム	健康心理学	2前	2		○						1				
		児童心理学	2前	2		○										兼1 集中
		認知心理学	1後	2		○										兼1
		感情心理学	1後	2		○										兼1
		青年心理学	2前	2		○					1					
臨床心理学		2後	2		○					1						
心理学研究法		2前	2		○										兼1	
社会心理学		3後	2		○					1						
心理統計学		2後	2		○					1						
老人・障害者の心理		3前	2		○										兼1	
心理学基礎実験		3前	2		○					2					兼1 オムニバス	
ヘルスカウンセリング		3後	2		○										兼1 集中	
心理学実習	3後	2				○			2					兼1 オムニバス		
健康科学コース	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1前	2		○				1							
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1後	2		○					1						
	社会福祉調査の基礎	2後	2		○										兼1	
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1後	2		○					1		1			オムニバス	
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2前	2		○							1				
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2前	2		○							1				
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2後	2		○							1				

教 育 課 程 等 の 概 要

（健康医療学部人間健康学科等）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会福祉士プログラム	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3前		2		○							1		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3後		2		○			1						
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前		2		○			1						
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3前		2		○				1					
	福祉サービスの組織と経営	3後		2		○				1					
	社会保障Ⅰ	2後		2		○			1						
	社会保障Ⅱ	3前		2		○			1						
	高齢者福祉	2前		2		○				1					
	障害者福祉	2後		2		○					1				
	児童・家庭福祉	2前		2		○									兼1
	貧困に対する支援	3前		2		○			1						
	保健医療と福祉	2後		2		○			1		1				オムニバス
	権利擁護を支える法制度	2後		2		○									兼1
	刑事司法と福祉	3前		2		○			1		1				
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後		2			○						1		
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前		2			○						1		
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後		2			○				1				
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前		2			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後		2			○						1		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3後		1				○	1	1	1	1			オムニバス
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4前		1				○	1	1	1	1			オムニバス
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4後		1				○	1	1	1	1			オムニバス	
ソーシャルワーク実習	4通		6				○	2	1	1	1			オムニバス	
介護概論	3前		2		○				1						
小計（59科目）			—	0	119	0	—	2	1	1	1	0		兼3	
学科選択	健康科学実習	3後		2			○	4		1				オムニバス	
	卒業研究Ⅰ	4前		2			○		2	1	1				
	卒業研究Ⅱ	4後		2			○		2	1	1				
小計（3科目）			—	0	6	0	—	4	2	2	1	0			
教職科目	教育原理	2後		2		○								兼1	
	教職概論	1後		2		○								兼1	
	教育行政	4後		2		○		1							
	教育心理学	2後		2		○								兼3 オムニバス	
	特別支援の理解	1後		1		○								兼1	
	教育課程論	2前		2		○								兼2 オムニバス	
	道徳教育の理論と実践	3後		2		○								兼1	
	総合的な学習の時間の指導法	3後		2		○								兼1	
	特別活動論	3後		2		○								兼1	
	教育方法論	2後		2		○		1						兼1 オムニバス	
	生徒指導論	3前		2		○								兼2 オムニバス	
	教育相談	3前		2		○								兼2 オムニバス	
	進路指導論	3後		1		○								兼1	
	教育実習A	4通		3			○							兼1 集中	
	教育実習B	4通		2			○	1						集中	
	養護実習	4通		5			○	1		1				集中	
	教職実践演習（中高）	4後		2			○	1							
	教職実践演習（養）	4後		2			○	1							
	保健体育科教育法A	3前		2		○								兼1	
	保健体育科教育法B	3前		2		○			1	1	1			オムニバス	
	保健体育科教育法C	3後		2		○								兼1	
保健体育科教育法D	3後		2		○			1	1	1					
看護科教育法A	3前		2		○			1	1				オムニバス		
看護科教育法B	3前		2		○			1	1				オムニバス		
小計（24科目）			—	0	6	0	—	1	2	3	1	0		兼10	
合計（169科目）			—	64	207	0	—	9	7	6	2	0		兼40	
学位又は称号		学士（人間健康学）			学位又は学科の分野			保健衛生学、体育、社会学・社会福祉学、文学							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
リベラルアーツ（29科目）：必修科目16単位、選択科目14単位、リベラルアーツで30単位以上							1学年の学期区分		2期						
専門教育科目（116科目）：必修科目48単位、選択科目46単位、専門教育科目で94単位以上							1学期の授業期間		15週						
※教職科目を除く							1時限の授業時間		90分						
合計：必修科目64単位、選択科目60単位以上、合計124単位以上															
履修科目の上限：1年次から3年次までの各学期において、履修することのできる科目の単位数は、各24単位（1学年48単位）以内とする。ただし、当該学期に集中して行われる講義および教職専門科目、キャリアデザインⅠ～Ⅲは含まない。															

八戸学院大学健康医療学部人間健康学科履修モデル(全体)

資料2-2

○印は必修科目
※教職科目は除く

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
リベラルアーツ	導入教育		○宗教学 2	○地域文化論 2		○キリスト教概論 2				
			○基礎演習 2	○プレゼンテーション 2						
			○情報処理基礎 2	日本語表現リテラシー 2						
			○日本語リテラシー 2							
	外国語を学ぶ領域		英語 I 2	英語 II 2	英語コミュニケーション 2	英語(TOEIC) II 2				
			ドイツ語 2	ドイツ語コミュニケーション 2	英語(TOEIC) I 2					
	人としてのあり方を学ぶ領域		芸術論 2	哲学 2						
			心の科学 2	デザイン論 2						
			行動の科学 2							
	社会のあり方を学ぶ領域		政治学 2	歴史学 2						
		国際関係論 2	日本国憲法 2							
		海外事情 2	社会学 2							
自然と科学を学ぶ領域		自然科学概論 2	スポーツの科学 2							
		数学 2								
小計		28	22	4	4	0	0	0	0	
専門教育科目	キャリア教育		○キャリアデザイン I 1	○キャリアデザイン II 1	○キャリアデザイン III 1	○キャリアデザイン IV 1	○キャリアデザイン V 1	○キャリアデザイン VI 1	キャリアデザイン VII 1	キャリアデザイン VIII 1
							インターンシップ 2			
	学科必修		○健康医療総論 2	○生命と倫理 2	○研究演習 I 2	○研究演習 II 2	○研究演習 III 2	○研究演習 IV 2	○研究演習 V 2	○研究演習 VI 2
			○人間発達学 2	○健康教育論 2	○医学一般 2	○健康栄養学 2	○精神保健 2			
			○健康管理論 2	○解剖学・生理学(運動生理学を含む) I 2	○解剖学・生理学(運動生理学を含む) II 2	○医学一般 II 2				
			○心理学 2		○公衆衛生学 2	○衛生学 2				
					○小児保健 2					
	スポーツ科学コース	教育職プログラム(保健体育)	水泳 1		体育原理 2	運動学(運動方法学を含む) 2	生涯スポーツ論 2	地域スポーツ論 2		
			陸上競技 1		ラケット・バドミントン 1	バスケットボール・バレーボール 1	基本実技 1	ヘルスエクササイズ 2		
					武道 I(柔道) 1	スキー 1		ダンス 1		
					武道 II(剣道・弓道) 1	フットボールスポーツ 1		健康と運動処方 2		
					器械体操 1					
		※			スケート 1					
					スポーツ心理学 2		運動と栄養 2	栄養指導論 2		
					コーチング論 2		スポーツバイオメカニクス 2			
							トレーニング総論 2			
	健康科学コース	教育職プログラム(養護・保健)(看護)			栄養学(食品学を含む) 2	養護概説 2	免疫学 2	人間環境論 2	健康相談活動の理論および方法 2	
						看護学 2	看護実践論 2			
						微生物学 2	看護技術演習 2			
						学校保健(学校安全含む) 2	看護学臨床実習 I 2			
					救急措置(実習を含む) 2	看護学臨床実習 II 2				
					食生活論 2					
					薬理概論 2					
認定心理士プログラム			認知心理学 2	健康心理学 2	臨床心理学 2	老人・障害者の心理 2	社会心理学 2			
			感情心理学 2	児童心理学 2	心理統計学 2	心理学基礎実験 2	ヘルスカウンセリング 2			
				青年心理学 2			心理学実習 2			
			心理学研究法 2							
社会福祉士プログラム	社会福祉の原理と政策 I 2	社会福祉原理と政策 II 2	ソーシャルワークの基礎と専門職 II 2	社会福祉調査の基礎 2	ソーシャルワークの理論と方法 III 2	ソーシャルワークの理論と方法 IV 2	ソーシャルワーク演習 IV 2	ソーシャルワーク演習 V 2		
			ソーシャルワークの基礎と専門職 I 2	ソーシャルワークの理論と方法 I 2	ソーシャルワークの理論と方法 II 2	地域福祉と包括的支援体制 II 2	福祉サービスの組織と経営 2	ソーシャルワーク実習指導 II 1	ソーシャルワーク実習指導 III 1	
				地域福祉と包括的支援体制 I 2	社会保障 I 2	社会保障 II 2	ソーシャルワーク演習 III 2	ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習 6	
				高齢者福祉 2	障害者福祉 2	貧困に対する支援 2	ソーシャルワーク実習指導 I 1			
				児童・家庭福祉 2	保健医療と福祉 2	刑事司法と福祉 2				
					権利擁護を支える法制度 2	ソーシャルワーク演習 II 2				
学科選択						健康科学実習 2	卒業研究 I 2	卒業研究 II 2		
小計		13	15	42	42	48	29	10	14	
合計		41	37	46	46	48	29	10	14	

八戸学院大学健康医療学部人間健康学科履修モデル(教育職プログラム 保健体育)

資料2-3

○印は必修科目
※教職科目は除く

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
リベラル アーツ	導入教育	○宗教学 2	○地域文化論 2		○キリスト教概論 2				
		○基礎演習 2	○プレゼンテーション 2						
		○情報処理基礎 2							
		○日本語リテラシー 2							
	外国語を学ぶ領域	英語 I 2	英語 II 2						
	人としてのあり方 を学ぶ領域	心の科学 2							
		行動の科学 2							
社会のあり方 を学ぶ領域	政治学 2	日本国憲法 2							
自然と科学を学ぶ領域	自然科学概論 2	スポーツの科学 2							
小計	18	10	0	2	0	0	0	0	30
専門教育科目	キャリア教育	○キャリアデザイン I 1	○キャリアデザイン II 1	○キャリアデザイン III 1	○キャリアデザイン IV 1	○キャリアデザイン V 1	○キャリアデザイン VI 1		
	学科必修	○健康医療総論 2	○生命と倫理 2	○研究演習 I 2	○研究演習 II 2	○研究演習 III 2	○研究演習 IV 2	○研究演習 V 2	○研究演習 VI 2
		○人間発達学 2	○健康教育論 2	○医学一般 2	○健康栄養学 2	○精神保健 2			
		○健康管理論 2	○解剖学・生理学(運動生理学を含む) I 2	○解剖学・生理学(運動生理学を含む) II 2	○医学一般 II 2				
		○心理学 2		○公衆衛生学 2	○衛生学 2				
	スポーツ科学 コース	教育職プログラム (保健体育)	水泳 1		体育原理 2	運動学(運動方法学を含む) 2	生涯スポーツ論 2	地域スポーツ論 2	
			陸上競技 1		武道 II (剣道・弓道) 1	バスケットボール・バレーボール 1	基本実技 1	ヘルスエクササイズ 2	
					スケート 1	スキー 1		ダンス 1	
		※						健康と運動処方 2	
						スポーツ心理学 2		運動と栄養 2	栄養指導論 2
						コーチング論 2		スポーツバイオメカニクス 2	
	健康科学 コース	教育職プログラム (養護・保健) (看護)				学校保健(学校安全含む) 2			
					救急措置(実習を含む) 2				
認定心理士 プログラム			認知心理学 2	健康心理学 2					
感情心理学 2									
学科選択							卒業研究 I 2	卒業研究 II 2	
小計	11	11	21	17	14	12	4	4	94
合計	29	21	21	19	14	12	4	4	124

八戸学院大学健康医療学部人間健康学科履修モデル(教育職プログラム 養護・保健・看護)(認定心理士プログラム)

資料2-4

○印は必修科目
※教職科目は除く

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
リベラルアーツ	導入教育	○宗教学 2	○地域文化論 2		○キリスト教概論 2				
		○基礎演習 2	○プレゼンテーション 2						
		○情報処理基礎 2							
		○日本語リテラシー 2							
	外国語を学ぶ領域	英語 I 2	英語 II 2						
	人としてのあり方を学ぶ領域	心の科学 2	哲学 2						
	行動の科学 2								
社会のあり方を学ぶ領域	国際関係論 2	日本国憲法 2							
自然と科学を学ぶ領域	自然科学概論 2	スポーツの科学 2							
小計	18	12	0	2	0	0	0	0	32
専門教育科目	キャリア教育	○キャリアデザイン I 1	○キャリアデザイン II 1	○キャリアデザイン III 1	○キャリアデザイン IV 1	○キャリアデザイン V 1	○キャリアデザイン VI 1		
	学科必修	○健康医療総論 2	○生命と倫理 2	○研究演習 I 2	○研究演習 II 2	○研究演習 III 2	○研究演習 IV 2	○研究演習 V 2	○研究演習 VI 2
		○人間発達学 2	○健康教育論 2	○医学一般 2	○健康栄養学 2	○精神保健 2			
		○健康管理論 2	○解剖学・生理学(運動生理学を含む) I 2	○解剖学・生理学(運動生理学を含む) II 2	○医学一般 II 2				
		○心理学 2		○公衆衛生学 2	○衛生学 2				
	健康科学コース	教育職プログラム(養護・保健)(看護)			栄養学(食品学を含む) 2	養護概説 2	免疫学 2	人間環境論 2	健康相談活動の理論および方法 2
						看護学 2	看護実践論 2		
						微生物学 2	看護技術演習 2		
						学校保健(学校安全含む) 2	看護学臨床実習 I 2		
						救急措置(実習を含む) 2	看護学臨床実習 II 2		
							食生活論 2		
	認定心理士プログラム		認知心理学 2	健康心理学 2	臨床心理学 2	老人・障害者の心理 2	社会心理学 2		
			感情心理学 2	児童心理学 2	心理統計学 2	心理学基礎実験 2	ヘルスカウンセリング 2		
			青年心理学 2			心理学実習 2			
			心理学研究法 2						
小計	9	11	21	23	21	11	4	2	102
合計	27	23	21	25	21	11	4	2	134

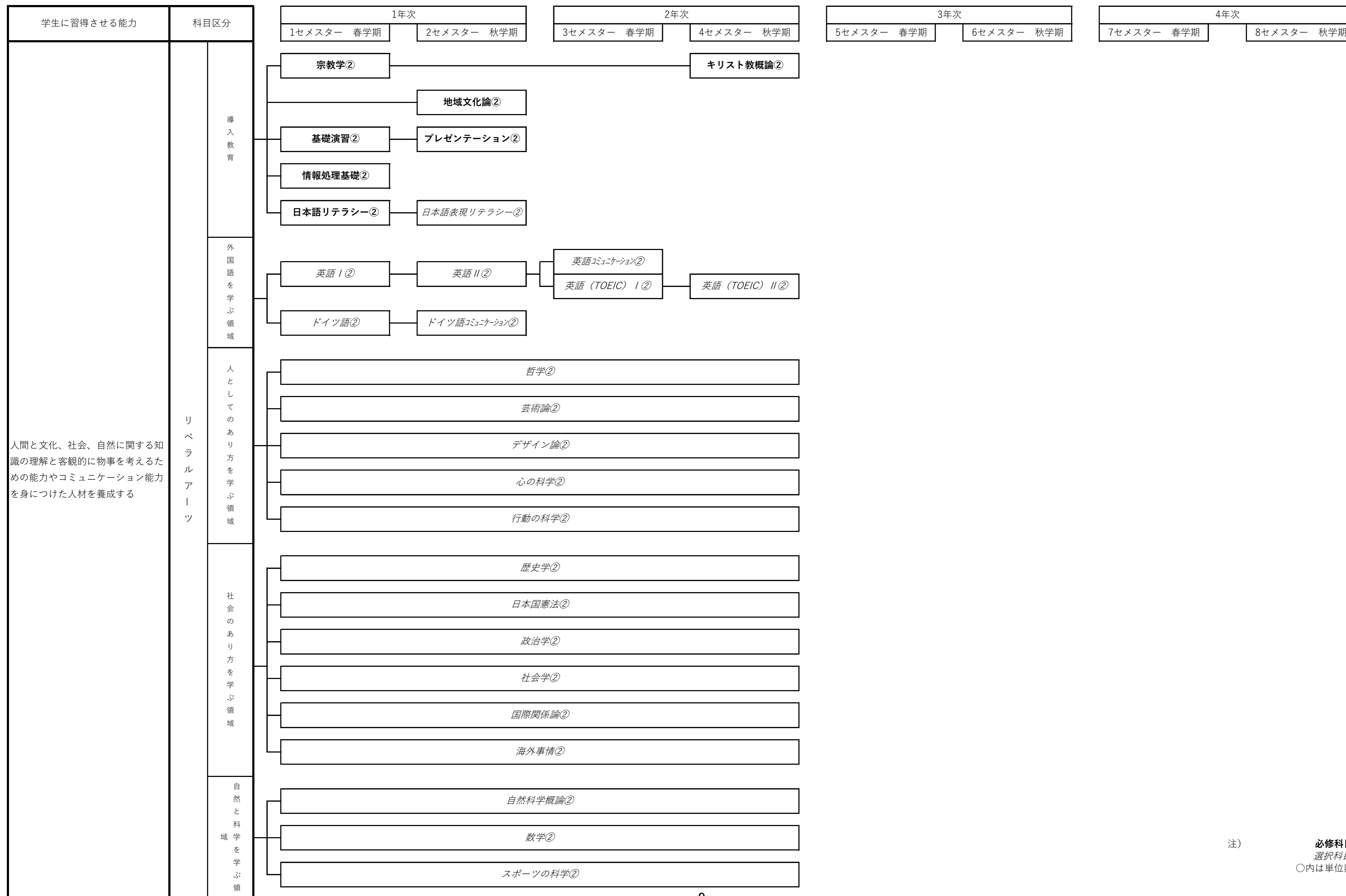
八戸学院大学健康医療学部人間健康学科履修モデル(社会福祉士プログラム)

資料2-5

○印は必修科目
※教職科目は除く

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
リベラルアーツ	導入教育	○宗教学 2	○地域文化論 2		○キリスト教概論 2				
		○基礎演習 2	○プレゼンテーション 2						
		○情報処理基礎 2	日本語表現リテラシー 2						
		○日本語リテラシー 2							
	外国語を学ぶ領域	英語 I 2	英語 II 2						
	人としてのあり方を学ぶ領域	心の科学 2	哲学 2						
		行動の科学 2							
	社会のあり方を学ぶ領域	政治学 2							
		国際関係論 2	日本国憲法 2						
	自然と科学を学ぶ領域		社会学 2						
自然科学概論 2									
小計	20	14	0	2	0	0	0	0	36
専門教育科目	キャリア教育	○キャリアデザイン I 1	○キャリアデザイン II 1	○キャリアデザイン III 1	○キャリアデザイン IV 1	○キャリアデザイン V 1	○キャリアデザイン VI 1		
	学科必修	○健康医療総論 2	○生命と倫理 2	○研究演習 I 2	○研究演習 II 2	○研究演習 III 2	○研究演習 IV 2	○研究演習 V 2	○研究演習 VI 2
		○人間発達学 2	○健康教育論 2	○医学一般 2	○健康栄養学 2	○精神保健 2			
		○健康管理論 2	○解剖学・生理学(運動生理学を含む) I 2	○解剖学・生理学(運動生理学を含む) II 2	○医学一般 II 2				
		○心理学 2		○公衆衛生学 2	○衛生学 2				
	認定心理士プログラム		認知心理学 2	児童心理学 2					
			感情心理学 2	青年心理学 2					
	社会福祉士プログラム	社会福祉の原理と政策 I 2	社会福祉原理と政策 II 2	ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2	社会福祉調査の基礎 2	ソーシャルワークの理論と方法 III 2	ソーシャルワークの理論と方法 IV 2	ソーシャルワーク演習 IV 2	ソーシャルワーク演習 V 2
			ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2	ソーシャルワークの理論と方法 I 2	ソーシャルワークの理論と方法 II 2	地域福祉と包括的支援体制 II 2	福祉サービスの組織と経営 2	ソーシャルワーク実習指導 II 1	ソーシャルワーク実習指導 III 1
				地域福祉と包括的支援体制 I 2	社会保障 I 2	社会保障 II 2	ソーシャルワーク演習 III 2	ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習 6
				高齢者福祉 2	障害者福祉 2	貧困に対する支援 2	ソーシャルワーク実習指導 I 1		
				児童・家庭福祉 2	保健医療と福祉 2	刑事司法と福祉 2			
					権利擁護を支える法制度 2	ソーシャルワーク演習 II 2			
小計	11	15	25	23	17	10	5	11	117
合計	31	29	25	25	17	10	5	11	153

八戸学院大学健康医療学部人間健康学科カリキュラムマップ【リベラルアーツ】

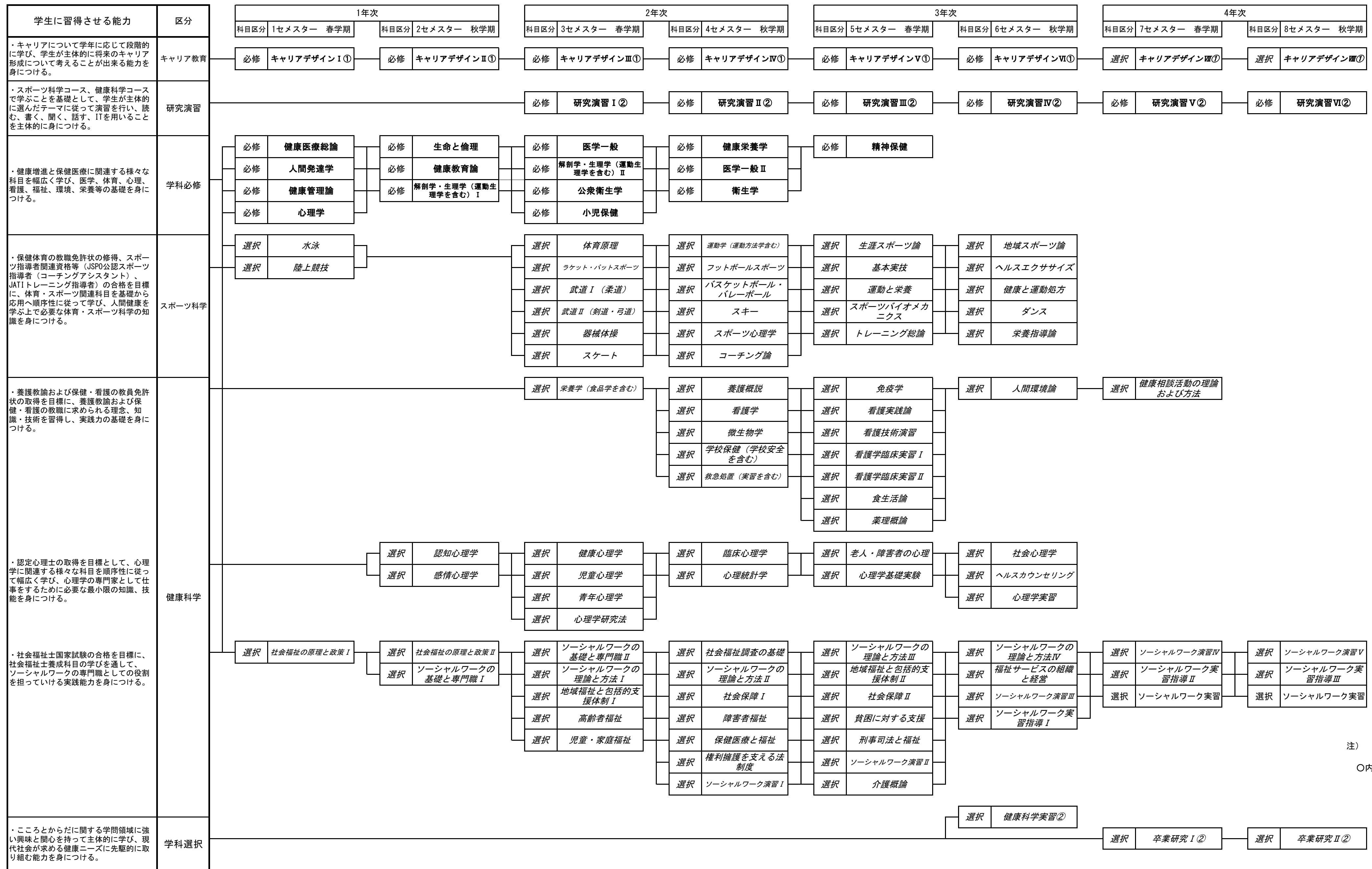


注)

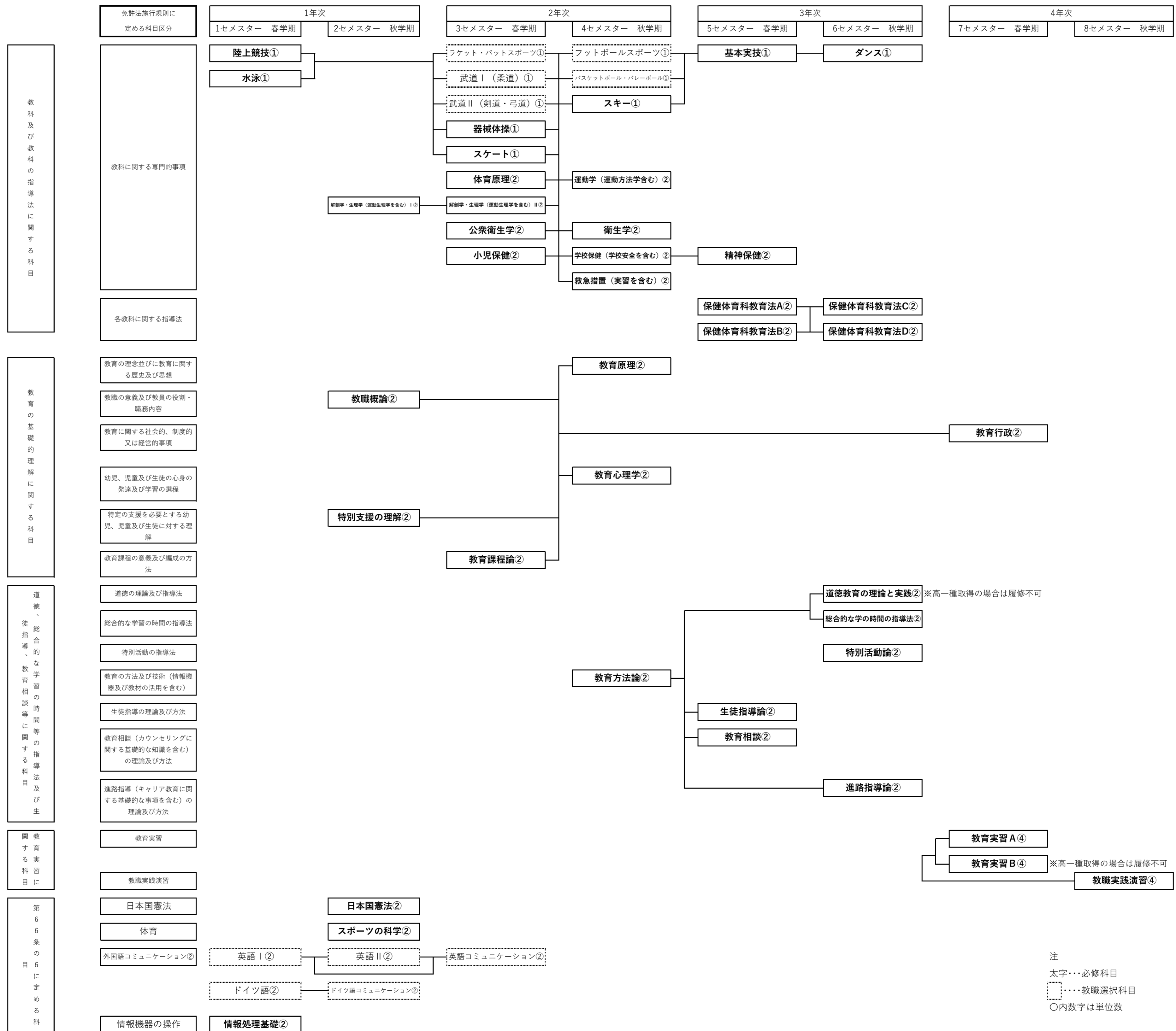
必修科目
選択科目
○内は単位数

八戸学院大学健康医療学部人間健康学科カリキュラムマップ【専門教育科目】

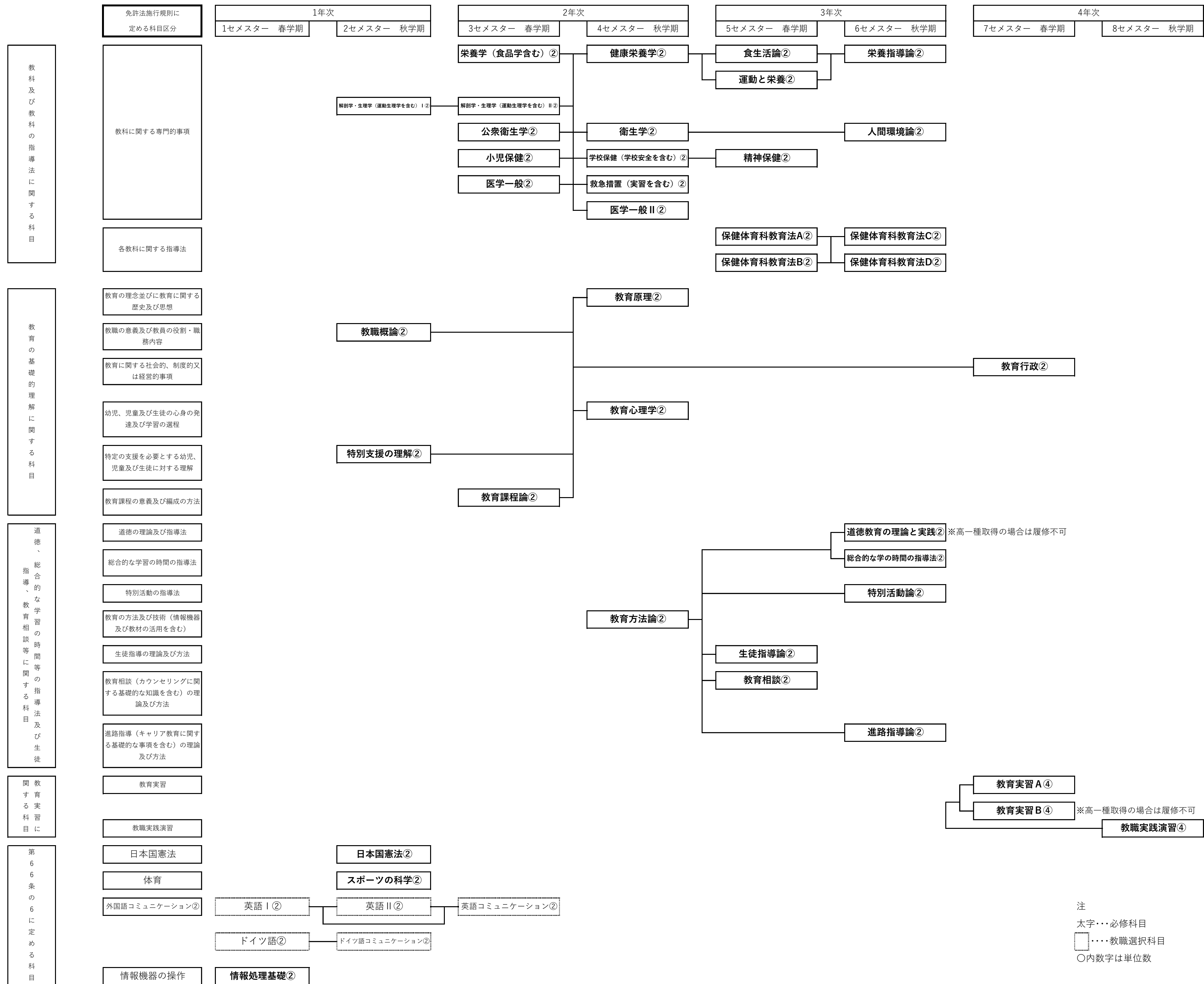
資料2-7

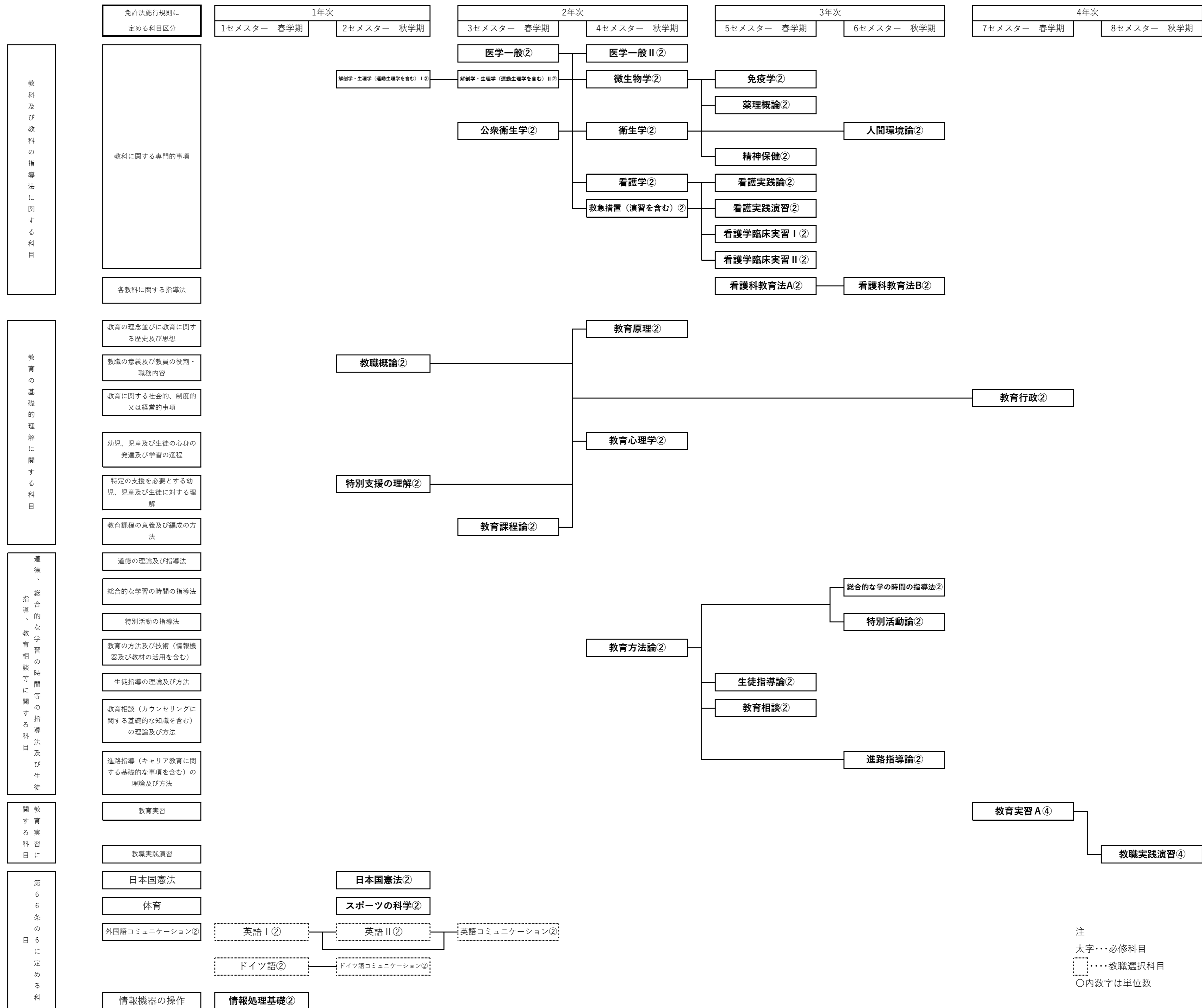


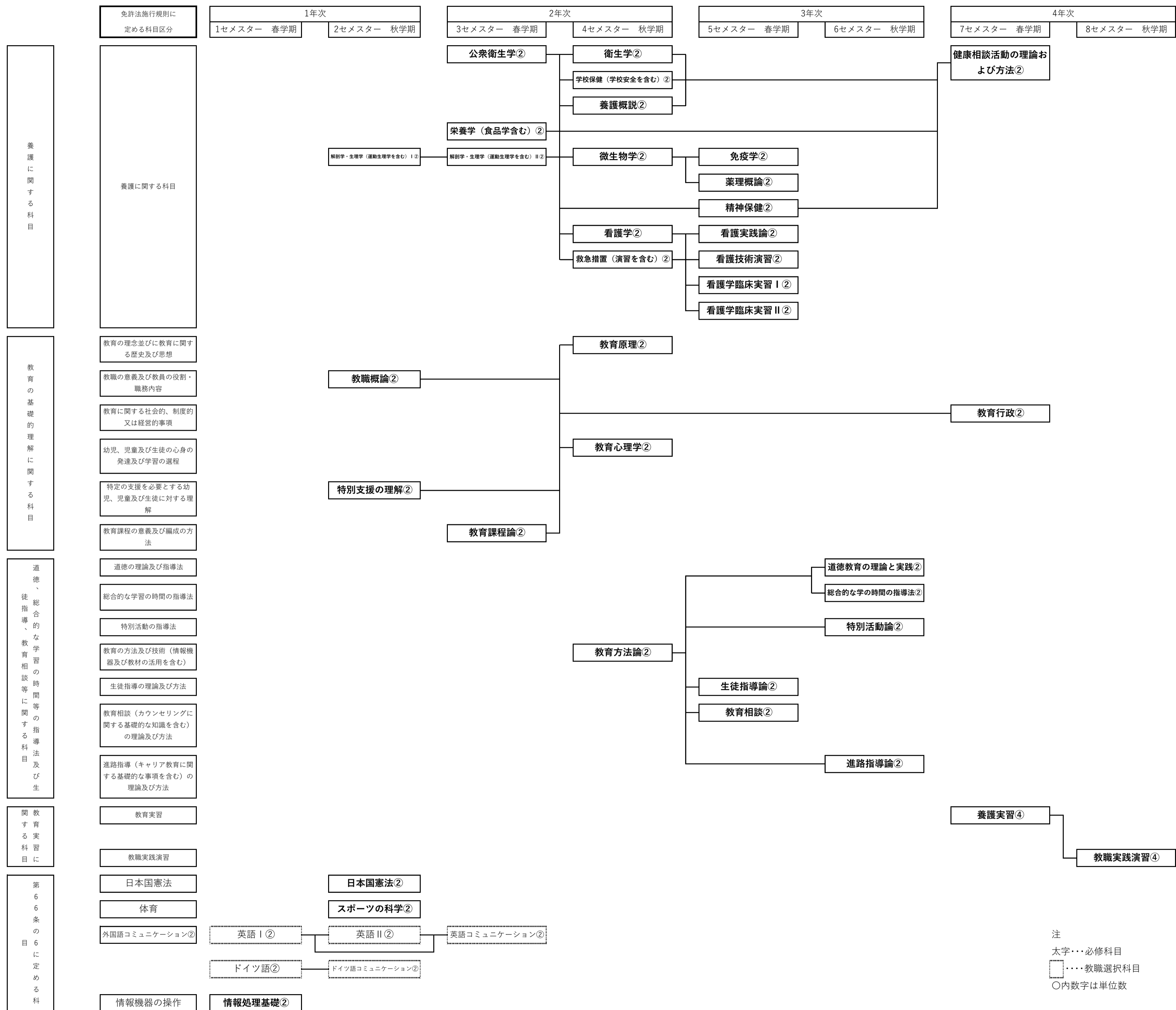
注) 必修科目
選択科目
○内は単位数



注
太字・・・必修科目
□・・・教職選択科目
○内数字は単位数







(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1 入学定員設定の考え方

今般、収容定員変更を計画している健康医療学部人間健康学科における入学定員設定の考え方については、当該学部学科の最近の志願者状況を踏まえるとともに、設置圏域の高等学校及び中学校の在籍者数や高等学校を卒業した者の大学進学状況に加えて、設置圏周辺地域を中心とする高等学校に在籍している高校生に対する進学需要調査及び企業等に対する採用意向調査の結果などを総合的に勘案したうえで、入学者選抜の機能が低下しない範囲で入学定員（80人→100人）を設定した。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1 最近4年間の志願者数等の状況（資料1 過去4年間の志願者数等の状況）

健康医療学部人間健康学科の最近4年間の志願者数は、入学定員80人に対して、平成30年度107人、平成31年度118人、令和2年度126人、令和3年度130人と安定した志願者数の確保を維持しており、最近4年間の平均志願者数は120.5人、入学定員に対する志願者数の平均倍率は1.50倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率は1.01倍となっている。

この最近4年間の平均志願者数から収容定員変更後の定員に対する志願倍率を算定すると1.20倍の志願倍率が見込まれることから、収容定員変更をした場合でも入学者選抜の機能が低下しない志願倍率を維持することができると見込まれる。

なお、健康医療学部人間健康学科の最近4年間の定員充足の状況は平均で約1.23%となっているが、今般、収容定員を変更することで定員超過率の適正化を図るとともに、今後とも適切な定員管理に努めることとする。

2 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

(1) 青森県内の高等学校及び中学校の在籍者数による中長期的な見通し（資料2 青森県学校基本調査統計表<抜粋>）

令和2年度の青森県の学校基本調査によると、本学の健康医療学部人間健康学科の収容定員変更の初年度に受験対象者となる青森県内の高等学校（全日制）に在籍している2年生の生徒数は10,349人、収容定員変更2年目に受験対象者となる1年生の生徒数は10,096人となっている。

また、収容定員変更3年目に受験対象者となる青森県内の中学校に在籍している3年生の生徒数は10,068人、収容定員変更4年目に受験対象者となる2年生の生徒数は10,194人で、青森県内の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率を勘案した場合でも、今後、青森県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な

学生確保の見通しがあるものと考えられる。

(2) 青森県内の高等学校を卒業した者の大学等進学状況による見通し(資料3 青森県学校基本調査統計表<抜粋>(卒業後の状況調査))

青森県の学校基本調査によると、青森県内の高等学校(全日制+定時制)を卒業した生徒の過去4年間の大学等進学状況は、平成29年3月は卒業者12,094人のうち大学等進学者は5,389人で大学等進学率は44.6%、平成30年3月は卒業者11,717人のうち大学等進学者は5,498人で大学等進学率は46.9%、令和元年3月は卒業者11,474人のうち大学等進学者は5,302人で大学等進学率は46.2%、令和2年3月は卒業者11,314人のうち大学等進学者は5,276人で大学等進学率は46.6%となっている。

また、青森県内の高等学校を卒業した生徒の過去4年間の大学等進学率については、平成29年3月の44.6%から令和2年3月では46.6%と2.0ポイント上昇しており、今後、青森県内の大学等進学者が大きく減少することはないものと思われることから、中長期的な学生確保の見通しがあるものと考えられる。

(3) 青森県内の高等学校を卒業した者の入学状況(資料4 過去4年間の都道府県別入学状況)

健康医療学部人間健康学科における最近4年間の都道府県別の入学状況をみると、健康医療学部人間健康学科における青森県内の高等学校を卒業した者の割合は、入学者総数393人の約57.5%にあたる226人と高いものとなっており、最近4年間における都道府県別の進学状況からみると、青森県内の高等学校を卒業した生徒の健康医療学部人間健康学科への入学者の傾向は今後も続くものと見込まれ、先に記した青森県内の高等学校及び中学校の生徒の在籍者数や高等学校を卒業した生徒の大学等進学状況と併せてみた場合、中長期的にも安定した志願者と入学者の確保を見込むことができるものと考えられる。

3 専門の調査機関による進学意向調査結果(資料5 進学需要アンケート結果<抜粋>)

今般の収容定員の変更計画は、健康医療学部人間健康学科の最近の志願者状況や青森県内の高等学校及び中学校の生徒の在籍者数や青森県内の高等学校を卒業した生徒の大学進学状況などを踏まえたうえで計画していることから、十分な学生確保が見込めるものであるが、収容定員変更の計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的として、青森県を中心に所在する収容定員変更の初年度に受験対象者となる高等学校の2年生と1年生に対する進学需要に関するアンケート調査を実施した。

進学需要に関するアンケート調査の結果、高等学校の2年生における健康医療学部人間健康学科への興味・関心については、回答者数3,554人の約17.8%にあたる6

34人が「興味・関心がある」と回答しているとともに、健康医療学部人間健康学科の受験希望については、290人が「受験を希望する」と回答しており、健康医療学部人間健康学科への受験意向の高さをうかがうことができる。

また、健康医療学部人間健康学科への進学意向については、健康医療学部人間健康学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、健康医療学部人間健康学科に合格した場合、「進学を希望する」と回答した者は、189人となっており、健康医療学部人間健康学科への進学意向の高さをうかがうことができる。

一方、高等学校の1年生における健康医療学部人間健康学科への興味・関心については、回答者数3,355人の約23.6%にあたる793人が「興味・関心がある」と回答しているとともに、健康医療学部人間健康学科の受験希望については、428人が「受験を希望する」と回答しており、健康医療学部人間健康学科への受験意向の高さをうかがうことができる。

また、健康医療学部人間健康学科への進学意向については、健康医療学部人間健康学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、健康医療学部人間健康学科に合格した場合、「進学を希望する」と回答した者は、307人となっており、健康医療学部人間健康学科への進学意向の高さをうかがうことができる。

このように、青森県を中心に所在する一部の高等学校の2年生と1年生に限定した調査結果においても、健康医療学部人間健康学科への進学意向の高さがうかがえることから、収容定員を変更した場合においても、十分な志願者数及び入学者数の確保を見込むことができるものと考えられる。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、大学案内や学生募集用パンフレットの配布をはじめ、高校生向けの一般広報紙媒体による広報活動の他、ホームページ等の電子媒体など多数のメディアを使用したPR活動を行うとともに、過去において入学者の受入れ実績のある高等学校を中心とする高校訪問による健康医療学部人間健康学科に関する情報提供を行うこととしている。

また、オープンキャンパス、個別見学会やオンライン進学ガイダンスをはじめ各地域における進学相談会などの開催を通じて、健康医療学部人間健康学科における卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者の受け入れの方針をはじめとする様々な教育情報について、高校生や保護者、高等学校教諭に対して広く周知を図ることとしている。

加えて、健康医療学部人間健康学科の教育内容をはじめとする教育情報の詳細かつ丁寧な情報提供を目指すことから、特に、受験生に対して養成する人材及び習得する知識や能力に応じた複数の履修モデルを提示することにより、卒業後の進路や資格取得など、

自己の学習目標に沿った科目履修の可視化を可能とすることで、健康医療学部人間健康学科の教育内容に対する理解を促すこととする。

そのうえで、募集活動については、これまで健康医療学部人間健康学科において展開してきた媒体誌等による不特定多数者に対する広報活動から、高校訪問を中心とする個別募集活動への転換にむけた学生募集戦略の検討や組織運営体制の見直しに加えて、重点募集対象地域の拡大や特別指定校枠の拡充について検討することで、県内高等学校及び近接圏域高等学校からの入学者の確保を目指すこととする。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

健康医療学部人間健康学科では、「健康と医療について学際的な見地から総合的に探究できる人材を育成する」ことを教育理念として、「健康と医療の基礎知識から教育面や政策に至るまで、幅広い分野の研究・指導・実践ができる能力を身に付けるとともに、健康増進と保健医療の分野において、地域社会が要求する健康ニーズに対応できる能力を身に付けた人材を育成する」ことを教育目標としている。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1 求人状況及び就職状況（資料6 過去4年間の求人件数・就職状況）

健康医療学部人間健康学科に対する過去4年間の求人件数は、平成29年度は就職希望者55人に対して、求人件数920件で求人倍率は約16.7倍、平成30年度は就職希望者66人に対して、求人件数847件で求人倍率は約12.8倍、令和元年度は就職希望者60人に対して、求人件数886件で求人倍率は約14.8倍、令和2年度は就職希望者65人に対して、求人件数535件で求人倍率は約8.2倍となっており、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、多数の求人件数を得ている。

また、健康医療学部人間健康学科の過去4年間の就職実績は、平成29年度は就職希望者55人に対して就職者数55人で就職率は100%、平成30年度は就職希望者66人に対して就職者数66人で就職率は100%、令和元年度は就職希望者60人に対して就職者数60人で就職率は100%、令和2年度は就職希望者65人に対して就職者数65人で就職率は100%となっており、高い就職率で推移している。

このことは、健康医療学部人間健康学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることの裏付けとなるものであり、収容定員を増加した場合でも、就職先の確保及び卒業後の進路については十分に見込めるものとする。

2 専門の調査機関による人材需要調査結果（資料7 八戸学院大学健康医療学部人間健康学科進学需要等に関するアンケート調査結果報告書）

今般の収容定員変更の計画を策定するうえで、健康医療学部人間健康学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、青森県を中心に所在する企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある企業等を対象として、健康医療学部人間健康学科の卒業生に対する人材需要に関するアンケート調査を実施した。

その結果、調査対象企業等の今後における人材の採用見込みについては、回答件数150件の約62.0%にあたる93件が「増加すると思う」と回答しており、今後における人材の採用見込みの高さを伺うことができる。

また、健康医療学部人間健康学科の教育理念・教育目的・教育目標等については、回答件数150件の約98.0%にあたる147件が「必要性を感じる」と回答しているとともに、健康医療学部人間健康学科で学んだ卒業生の採用については、回答件数150件の約78.7%にあたる118件が「採用したいと思う」と回答しており、健康医療学部人間健康学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

さらに、健康医療学部人間健康学科で学んだ学生を「採用したいと思う」と回答した企業等の採用人数については、「採用人数1人」と回答したのが18件、「採用人数2人」と回答したのが6件、「採用人数3人以上」と回答したのが7件、「採用人数未定」と回答したのが94件となっている。

なお、「採用人数3人以上」と回答した企業等の採用人数を3人、「採用人数未定」と回答した企業等の採用人数を1人として、これらの採用人数を合計すると138人となり、この採用人数からも、健康医療学部人間健康学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる結果となっている。

このような青森県を中心に所在する企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある企業等に限定した調査結果においても、健康医療学部人間健康学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえる結果となっていることから、収容定員を変更した場合においても、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

過去4年間の志願者数等の状況

資料1

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
平成30年度	107	107	107	89	1.34
平成31年度	118	118	118	100	1.48
令和2年度	126	126	124	103	1.58
令和3年度	130	129	126	101	1.63
計	481	480	475	393	1.50

青森県学校基本調査 統計表<抜粋> (卒業後の状況調査)

資料3

(1) 学科別状況別卒業生数 (全日制+定時制)

単位：人、%

区 分	29年3月	30年3月	31年3月	2 年 3 月		普 通		農 業		工 業		商 業		水 産		家 庭		看 護		情 報		福 祉		そ の 他		総合学科			
				計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
総 数	12,094	11,717	11,474	11,314	5,798	5,516	3,071	3,311	335	197	1,386	204	377	656	67	30	48	333	2	77	22	8	15	27	130	236	345	437	
A.大学等 進学者	大 学(学部)	4,581	4,741	4,579	4,616	2,468	2,148	1,845	1,767	39	17	260	15	115	101	1	-	3	23	-	1	7	-	3	-	71	132	124	92
	短 期 大 学 (本科)	672	607	598	534	77	457	31	228	4	18	8	3	8	56	-	1	6	69	-	-	-	-	-	-	10	18	10	64
	大学・短期大学の別科	-	10	16	13	5	8	5	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
	高等学校専攻科	132	133	105	108	35	73	-	-	-	-	13	-	2	-	18	-	-	-	2	73	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別支援学校高等部専攻科	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大学・短期大学の通信教育部	4	7	4	4	4	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	5,389	5,498	5,302	5,276	2,590	2,686	1,883	1,999	43	36	283	18	125	157	19	1	9	93	2	74	7	-	3	1	82	151	134	156
入学志願者 (本年3月 卒業生)	大 学 (学部)	5,007	5,175	5,003	4,932	2,663	2,269	2,026	1,880	39	17	260	15	118	102	1	-	3	23	-	1	7	-	3	-	80	137	126	94
	短 期 大 学 (本科)	685	608	616	543	80	463	32	231	4	18	10	3	8	56	-	1	6	69	-	-	-	-	-	-	10	20	10	65
前年3月 卒業生のうち 入学志願者	大 学 (学部)	339	303	370	394	260	134	236	125	8	3	8	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	2	3	5	-
	短 期 大 学 (本科)	1	-	30	57	6	51	2	6	-	8	-	-	-	1	-	-	4	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前々年3月以前 卒業生のうち 入学志願者	大 学 (学部)	36	33	55	49	33	16	21	11	11	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	短 期 大 学 (本科)	1	-	-	22	4	18	-	6	4	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 学 等 進 学 率	44.6	46.9	46.2	46.6	44.7	48.7	61.3	60.4	12.8	18.3	20.4	8.8	33.2	23.9	28.4	3.3	18.8	27.9	100.0	96.1	31.8	-	20.0	3.7	63.1	64.0	38.8	35.7	

過去4年間の都道府県別入学状況

資料4

都道府県	H30	H31	R2	R3
北海道	11	7	8	16
青森県	59	55	58	54
岩手県	4	13	13	11
秋田県	3	5	6	4
宮城県	1	4	6	6
福島県		3	3	3
山形県	3		1	
新潟県		1		
長野県			1	1
栃木県	1			
群馬県			1	
埼玉県	1	1	2	1
千葉県		1	1	
東京都	1	4		2
大阪府	1			
京都府	1			
岡山県				1
富山県	1			
広島県				1
福岡県	1	2	2	
宮崎県		1		1
長崎県		1		
熊本県	1			
沖縄県			1	
中国		2		
小計	89	100	103	101

1. 進学需要調査（集計結果）

【2年生】

【調査結果概要】

＜八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項＞

3. 人間健康学科への興味・関心

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に、人間健康学科への興味・関心について質問したところ、回答者数3,554人の約17.8%にあたる634人が「興味・関心がある」と回答していることから、人間健康学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 人間健康学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	634	17.8
2	興味・関心がない	2,908	81.8
	未回答・不明	12	0.3
	合計	3,554	100.0

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

5. 人間健康学科への進学希望

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に、人間健康学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数3,554人の約9.8%にあたる349人が「進学を希望する」と回答しており、回答者数3,554人の約26.2%にあたる931人が「併願大学の結果によって入学する」と回答している。

なお、人間健康学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、人間健康学科に合格した場合「進学を希望する」と回答した者は189人、「併願大学の結果によって入学する」と回答した者は72人となっている。

このような八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、人間健康学科への受験希望と進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 人間健康学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	349	9.8
2	併願大学の結果によって入学する	931	26.2
3	進学を希望しない	2,253	63.4
	未回答・不明	21	0.6
	合計	3,554	100.0

問4×問5 受験を希望×進学を希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*1	受験を希望する/進学を希望する	189
1*2	受験を希望する/併願大学の結果によって入学する	72

Ⅱ. 進学需要調査（集計結果）

【1年生】

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

3. 人間健康学科への興味・関心

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に、人間健康学科への興味・関心について質問したところ、回答者数3,355人の約23.6%にあたる793人が「興味・関心がある」と回答していることから、人間健康学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 人間健康学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	793	23.6
2	興味・関心がない	2,554	76.1
	未回答・不明	8	0.2
	合計	3,355	100.0

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

4. 人間健康学科の受験希望

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に、人間健康学科の受験希望について質問したところ、回答者数3,355人の約12.8%にあたる428人が「受験を希望する」と回答しており、人間健康学科への受験に積極的な意向を示している。

問4 人間健康学科の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	428	12.8
2	受験を希望しない	2,918	87.0
	未回答・不明	9	0.3
	合計	3,355	100.0

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

5. 人間健康学科への進学希望

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に、人間健康学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 3,355 人の約 14.5%にあたる 488 人が「進学を希望する」と回答しており、回答者数 3,355 人の約 30.7%にあたる 1,030 人が「併願大学の結果によって入学する」と回答している。

なお、人間健康学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、人間健康学科に合格した場合「進学を希望する」と回答した者は 307 人、「併願大学の結果によって入学する」と回答した者は 105 人となっている。

このような八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に限定した調査結果においても、人間健康学科への受験希望と進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 人間健康学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	488	14.5
2	併願大学の結果によって入学する	1,030	30.7
3	進学を希望しない	1,793	53.4
	未回答・不明	44	1.3
	合計	3,355	100.0

問4×問5 受験を希望×進学を希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*1	受験を希望する/進学を希望する	307
1*2	受験を希望する/併願大学の結果によって入学する	105

過去4年間の求人件数・就職状況

資料6

	就職希望者	就職者	就職率	求人件数	求人倍率
平成29年度	55	55	100.0%	920	16.7
平成30年度	66	66	100.0%	847	12.8
令和元年度	60	60	100.0%	886	14.8
令和2年度	65	65	100.0%	535	8.2

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科
進学需要等に関するアンケート調査
結果報告書

令和3年5月

株式会社 島津理化

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

【2年生】

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項	
人間健康学科への興味・関心	4
人間健康学科の受験希望	5
人間健康学科への進学希望	6

II. 進学需要調査（集計結果）

【1年生】

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	8
進学を希望する分野	9
八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項	
人間健康学科への興味・関心	10
人間健康学科の受験希望	11
人間健康学科への進学希望	12

III. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	13
調査結果概要	14～17
人材需要全般に関する質問事項	
人材の採用見込み	14
八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項	
人間健康学科の教育理念等の必要性	15
人間健康学科で学んだ卒業生の採用	16
人間健康学科で学んだ卒業生の採用人数	17

IV. 参考資料

進学需要調査関係

- アンケート協力依頼高等学校一覧
- アンケート調査票（高校生）
- 健康医療学部 人間健康学科 概要（高校生）

人材需要調査関係

- アンケート協力依頼事業所等一覧
- アンケート調査票（事業所等）
- 健康医療学部 人間健康学科 概要（事業所等）

1. 進学需要調査（集計結果）

【2年生】

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

八戸学院大学では、令和4年4月より健康医療学部の間健康学科の収容定員変更を計画しており、この人間健康学科の収容定員変更の計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

令和3年4月

④調査件数

回収件数： 23校

回収者数：3,554人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

1. 高等学校卒業後の進路

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数 3,554 人の約 74.8%にあたる 2,659 人が「大学進学（4年制・6年制）」、「短期大学進学」、「専門学校進学」と回答しており、そのうち「大学進学（4年制・6年制）」と回答している者は、回答者数 3,554 人の約 51.7%にあたる 1,839 人と最も高い数値を示していることから、大学（4年制・6年制）への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	大学進学（4年制・6年制）	1,839	51.7
2	短期大学進学	209	5.9
3	専門学校進学	611	17.2
4	就職	839	23.6
5	その他	48	1.4
	未回答・不明	8	0.2
	合計	3,554	100.0

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

2. 進学を希望する分野

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望では「工学・理学関係」と回答した者が回答者数3,554人の約16.7%にあたる592人で最も多く、次いで「教育学・保育学関係」と回答した者が約10.2%にあたる361人、「経済学・経営学関係」と回答した者が約9.7%にあたる343人となっており、「体育学・スポーツ学関係」と回答した者は約9.1%にあたる325人となっている。

問2 進学を希望する分野

No.	進学希望分野	第1希望		第2希望	
		件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
1	文学・史学・哲学関係	228	6.4	262	7.4
2	教育学・保育学関係	361	10.2	431	12.1
3	法学・政治学関係	107	3.0	181	5.1
4	社会学・福祉学関係	134	3.8	281	7.9
5	経済学・経営学関係	343	9.7	329	9.3
6	工学・理学関係	592	16.7	236	6.6
7	医学・歯学・薬学関係	218	6.1	191	5.4
8	国際学関係	108	3.0	149	4.2
9	家政学・生活科学関係	109	3.1	113	3.2
10	美術学・音楽学関係	186	5.2	255	7.2
11	体育学・スポーツ学関係	325	9.1	353	9.9
12	医療技術学関係	86	2.4	190	5.3
13	看護学関係	202	5.7	178	5.0
14	その他	387	10.9	121	3.4
	未回答・不明	168	4.7	284	8.0
	合計	3,554	100.0	3,554	100.0

【調査結果概要】

＜八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項＞

3. 人間健康学科への興味・関心

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に、人間健康学科への興味・関心について質問したところ、回答者数3,554人の約17.8%にあたる634人が「興味・関心がある」と回答していることから、人間健康学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 人間健康学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	634	17.8
2	興味・関心がない	2,908	81.8
	未回答・不明	12	0.3
	合計	3,554	100.0

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

4. 人間健康学科の受験希望

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に、人間健康学科の受験希望について質問したところ、回答者数3,554人の約8.2%にあたる290人が「受験を希望する」と回答しており、人間健康学科への受験に積極的な意向を示している。

問4 人間健康学科の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	290	8.2
2	受験を希望しない	3,253	91.5
	未回答・不明	11	0.3
	合計	3,554	100.0

【調査結果概要】

＜八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項＞

5. 人間健康学科への進学希望

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に、人間健康学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数3,554人の約9.8%にあたる349人が「進学を希望する」と回答しており、回答者数3,554人の約26.2%にあたる931人が「併願大学の結果によって入学する」と回答している。

なお、人間健康学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、人間健康学科に合格した場合「進学を希望する」と回答した者は189人、「併願大学の結果によって入学する」と回答した者は72人となっている。

このような八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、人間健康学科への受験希望と進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 人間健康学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	349	9.8
2	併願大学の結果によって入学する	931	26.2
3	進学を希望しない	2,253	63.4
	未回答・不明	21	0.6
	合計	3,554	100.0

問4×問5 受験を希望×進学を希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*1	受験を希望する/進学を希望する	189
1*2	受験を希望する/併願大学の結果によって入学する	72

Ⅱ. 進学需要調査（集計結果）

【1年生】

II. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

八戸学院大学では、令和4年4月より健康医療学部の間健康学科の収容定員変更を計画しており、この人間健康学科の収容定員変更の計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

令和3年4月

④調査件数

回収件数： 23校

回収者数：3,355人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数 3,355 人の約 76.8%にあたる 2,577 人が「大学進学（4年制・6年制）」、「短期大学進学」、「専門学校進学」と回答しており、そのうち「大学進学（4年制・6年制）」と回答している者は、回答者数 3,355 人の約 56.7%にあたる 1,903 人と最も高い数値を示していることから、大学（4年制・6年制）への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	大学進学（4年制・6年制）	1,903	56.7
2	短期大学進学	170	5.1
3	専門学校進学	504	15.0
4	就職	728	21.7
5	その他	44	1.3
	未回答・不明	6	0.2
	合計	3,355	100.0

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

2. 進学を希望する分野

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望では「工学・理学関係」と回答した者が回答者数3,355人の約17.9%にあたる600人で最も多く、次いで「体育学・スポーツ学関係」と回答した者が約12.8%にあたる430人、「経済学・経営学関係」と回答した者が約11.2%にあたる376人となっている。

問2 進学を希望する分野

No.	進学希望分野	第1希望		第2希望	
		件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
1	文学・史学・哲学関係	188	5.6	229	6.8
2	教育学・保育学関係	351	10.5	352	10.5
3	法学・政治学関係	81	2.4	165	4.9
4	社会学・福祉学関係	118	3.5	254	7.6
5	経済学・経営学関係	376	11.2	311	9.3
6	工学・理学関係	600	17.9	250	7.5
7	医学・歯学・薬学関係	226	6.7	197	5.9
8	国際学関係	109	3.2	148	4.4
9	家政学・生活科学関係	95	2.8	125	3.7
10	美術学・音楽学関係	175	5.2	262	7.8
11	体育学・スポーツ学関係	430	12.8	390	11.6
12	医療技術学関係	62	1.8	180	5.4
13	看護学関係	141	4.2	147	4.4
14	その他	251	7.5	76	2.3
	未回答・不明	152	4.5	269	8.0
	合計	3,355	100.0	3,355	100.0

【調査結果概要】

＜八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項＞

3. 人間健康学科への興味・関心

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に、人間健康学科への興味・関心について質問したところ、回答者数3,355人の約23.6%にあたる793人が「興味・関心がある」と回答していることから、人間健康学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 人間健康学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	793	23.6
2	興味・関心がない	2,554	76.1
	未回答・不明	8	0.2
	合計	3,355	100.0

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

4. 人間健康学科の受験希望

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に、人間健康学科の受験希望について質問したところ、回答者数3,355人の約12.8%にあたる428人が「受験を希望する」と回答しており、人間健康学科への受験に積極的な意向を示している。

問4 人間健康学科の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	428	12.8
2	受験を希望しない	2,918	87.0
	未回答・不明	9	0.3
	合計	3,355	100.0

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

5. 人間健康学科への進学希望

八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に、人間健康学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 3,355 人の約 14.5%にあたる 488 人が「進学を希望する」と回答しており、回答者数 3,355 人の約 30.7%にあたる 1,030 人が「併願大学の結果によって入学する」と回答している。

なお、人間健康学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、人間健康学科に合格した場合「進学を希望する」と回答した者は 307 人、「併願大学の結果によって入学する」と回答した者は 105 人となっている。

このような八戸学院大学への進学実績がある青森県に所在する高等学校の1年生に限定した調査結果においても、人間健康学科への受験希望と進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 人間健康学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	488	14.5
2	併願大学の結果によって入学する	1,030	30.7
3	進学を希望しない	1,793	53.4
	未回答・不明	44	1.3
	合計	3,355	100.0

問4×問5 受験を希望×進学を希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*1	受験を希望する/進学を希望する	307
1*2	受験を希望する/併願大学の結果によって入学する	105

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

八戸学院大学では、令和4年4月より健康医療学部の間健康学科の収容定員変更を計画しており、この人間健康学科の収容定員変更の計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、八戸学院大学への求人実績や卒業生の採用実績がある事業所等を中心とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

八戸学院大学への求人実績や卒業生の採用実績がある事業所等

②調査方法

事業所等への郵送による配布、回収

③調査実施

令和3年4月

④調査件数

回答件数：150件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 人材の採用見込み

八戸学院大学への求人実績や卒業生の採用実績がある事業所等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 150 件の約 62.0%にあたる 93 件が「増加すると思う」と回答している。

問 1 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	増加すると思う	93	62.0
2	増加すると思わない	57	38.0
	未回答・不明	0	0.0
	合計	150	100.0

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

2. 人間健康学科の教育理念等の必要性

八戸学院大学への求人実績や卒業生の採用実績がある事業所等に対して、人間健康学科の教育理念・教育目的・教育目標等について質問したところ、回答件数 150 件の約 98.0%にあたる 147 件が「必要性を感じる」と回答していることから、人間健康学科の教育理念・教育目的・教育目標等の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 人間健康学科の教育理念等の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	147	98.0
2	必要性を感じない	3	2.0
	未回答・不明	0	0.0
	合計	150	100.0

【調査結果概要】

<八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項>

3. 人間健康学科で学んだ卒業生の採用

八戸学院大学への求人実績や卒業生の採用実績がある事業所等に対して、人間健康学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 150 件の約 78.7%にあたる 118 件が「採用したいと思う」と回答しており、人間健康学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問3 人間健康学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	採用したいと思う	118	78.7
2	採用したいと思わない	32	21.3
	未回答・不明	0	0.0
	合計	150	100.0

【調査結果概要】

＜八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に関する質問事項＞

4. 人間健康学科で学んだ卒業生の採用人数

八戸学院大学への求人実績や卒業生の採用実績がある事業所等に対して、人間健康学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、問3で、人間健康学科で学んだ卒業生を「採用したい」と回答した事業所等のうち、人間健康学科で学んだ卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは18件、「2人」と回答したのは6件、「3人以上」と回答したのは7件、「人数は未定」と回答したのは87件となっている。

なお、「採用人数3人以上」と回答した事業所等の採用人数を3人とし、「人数は未定」と回答した事業所等の採用人数を1人として、これらの採用人数を合計すると138人となり、これらの採用人数からも人間健康学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような八戸学院大学への求人実績や卒業生の採用実績がある事業所等に限定した調査結果においても、人間健康学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問4 人間健康学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	1人	18	12.0
2	2人	6	4.0
3	3人以上	7	4.7
4	人数は未定	94	62.7
	未回答・不明	25	16.7
	合計	150	100.0

問3×問4 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1	採用したいと思う*1人	18	18
2	採用したいと思う*2人	6	12
3	採用したいと思う*3人以上	7	21
4	採用したいと思う*人数は未定	87	87
	合計	118	138

IV. 參考資料

進学需要調査関係

進学需要調査 調査依頼先一覧 (23 件)

No.	高等学校名	所在地	回収数
1	青森県立青森北高等学校	青森県青森市羽白富田 80 の 7	374
2	青森県立青森南高等学校	青森県青森市西大野二丁目 12 の 40	432
3	青森県立八戸高等学校	青森県八戸市長者四丁目 4 の 1	470
4	青森県立八戸東高等学校	青森県八戸市類家一丁目 4 の 47	447
5	青森県立八戸西高等学校	青森県八戸市尻内町中根市 14	469
6	青森県立百石高等学校	青森県上北郡おいらせ町苗平谷地 46	206
7	青森県立三本木高等学校	青森県十和田市西五番町 7 の 1	433
8	青森県立三本木農業高等学校	青森県十和田市相坂高清水 78 の 92	170
9	青森県立弘前工業高等学校	青森県弘前市馬屋町 6 の 2	410
10	青森県立十和田工業高等学校	青森県十和田市三本木下平 215 の 1	265
11	青森県立八戸水産高等学校	青森県八戸市白銀町人形沢 6 の 1	162
12	青森県立青森商業高等学校	青森県青森市戸山安原 7 の 1	385
13	青森県立三沢商業高等学校	青森県三沢市春日台二丁目 154	218
14	青森県立八戸商業高等学校	青森県八戸市十日市塚ノ下 3 の 1	226
15	柴田学園高等学校	青森県弘前市豊原一丁目 2 の 1	301
16	八戸聖ウルスラ学院高等学校	青森県八戸市田面木上野平 53 の 2	310
17	八戸学院光星高等学校	青森県八戸市湊高台六丁目 14 の 5	549
18	弘前東高等学校	青森県弘前市川先四丁目 4 の 1	269
19	八戸工業大学第一高等学校	青森県八戸市白銀町右岩淵通 7 の 10	66
20	五所川原第一高等学校	青森県五所川原市元町 42	245
21	五所川原商業高等学校	青森県五所川原市唐笠柳藤巻 80	144
22	八戸工業大学第二高等学校	青森県八戸市妙大開 67	267
23	向陵高等学校	青森県八戸市田向二丁目 2 の 6	91

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科
進学需要等に関するアンケート調査（高校生／2年生）

八戸学院大学では、進学希望者のニーズに積極的に応えるため、健康医療学部人間健康学科の入学定員の見直しを検討しております。このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高等学校卒業後の進路等についてお聞きし、健康医療学部人間健康学科の入学定員の見直しに向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、裏面の『八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 概要』をご覧いただいたうえで、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|-----------------|----------|---|
| 1 大学進学（4年制・6年制） | 2 短期大学進学 | <input style="width: 50px; height: 30px;" type="text"/> |
| 3 専門学校進学 | 4 就職 | |
| 5 その他（具体的に | ） | |

問2 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。

次の中から、第2希望まで選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | | |
|----------------|--------------|------|---|
| 1 文学・史学・哲学関係 | 2 教育学・保育学関係 | 第1希望 | <input style="width: 50px; height: 30px;" type="text"/> |
| 3 法学・政治学関係 | 4 社会学・福祉学関係 | | |
| 5 経済学・経営学関係 | 6 工学・理学関係 | 第2希望 | <input style="width: 50px; height: 30px;" type="text"/> |
| 7 医学・歯学・薬学関係 | 8 国際学関係 | | |
| 9 家政学・生活科学関係 | 10 美術学・音楽学関係 | | |
| 11 健康学・スポーツ学関係 | 12 医療技術学関係 | | |
| 13 看護学関係 | 14 その他（具体的に | ） | |

問3 あなたは、八戸学院大学の健康医療学部人間健康学科に興味・関心がありますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|------------|------------|---|
| 1 興味・関心がある | 2 興味・関心がない | <input style="width: 50px; height: 30px;" type="text"/> |
|------------|------------|---|

問4 あなたは、八戸学院大学の健康医療学部人間健康学科の受験を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|--|---|
| 1 受験を希望する（学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜・共通テストを含む） | <input style="width: 50px; height: 30px;" type="text"/> |
| 2 受験を希望しない | |

問5 あなたは、八戸学院大学の健康医療学部人間健康学科に合格した場合、進学を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|------------|-------------------|---|
| 1 進学を希望する | 2 併願大学の結果によって入学する | <input style="width: 50px; height: 30px;" type="text"/> |
| 3 進学を希望しない | | |

＜八戸学院大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください＞

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科
進学需要等に関するアンケート調査（高校生／1年生）

八戸学院大学では、進学希望者のニーズに積極的に応えるため、健康医療学部人間健康学科の入学定員の見直しを検討しております。このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高等学校卒業後の進路等についてお聞きし、健康医療学部人間健康学科の入学定員の見直しに向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、裏面の『八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 概要』をご覧いただいたうえで、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 大学進学（4年制・6年制） | 2 短期大学進学 |
| 3 専門学校進学 | 4 就職 |
| 5 その他（具体的に | ） |

問2 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。

次の中から、第2希望まで選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|----------------|--------------|------|
| 1 文学・史学・哲学関係 | 2 教育学・保育学関係 | 第1希望 |
| 3 法学・政治学関係 | 4 社会学・福祉学関係 | |
| 5 経済学・経営学関係 | 6 工学・理学関係 | |
| 7 医学・歯学・薬学関係 | 8 国際学関係 | 第2希望 |
| 9 家政学・生活科学関係 | 10 美術学・音楽学関係 | |
| 11 健康学・スポーツ学関係 | 12 医療技術学関係 | |
| 13 看護学関係 | 14 その他（具体的に | ） |

問3 あなたは、八戸学院大学の健康医療学部人間健康学科に興味・関心がありますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 興味・関心がある | 2 興味・関心がない |
|------------|------------|

問4 あなたは、八戸学院大学の健康医療学部人間健康学科の受験を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | |
|------------|
| 1 受験を希望する |
| 2 受験を希望しない |

問5 あなたは、八戸学院大学の健康医療学部人間健康学科に合格した場合、進学を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 進学を希望する | 2 併願大学の結果によって入学する |
| 3 進学を希望しない | |

<八戸学院大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください>

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 概要

(健康医療学部 人間健康学科の入学定員を変更します)

□学部・学科の概要 ※学生定員、変更時期については予定

*学部学科：健康医療学部 人間健康学科

*学生定員：入学定員 100名(80名から変更予定)

*変更時期：令和4年4月

*設置場所：青森県八戸市美保野

*アクセス：JR八戸線 本八戸駅から車で約20分 / JR八戸線 鮫駅から車で約10分

【八戸学院大学】

*八戸学院大学では、カトリック精神に則り、広く豊かな教養をもち、正しい道徳観と高い知性を有する青年の育成に努め、21世紀の要求している人間の育成、特に地方の時代の到来にこたえ、地方の時代の到来にこたえ、地方文化や地域経済に密着した教育をすることを理念として、カトリック精神に基づき、広く豊かな教養を授け、深い専門の学術を探究せしめ、正しい道徳観と高い知性を有する民主的にして平和を愛好する人材を育成することを使命・目的としています。

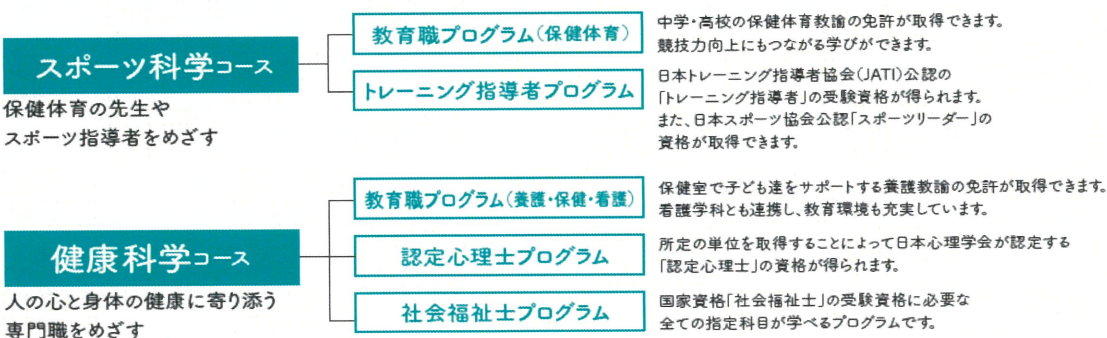
【健康医療学部 人間健康学科】

□教育理念及び教育目的

*健康医療学部人間健康学科では、健康と医療について学際的な見地から総合的に探究できる人材を育成することを教育理念として、こころとからだの健康と医療についての学びをふまえ、幅広い分野の研究・指導・実践ができ、地域住民の健康増進と地域の保健医療の向上に貢献できる人材を育成することを教育目的としています。

目指す将来像で選べる5つのプログラム

人間健康学科では、入学後にコース・プログラムを選択。自分が選んだコース・プログラムを軸にカリキュラムを組みますが、選択したコース・プログラム以外の科目も受講することができます。



□卒業後の進路

*卒業後の進路としては、中学校・高等学校の保健体育教諭、養護教諭、保健教諭、看護教諭をはじめ、スポーツクラブのインストラクターやトレーニング指導者、医療・保健・福祉分野の支援スタッフとして福祉施設や医療機関などで活躍しております。

□学費等(初年度納付金)

*八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 1,360,000円(うち、入学金270,000円)

*類似の学部・学科の学費 -参考-

流通科学大学 人間社会学部 人間健康学科 1,326,140円(うち、入学金300,000円)

愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 1,373,000円(うち、入学金280,000円)

人材需要調査関係

人材需要調査 調査依頼先一覧 (349 件)

No.	事業所等名	No.	事業所等名
1	社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団	36	社会福祉法人ファミリー
2	社会福祉法人むつ福祉会	37	社会福祉法人素心の会
3	社会福祉法人育泉会	38	社会福祉法人吉幸会
4	社会福祉法人明星会	39	社会福祉法人佐井村社会福祉協議会
5	社会福祉法人長幸会	40	社会福祉法人三戸町社会福祉協議会
6	社会福祉法人桜川会	41	社会福祉法人光塵会
7	社会福祉法人義栄会	42	社会福祉法人七戸町社会福祉協議会
8	社会福祉法人諏訪ノ森会	43	社会福祉法人求道舎
9	社会福祉法人ゆきわり会	44	社会福祉法人七戸福祉会
10	社会福祉法人桐の里	45	社会福祉法人平館福祉会
11	社会福祉法人青空会	46	社会福祉法人外ヶ浜町社会福祉協議会
12	社会福祉法人若竹会	47	社会福祉法人田子町社会福祉協議会
13	社会福祉法人介援会	48	社会福祉法人つがる市社会福祉協議会
14	社会福祉法人みちのく会	49	社会福祉法人鶴田町社会福祉協議会
15	社会福祉法人板柳町社会福祉協議会	50	社会福祉法人上野福祉会
16	社会福祉法人田舎館村社会福祉協議会	51	社会福祉法人東北町社会福祉協議会
17	社会福祉法人今別町社会福祉協議会	52	社会福祉法人至誠会
18	社会福祉法人昭壽会	53	社会福祉法人友愛会
19	社会福祉法人互支会	54	社会福祉法人十和田市社会福祉協議会
20	社会福祉法人おいらせ町社会福祉協議会	55	社会福祉法人純心会
21	社会福祉法人奥入瀬会	56	社会福祉法人三徳会
22	社会福祉法人若駒会	57	社会福祉法人健佑会
23	社会福祉法人恵愛福祉会	58	社会福祉法人十和田湖会
24	社会福祉法人大間町社会福祉協議会	59	社会福祉法人内湯療護園
25	社会福祉法人素樸会	60	社会福祉法人中泊町社会福祉協議会
26	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会	61	社会福祉法人南部町社会福祉協議会
27	社会福祉法人風間浦村社会福祉協議会	62	社会福祉法人西目屋村社会福祉協議会
28	社会福祉法人黒石市社会福祉協議会	63	社会福祉法人野辺地町社会福祉協議会
29	社会福祉法人あけぼの会	64	社会福祉法人階上町社会福祉協議会
30	社会福祉法人報徳会	65	社会福祉法人無量会
31	社会福祉法人五所川原市社会福祉協議会	66	社会福祉法人俊公会
32	社会福祉法人青森民友厚生振興団	67	社会福祉法人サポートセンター虹
33	社会福祉法人あおもり愛育会	68	社会福祉法人八戸市社会福祉事業団
34	社会福祉法人生活・文化研究所	69	社会福祉法人八戸市社会福祉協議会
35	社会福祉法人五戸町社会福祉協議会	70	社会福祉法人スプリング

No.	事業所等名	No.	事業所等名
71	社会福祉法人やすらぎ会	106	社会福祉法人弘前市社会福祉協議会
72	社会福祉法人八陽会	107	社会福祉法人嶽陽会
73	社会福祉法人ぶさん会	108	社会福祉法人ひまわり福祉会
74	社会福祉法人同伸会	109	社会福祉法人城西福祉会
75	社会福祉法人桂堂会	110	社会福祉法人三千会
76	社会福祉法人愛育福祉会	111	社会福祉法人三和会
77	社会福祉法人道友会	112	社会福祉法人陽明会
78	社会福祉法人合歓の会	113	社会福祉法人沢朋会
79	社会福祉法人桔梗の会	114	社会福祉法人誠風会
80	社会福祉法人藤巴会	115	社会福祉法人弘前豊徳会
81	社会福祉法人白鷗会	116	社会福祉法人たんぼ福祉会
82	社会福祉法人寿陽会	117	社会福祉法人ひかり会
83	社会福祉法人のぞみ会	118	社会福祉法人深浦町社会福祉協議会
84	社会福祉法人さつき会	119	社会福祉法人藤崎町社会福祉協議会
85	社会福祉法人多賀福祉会	120	社会福祉法人三沢市社会福祉協議会
86	社会福祉法人桜友会	121	社会福祉法人楽晴会
87	社会福祉法人根ッ子の会	122	社会福祉法人大津福祉会
88	社会福祉法人一心会	123	社会福祉法人希望
89	社会福祉法人恵順会	124	社会福祉法人むつ市社会福祉協議会
90	社会福祉法人徳政会	125	社会福祉法人青森社会福祉振興団
91	社会福祉法人みろく会	126	社会福祉法人むつ中央福祉会
92	社会福祉法人静栄会	127	社会福祉法人横浜町社会福祉協議会
93	社会福祉法人豊寿会	128	社会福祉法人蓬田村社会福祉協議会
94	社会福祉法人杏林会	129	社会福祉法人光龍会
95	社会福祉法人みやぎ会	130	社会福祉法人六戸町社会福祉協議会
96	社会福祉法人一好会	131	社会福祉法人メープル
97	社会福祉法人あおぞら会	132	社会福祉法人六ヶ所村社会福祉協議会
98	社会福祉法人東通村社会福祉協議会	133	社会福祉法人松緑福祉会
99	社会福祉法人平川市社会福祉協議会	134	社会福祉法人青森市社会福祉協議会
100	社会福祉法人秀峰会	135	社会福祉法人心和会
101	社会福祉法人高城同志会	136	社会福祉法人喜倅会
102	社会福祉法人平内町社会福祉協議会	137	社会福祉法人清友会
103	社会福祉法人夏泊福祉会	138	社会福祉法人みつば会
104	社会福祉法人七峰会	139	一般財団法人日本老人福祉財団
105	社会福祉法人花	140	株式会社木下の介護

No.	事業所等名	No.	事業所等名
141	一般社団法人 慈恵会	176	日本赤十字社八戸赤十字病院
142	一般社団法人徳洲会	177	NPO 法人スポネット弘前
143	株式会社ベネッセスタイルケア	178	NPO 法人リベロ津軽スポーツクラブ
144	社会医療法人河北医療財団	179	ヴァンラーレ八戸スポーツクラブ
145	社会福祉法人 吉祥福寿会	180	五戸町スポーツクラブ
146	社会福祉法人つどいの家	181	りんごの里スポーツクラブ
147	社会福祉法人ファミリー	182	ふじさきいきいきスポーツクラブ
148	社会福祉法人湖星会	183	一般社団法人さんのへスポーツクラブ Enjoy
149	社会福祉法人三篠会	184	総合型クラブ ななっち
150	社会福祉法人若竹大寿会	185	総合型スポーツクラブ RED HORSE
151	社会福祉法人神奈川県社会福祉事業団	186	NPO 法人まつぞのスポーツクラブ
152	社会福祉法人泉陽会	187	コムスポクラブ東厨川
153	社会福祉法人大三島育徳会	188	NPO 法人いーはとーぶスポーツクラブ
154	社会福祉法人東京都社会福祉事業団	189	シーアリーナススポーツクラブ
155	社会福祉法人函館大庚会	190	SUN陸リアススポーツクラブ
156	東北医療福祉事業協同組合	191	総合型佐倉河スポーツクラブ
157	医療法人杏林会	192	久慈フィーバススポーツクラブ
158	医療法人仁泉会	193	小友スポーツクラブ
159	医療法人幸仁会	194	小鳥瀬地域スポーツクラブ
160	医療法人仁泉会	195	カシオペア氷上スポーツクラブ
161	医療法人青仁会	196	浄法寺スポーツクラブ
162	医療法人平成会	197	紫波ウィング
163	医療法人仁泉会	198	NPO 法人金ヶ崎スポーツクラブ
164	医療法人顕仁会	199	田野畑村スポーツクラブ
165	医療法人幸仁会	200	グリーンスポーツ倶楽部
166	医療法人健仁会	201	特定非営利活動法人 スポーツクラブあきた
167	医療法人清照会	202	たざわ湖スポーツクラブ
168	医療法人弘仁会	203	よこてスポーツクラブ
169	医療法人仁桂会	204	大曲スポーツクラブ
170	医療法人謙昌会	205	常磐の里スポーツクラブ
171	医療法人平成会	206	弥生スポーツクラブ
172	医療法人幸仁会	207	仙人の郷スポーツクラブ
173	医療法人IMSグループ	208	美郷町総合型スポーツクラブ
174	医療法人康生会	209	ふじさとスポーツクラブ
175	メディカルコート八戸西病院	210	千秋スポーツクラブ

No.	事業所等名	No.	事業所等名
211	羽後町スポーツクラブ	246	もとみやスポーツネットワーク
212	小坂町スポーツクラブ	247	NPO法人かわまたスポーツクラブ
213	山本地域スポーツクラブ	248	関山スポーツクラブ
214	スポーツクラブひない	249	NPO 法人西の郷スポーツクラブ
215	潟上南スポーツクラブ	250	NPO 法人さめがわスポーツクラブ
216	潟上天王スポーツクラブ	251	棚倉スポーツクラブ
217	合川スポーツクラブ	252	NPO 法人そうま中央スポーツクラブ
218	大仙協和スポーツクラブ	253	NPO 法人かしま元気クラブ
219	ゆざわサンマリッツスポーツクラブ	254	富岡町さくら文化・スポーツ振興公社
220	スポーツクラブのしろ	255	NPO 法人広野みかんクラブ
221	一般社団法人塩竈フットボールクラブ	256	ミズノ テクニクス株式会社
222	しわひめスポーツクラブ	257	セノー株式会社
223	KHK スポーツクラブ ASPA	258	株式会社デサント
224	NPO 法人スポーツコミュニケーションかくだ	259	マックススポーツ株式会社
225	いしのまき総合スポーツクラブ	260	株式会社アドレ
226	とみやスポーツクラブ	261	株式会社ウェルネスフロンティア
227	ほなみふれあいスポーツクラブ	262	株式会社共栄薬品
228	NPO 法人かみのやま総合型地域スポーツクラブ	263	株式会社東急スポーツオアシス
229	山辺の里スポーツクラブ	264	株式会社東京ドームスポーツ
230	寒河江市総合スポーツクラブ	265	JR 東日本スポーツ株式会社
231	NPO 法人尾花沢総合スポーツクラブ	266	株式会社カーブスホールディングス
232	金山健康ふれあいスポーツクラブ	267	株式会社ルネサンス
233	NPO 法人とざわスポーツクラブ	268	株式会社スポーツプラザ報徳
234	アルカディアスポーツクラブ	269	株式会社スポーツクラブヴィテン
235	おぐにスポーツクラブ Yui (結)	270	セントラルスポーツ株式会社
236	鶴岡市民健康スポーツクラブ	271	株式会社ソフネットジャパン
237	デポルターレ豊浦	272	株式会社石井スポーツ
238	くしびきスポーツクラブ	273	有限会社塚原フィットネスクラブウィング
239	みかわスポーツクラブ	274	株式会社 FEEL CONNECTION
240	やわた Y-Y クラブ	275	株式会社 THINK フィットネス
241	遊佐町総合型スポーツ文化クラブ「遊's」	276	ゼビオ株式会社
242	NPO 法人スポーツクラブバンビィ	277	学校法人聖マリアンナ医科大学
243	NPO 法人赤べこトータルスポーツ	278	学校法人仙台育英学園
244	NPO 法人かがみいしスポーツクラブ	279	学校法人仙台育英学園
245	あだちスポーツクラブ	280	学校法人山形学院

No.	事業所等名	No.	事業所等名
281	青森明の星高校	316	株式会社ホンダ四輪販売八戸
282	五所川原第一高校	317	株式会社マツダアンフィニ青森
283	弘前学院聖愛高校	318	株式会社ユニバース
284	柴田学園高校	319	株式会社横浜ファーマシー
285	弘前東高校	320	株式会社よこまち
286	千葉学園高校	321	株式会社吉田産業
287	八戸聖ウルスラ学院高校	322	株式会社横浜ファーマシー
288	向陵高校	323	株式会社吉田産業
289	八戸工業大学第一高校	324	株式会社近田会計事務所
290	八戸工業大学第二高校	325	株式会社金入
291	ENEOS グローブエナジー株式会社	326	株式会社青森クリエイト
292	青森総合警備保障株式会社	327	三浦建設工業株式会社
293	エプソンアトミックス株式会社	328	三八五流通株式会社
294	おいらせ農業協同組合	329	十和田おいらせ農業協同組合
295	岡三リビック株式会社	330	生活協同組合コープあおもり
296	ササキ石油販売株式会社	331	青森レコードマネジメントサービス株式会社
297	株式会社サンライズモーターズ	332	青森県民生活協同組合
298	つがる弘前農業協同組合	333	青森総合警備保障株式会社
299	トヨタカローラ八戸株式会社	334	太平ビルサービス株式会社
300	株式会社トヨタレンタリース青森	335	八戸液化ガス株式会社
301	八戸ガス株式会社	336	八戸中央青果株式会社
302	八戸圏域水道企業団	337	八戸通運株式会社
303	ブライフーズ株式会社	338	八田グループ
304	マネックス証券株式会社	339	介護老人保健施設しもだ
305	みちのくリース株式会社	340	介護老人保健施設ほほえみの里
306	株式会社 エフエム青森	341	介護老人保健施設なとり
307	株式会社 セントラルパートナーズ	342	デイサービスセンターみやぎ
308	株式会社 川賢	343	介護老人保健施設とわだ
309	株式会社エービッツ	344	デイサービスセンターにこトピア加美
310	株式会社サカモトアクエア	345	グループホームしずくいし
311	株式会社サンデー	346	内丸病院
312	株式会社テクノル	347	介護老人保健施設あだたら
313	株式会社ビジネスサービス	348	多機能型事業所大石の里
314	株式会社日立ビルシステムエンジニアリング	349	東北メディカル学院
315	株式会社報恩八田		

八戸学院大学 人間学部 健康医療学部 人間健康学科
人材需要に関するアンケート調査

八戸学院大学では、進学希望者のニーズに積極的に応えるため、健康医療学部の人間健康学科の入学定員の見直しを検討しております。このアンケート調査は、人事・採用ご担当の皆様からのご意見をお聞きし、健康医療学部の人間健康学科の入学定員の見直しに向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用いることとしており、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、別紙の『八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 概要』をご覧ください。また、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 今後の貴社・貴施設における人材の採用見込について、お尋ねいたします。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 増加すると思う 2 増加すると思わない

問2 八戸学院大学の健康医療学部の人間健康学科の教育理念・教育目的・教育目標等について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる 2 必要性を感じない

問3 八戸学院大学の健康医療学部の人間健康学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したいと思う 2 採用したいと思わない

<問4は、問3で「1」と回答された方のみ、お答えください>

問4 八戸学院大学の健康医療学部の人間健康学科で学んだ卒業生の採用人数について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人 2 2人
3 3人以上 4 人数は未定

八戸学院大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 概要

(健康医療学部 人間健康学科の入学定員を変更します)

□学部・学科の概要 ※学生定員、変更時期については予定

- *学部学科：健康医療学部 人間健康学科
- *学生定員：入学定員 100名(80名から変更予定)
- *変更時期：令和4年4月
- *設置場所：青森県八戸市美保野
- *アクセス：JR八戸線 本八戸駅から車で約20分
JR八戸線 鮫駅から車で約10分

【八戸学院大学】

*八戸学院大学では、カトリック精神に則り、広く豊かな教養をもち、正しい道德観と高い知性を有する青年の育成に努め、21世紀の要求している人間の育成、特に地方の時代の到来にこたえ、地方の時代の到来にこたえ、地方文化や地域経済に密着した教育をすることを理念として、カトリック精神に基づき、広く豊かな教養を授け、深い専門の学術を探究せしめ、正しい道德観と高い知性を有する民主的にして平和を愛好する人材を育成することを使命・目的としています。

【人間健康学科】

健康と医療について学際的な見地から総合的に探究できる人材を育成することを教育理念として、こころとからだの健康と医療についての学びをふまえ、幅広い分野の研究・指導・実践ができ、地域住民の健康増進と地域の保健医療の向上に貢献できる人材を育成することを教育目的としています。

□取得可能な資格

- *所定の単位を取得することで、卒業と同時に得られる資格
中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育) 養護教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状(看護)
日本スポーツ協会公認コーチングアシスタント、認定心理士
- *所定の単位を取得することで、受験資格が得られる資格
社会福祉士、JATIトレーニング指導者、健康管理士一般指導員

□卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

- ①豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断能力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。
- ②こころとからだの健康に関する学問の基礎を理解し、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探究し、対応できる能力を身につけている。
- ③医学・体育・心理・看護・福祉・環境・栄養等の幅広い分野において、現代社会が求める健康ニーズに対応できる能力を身につけている。

□卒業後の進路

*卒業後の進路としては、中学校・高等学校の保健体育教諭、養護教諭、保健教諭、看護教諭をはじめ、スポーツクラブのインストラクターやトレーニング指導者、医療・保健・福祉分野の支援スタッフとして福祉施設や医療機関などで活躍しております。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
1	学長	ミズノ マサ 水野 眞佐夫 <令和4年4月>	66	博士 (自然科学) Ph. D	756	八戸学院大学 学長 (平成31年4月)